

# 武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる 市民及び農業者アンケート調査報告書

平成29年3月

武蔵村山市



# 目 次

I	市民アンケート調査	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の方法	1
	(3) 調査結果	1
	(4) 集計にあたって	1
2	調査結果	2
	(1) 対象者について	2
	(2) 市内の農地について	4
	(3) 農業や農地の役割について	5
	(4) 農業の問題点について	6
	(5) 農業まつりについて	7
	(6) 農業との関わりについて	8
	(7) 援農ボランティアについて	9
	(8) 市民農園の利用について	10
	(9) 体験型市民農園の利用について	11
	(10) 観光農園の利用について	12
	(11) 野菜の購入場所について	13
	(12) 武蔵村山産の農産物の購入について	14
	(13) 市内産の農産物を購入しやすくすることについて	17
	(14) 野菜や果物を購入するときの基準について	18
	(15) 農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入について	19
	(16) 市内産農産物を学校給食に提供することについて	20
	(17) 都市農業への理解や関心を深めるための重要事項について	21
II	農業者アンケート調査	23
1	調査の概要	23
	(1) 調査の目的	23
	(2) 調査の方法	23
	(3) 調査結果	23
	(4) 集計にあたって	23
2	調査結果	24
	(1) 対象者について	24
	(2) 農業生産・販売について	26
	(3) 農地について	31
	(4) 農業の担い手について	39
	(5) 農業経営について	44

(6) 相続時の農地について .....	51
(7) 有機、減農薬栽培等について .....	53
(8) 農商工連携について .....	56
(9) 地域住民とのふれあいについて .....	58
(10) 農福連携について .....	59
(11) 今後の農業施策について .....	61
III 農業振興に向けた考察 .....	65
(1) 市民アンケートから .....	65
(2) 農業者アンケートから .....	66
IV 調査票 .....	69
(1) 市民アンケート調査票 .....	69
(2) 農業者アンケート調査票 .....	77

# I 市民アンケート調査

---



# I 市民アンケート調査

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

市では、平成20年3月に「武蔵村山市第二次農業振興計画」を策定し、「市民の豊かな生活を彩る魅力あふれる武蔵村山農業」を将来像に設定し、「生産の基本となる農地の保全」、「魅力ある農業経営の推進」、「農とふれあいのあるまちづくりの推進」の3つを柱に、農業の振興を図ってきました。この第二次農業振興計画が平成29年度をもって満了することから、これまでの取組の成果等を踏まえながら、平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年度とする「武蔵村山市第三次農業振興計画」を策定することとし、この計画の策定に当たって、農業者だけでなく、市民の市内農業との関わりやニーズを的確に捉えるため、「市民アンケート」を行ったものです。

### (2) 調査の方法

ア 調査地域	全域
イ 調査対象	市内に在住する18歳以上の男女
ウ 対象者数	2,000人
エ 抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出
オ 調査方法	郵送配布・郵送回収
カ 調査期間	平成28年10月14日～12月4日

### (3) 調査結果

ア 対象者数	2,000人
イ 有効回収数	649人
ウ 有効回収率	32.5%

### (4) 集計にあたって

ア 各設問はすべてクロス集計を行いました。

イ 回答率は、その設問に回答すべき人数（回答者総数）を分母とした百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。

ウ 設問によっては、一人の回答者が一つだけ回答する場合（単数回答）でも、四捨五入の関係で回答率の合計が100%にならないものもあります。

エ 一人の回答者が2以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を超えることもあります。

オ 居住地区の集計では、以下の4地域に区分しています。

北東地域	中藤、神明、中央
北西地域	本町、三ツ木、岸
南西地域	中原、残堀、伊奈平、三ツ藤
南東地域	学園、榎、大南、緑が丘

カ グラフに「N=」とあるのは、回答すべき対象者の数を示します。

## 2 調査結果

### (1) 対象者について

回答者の属性をみると、性別では、男性が43.9%、女性が55.3%で、女性のほうが多くなっています。

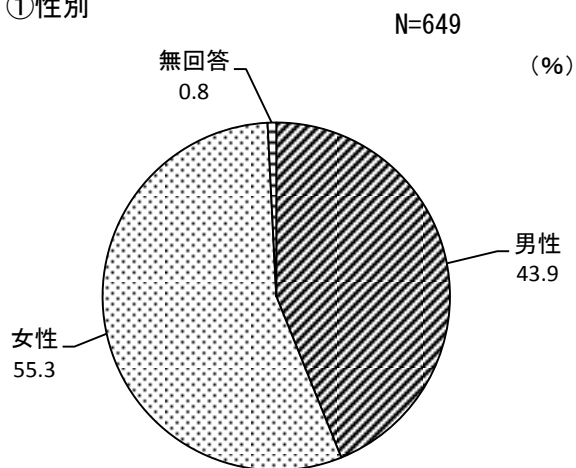
年齢は、60代が24.5%、70代が24.0%で多く、60歳以上で過半数を占めています。

居住地は、南東地域が43.1%で多く、続いて南西地域が26.5%となっています。

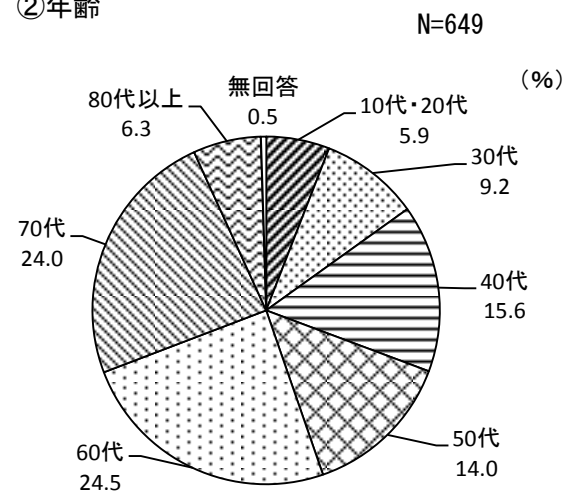
職業は、主婦、会社員・団体職員などが多くなっています。

居住歴は、20年以上が63.3%と3分の2近くを占めています。

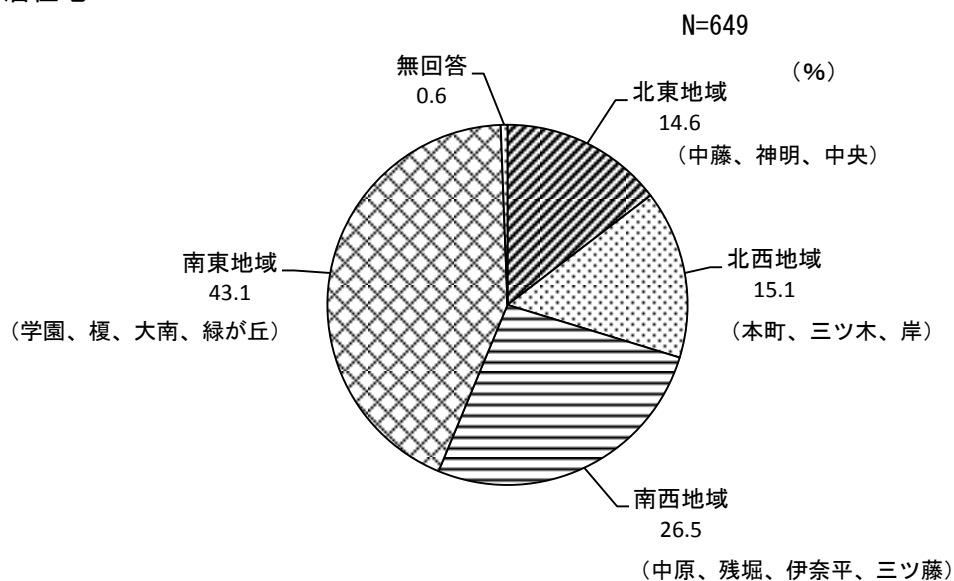
#### ①性別



#### ②年齢



#### ③居住地

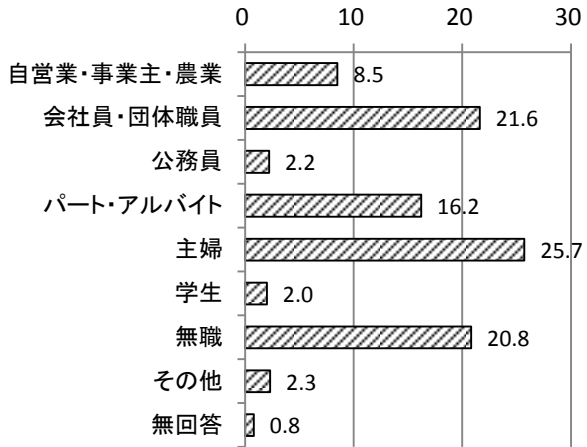




④職業

N=649

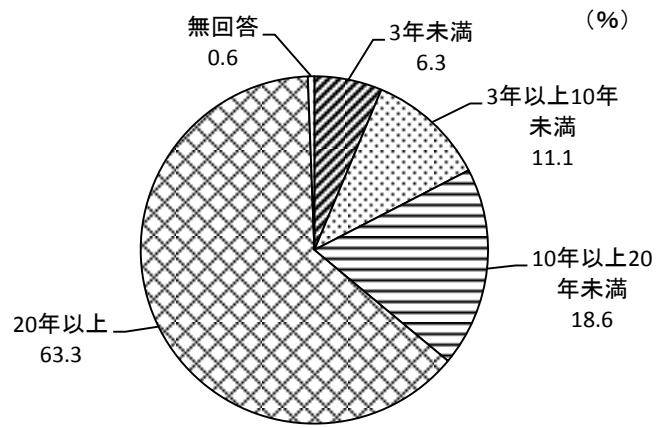
(%)



⑤居住歴

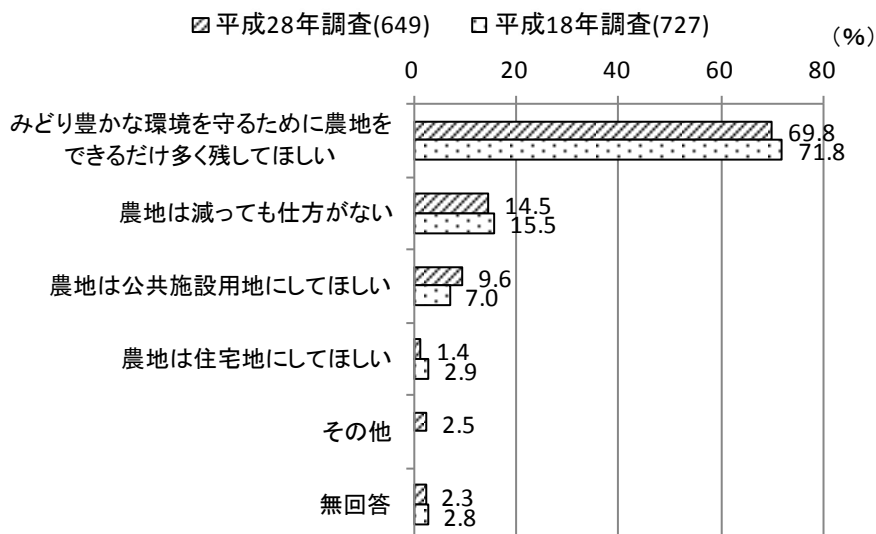
N=649

(%)



## (2) 市内の農地について

問6 武蔵村山市では、農地が年々減少する傾向にあります。あなたは市内の農地についてどのように思いますか。(1つに○)



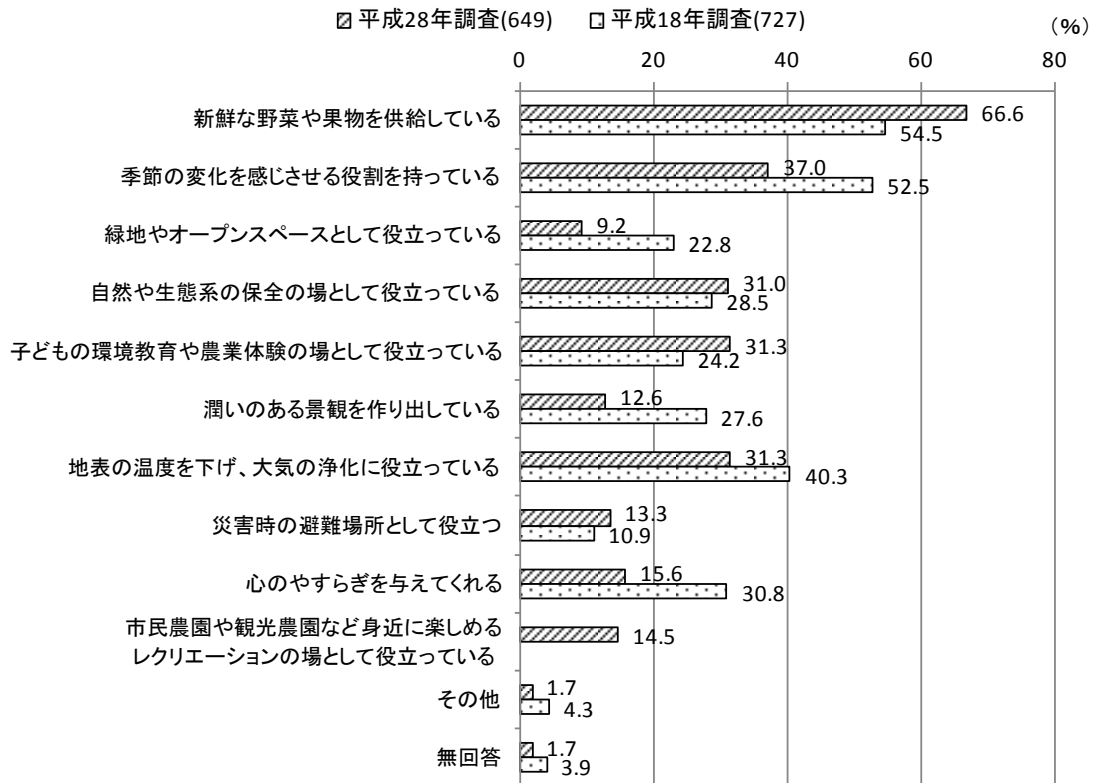
※「その他」は、平成28年調査で新たに追加した選択肢

市内の農地についての意見は、「みどり豊かな環境を守るために農地をできるだけ多く残してほしい」が69.8%となっています。

問6 市内の農地について		1 残め しに どり ほし い	2 農地 は減 つて も仕 方が ない	3 ほ農 し地 いは は公 共施 設用 地に して	4 農地 は住 宅地 にし てほ しい	5 その 他	無回 答	回 答者 総数
回答者総数 (全体)		69.8	14.5	9.6	1.4	2.5	2.3	649
性別	男性	66.3	17.2	9.5	2.1	3.5	1.4	285
	女性	73.0	12.5	9.7	0.8	1.7	2.2	359
	無回答	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	5
年齢別	10代・20代	65.8	10.5	13.2	0.0	7.9	2.6	38
	30代	73.3	13.3	8.3	1.7	3.3	0.0	60
	40代	72.3	14.9	7.9	0.0	4.0	1.0	101
	50代	69.2	11.0	13.2	2.2	2.2	2.2	91
	60代	69.2	22.0	5.0	1.9	1.3	0.6	159
	70代	72.4	11.5	11.5	1.3	0.0	3.2	156
	80代以上	61.0	9.8	14.6	2.4	7.3	4.9	41
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3
居住地 域別	北東地域	69.5	11.6	12.6	1.1	2.1	3.2	95
	北西地域	66.3	18.4	12.2	1.0	2.0	0.0	98
	南西地域	64.0	20.9	8.1	1.2	4.7	1.2	172
	南東地域	75.4	10.4	8.6	1.8	1.4	2.5	280
	無回答	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4

### (3) 農業や農地の役割について

問7 市内の農業や農地の役割について、どのようなイメージをお持ちですか。(3つまでに○)



※「市民農園や観光農園など身近に楽しめるレクリエーションの場として役立っている」は、平成28年調査で新たに追加した選択肢

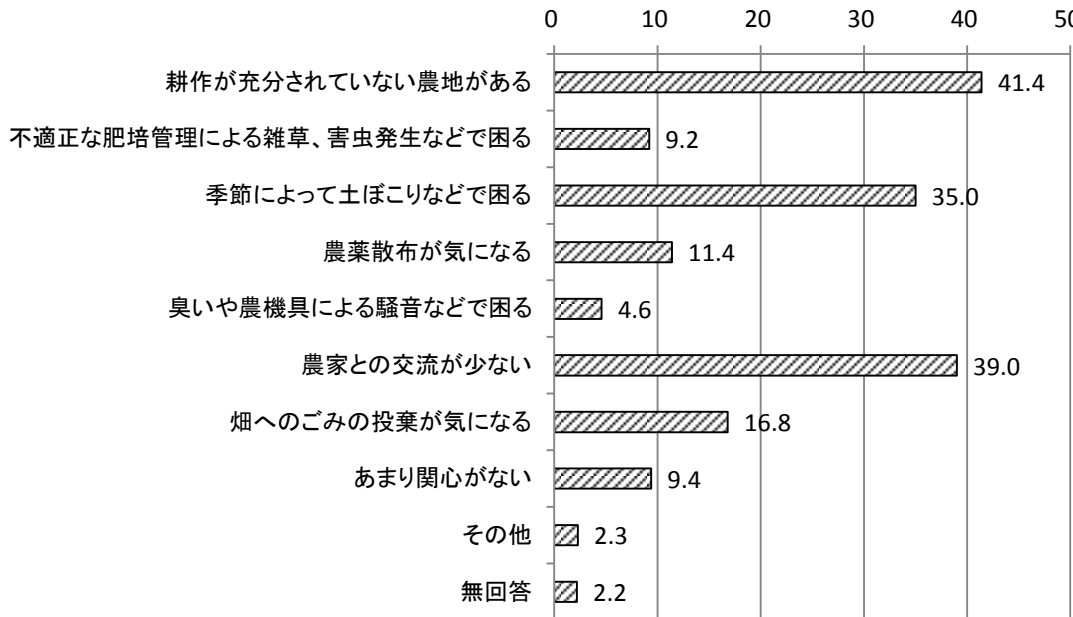
市内の農業や農地の役割は、「新鮮な野菜や果物を供給している」が66.6%、「季節の変化を感じさせる役割を持っている」が37.0%などとなっています。

問7 農業や農地の役割について	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	回答者総数
新鮮な野菜や果物を供給している	66.6	37.0	9.2	31.0	31.3	12.6	31.3	13.3	15.6	14.5	1.7	1.7	649
季節の変化を感じさせる役割を持っている	37.0	52.5	22.8	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
緑地やオープンスペースとして役立っている	9.2	22.8	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
自然や生態系の保全の場として役立っている	31.0	28.5	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
子どもの環境教育や農業体験の場として役立っている	31.3	24.2	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
潤いのある景観を作り出している	12.6	27.6	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
地表の温度を下げ、大気の浄化に役立っている	31.3	40.3	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
災害時の避難場所として役立つ	13.3	10.9	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
心のやすらぎを与えてくれる	15.6	30.8	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
市民農園や観光農園など身近に楽しめるレクリエーションの場として役立っている	14.5	-	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
その他	1.7	4.3	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
無回答	1.7	3.9	27.6	28.5	24.2	27.6	40.3	10.9	30.8	20.0	0.0	60.0	727
性別													
男性	62.5	35.4	13.7	35.4	24.9	14.0	29.8	17.9	15.8	14.0	3.2	1.1	285
女性	70.5	38.4	5.8	27.9	36.8	11.1	32.9	9.7	15.3	14.8	0.6	1.4	359
無回答	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	5
年齢別													
10代・20代	47.4	26.3	10.5	39.5	55.3	10.5	21.1	10.5	15.8	7.9	5.3	0.0	38
30代	60.0	46.7	6.7	30.0	48.3	10.0	21.7	6.7	15.0	10.0	3.3	0.0	60
40代	65.3	32.7	13.9	29.7	51.5	13.9	32.7	7.9	9.9	11.9	1.0	0.0	101
50代	69.2	35.2	7.7	37.4	27.5	14.3	39.6	9.9	9.9	16.5	2.2	1.1	91
60代	70.4	44.0	11.9	31.4	21.4	15.7	27.0	14.5	21.4	13.2	1.3	0.6	159
70代	69.2	33.3	4.5	30.1	19.9	12.2	38.5	18.6	17.3	20.5	1.3	1.3	156
80代以上	70.7	36.6	12.2	17.1	26.8	2.4	24.4	22.0	14.6	12.2	0.0	9.8	41
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3
居住地別													
北東地域	69.5	27.4	8.4	32.6	33.7	11.6	38.9	17.9	9.5	10.5	1.1	2.1	95
北西地域	64.3	35.7	4.1	30.6	30.6	17.3	29.6	11.2	21.4	11.2	2.0	1.0	98
南西地域	64.0	45.9	10.5	30.8	26.7	15.1	30.8	15.1	16.3	12.8	2.9	0.0	172
南東地域	68.6	35.7	10.7	30.7	33.9	10.0	29.6	11.4	15.4	18.2	1.1	1.8	280
無回答	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4

(4) 農業の問題点について

問8 市内の農業に関する問題点についてお伺いします。(2つまでに○)

N=649 (%)



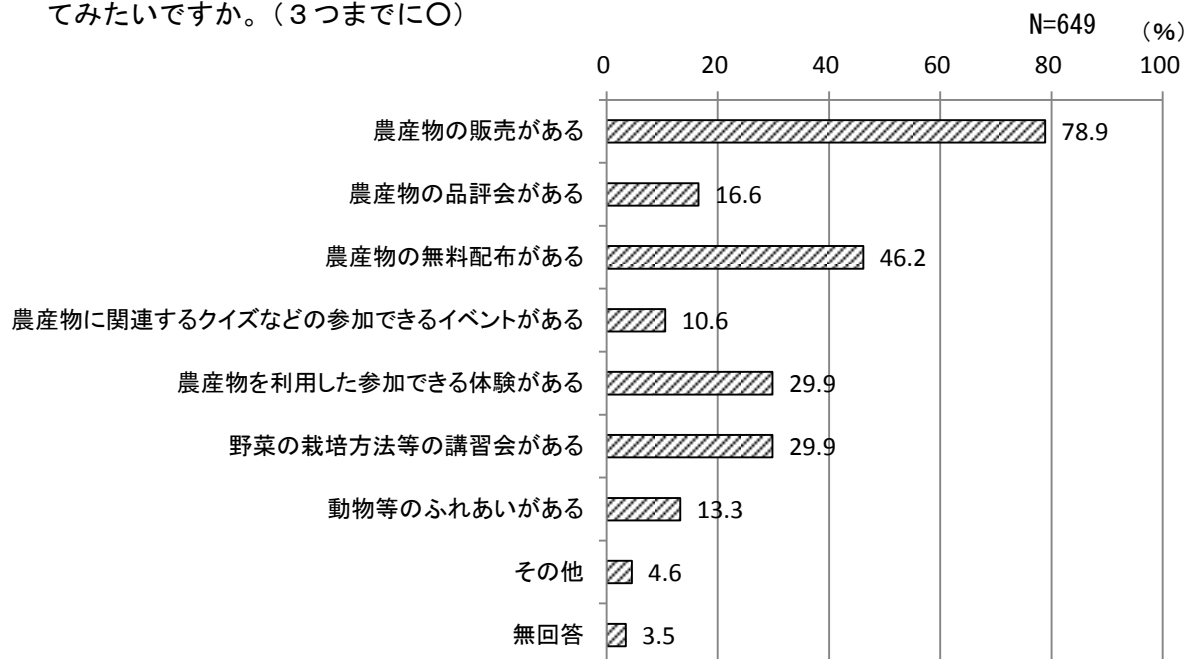
※肥培管理：耕うん、整地、播種、施肥、除草等の一連の作業を行って作物を栽培すること。

農業の問題点は、「耕作が充分されていない農地がある」が41.4%、「農家との交流が少ない」が39.0%、「季節によって土ぼこりなどで困る」が35.0%などとなっています。

問8 農業の問題点について	1 地耕 作が 充 分 さ れ て い な い 農 地 が あ る	2 草、不 適正 な肥 培管 理に よる 雑	3 で季 節に よつ て土 ぼこ りな ど	4 農薬 散布 が気 にな る	5 ど臭 いや 農機 具に よる 騒音 な	6 農家 との 交流 が少 ない	7 る畑 への ごみ の投 棄が 気にな	8 あま り関 心がない	9 その他	無 回 答	回 答 者 総 数	
回答者総数(全体)	41.4	9.2	35.0	11.4	4.6	39.0	16.8	9.4	2.3	2.2	649	
性別	男性	45.6	12.6	35.1	7.7	4.2	36.5	20.0	11.2	2.8	2.1	285
	女性	38.7	6.7	34.8	14.5	5.0	41.2	14.2	8.1	1.9	1.4	359
	無回答	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	5
年齢別	10代・20代	21.1	15.8	57.9	10.5	7.9	21.1	10.5	15.8	0.0	7.9	38
	30代	18.3	8.3	46.7	15.0	5.0	33.3	16.7	8.3	1.7	0.0	60
	40代	26.7	6.9	42.6	16.8	7.9	32.7	18.8	9.9	3.0	1.0	101
	50代	39.6	8.8	39.6	18.7	6.6	30.8	16.5	6.6	4.4	0.0	91
	60代	52.8	9.4	31.4	7.5	3.1	46.5	21.4	6.9	3.1	1.3	159
	70代	54.5	10.3	25.0	8.3	2.6	44.9	13.5	10.9	1.3	2.6	156
	80代以上	43.9	7.3	22.0	4.9	2.4	48.8	14.6	14.6	0.0	2.4	41
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	3	
居住地別	北東地域	44.2	12.6	36.8	12.6	9.5	23.2	10.5	4.2	4.2	3.2	95
	北西地域	37.8	9.2	28.6	7.1	5.1	40.8	17.3	14.3	2.0	4.1	98
	南西地域	42.4	7.0	47.1	13.4	5.8	34.9	17.4	11.0	1.7	0.0	172
	南東地域	41.4	9.3	29.6	11.4	2.1	46.8	18.6	8.6	2.1	1.4	280
	無回答	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	4

## (5) 農業まつりについて

問9 毎年11月中旬頃に農業まつりを開催していますが、どのような内容の行事であれば、行ってみたいですか。(3つまでに○)



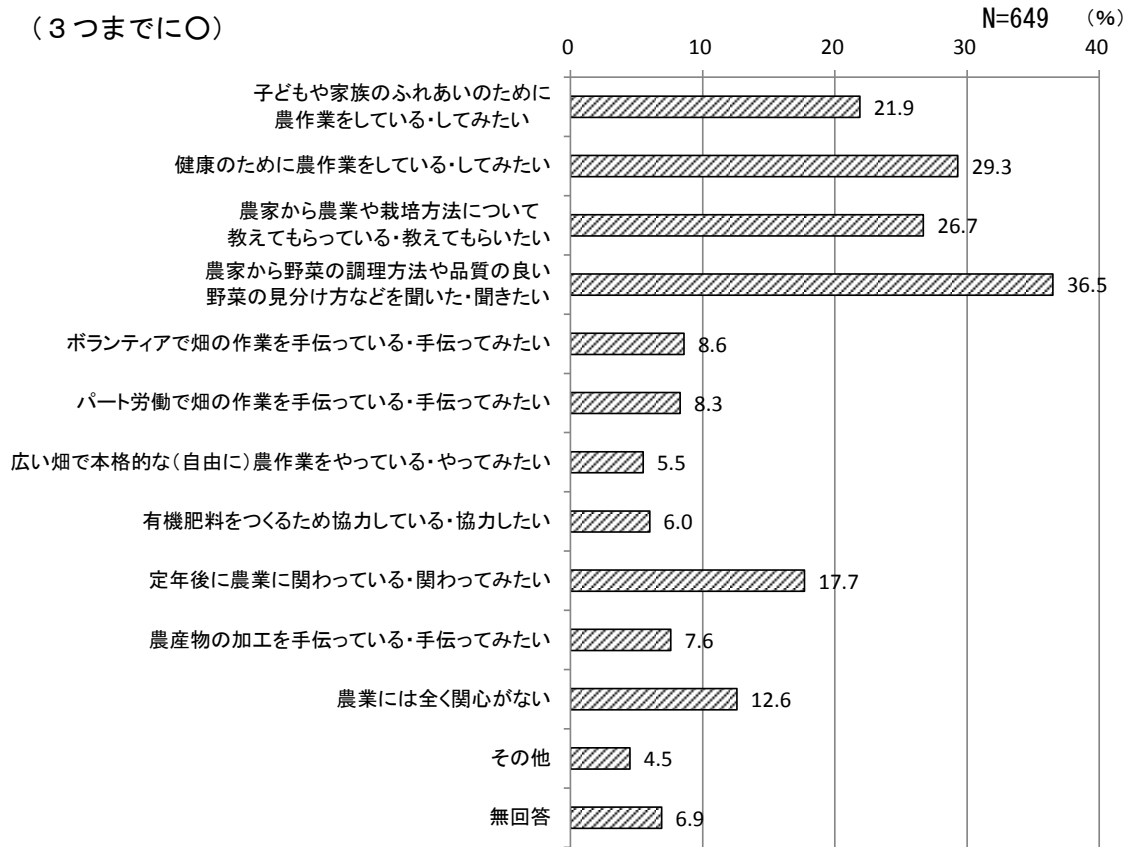
農業まつりの楽しみな行事は、「農産物の販売がある」が78.9%、「農産物の無料配布がある」が46.2%などとなっています。

問9 農業まつりについて		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者総数
		農産物の販売がある	農産物の品評会がある	農産物の無料配布がある	あどの農産物に参加できるイベントがない	農産物を利用した参加できる	野菜の栽培方法等の講習会	動物等のふれあいがある	その他		
回答者総数 (全体)		78.9	16.6	46.2	10.6	29.9	29.9	13.3	4.6	3.5	649
性別	男性	73.0	20.7	42.8	10.2	29.5	33.7	13.7	4.9	3.9	285
	女性	83.8	13.4	48.7	10.9	29.8	26.5	12.8	4.5	3.3	359
	無回答	60.0	20.0	60.0	20.0	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	5
年齢別	10代・20代	57.9	7.9	57.9	2.6	23.7	28.9	31.6	10.5	5.3	38
	30代	75.0	8.3	53.3	10.0	35.0	15.0	31.7	1.7	1.7	60
	40代	82.2	11.9	46.5	7.9	40.6	28.7	22.8	4.0	0.0	101
	50代	78.0	15.4	51.6	9.9	25.3	35.2	17.6	4.4	0.0	91
	60代	81.1	15.7	40.9	10.1	30.2	38.4	6.9	6.3	2.5	159
	70代	80.8	23.1	44.9	14.7	24.4	26.9	2.6	3.8	7.1	156
	80代以上	82.9	29.3	36.6	14.6	26.8	22.0	2.4	2.4	12.2	41
	無回答	66.7	33.3	66.7	0.0	100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	3
居住地別	北東地域	73.7	21.1	43.2	7.4	32.6	31.6	14.7	3.2	5.3	95
	北西地域	76.5	13.3	54.1	5.1	28.6	28.6	14.3	5.1	3.1	98
	南西地域	79.7	17.4	45.3	11.6	26.7	30.8	12.8	5.8	2.9	172
	南東地域	81.1	15.7	44.6	13.2	30.4	29.3	12.9	4.3	3.6	280
	無回答	75.0	25.0	75.0	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4

(6) 農業との関わりについて

問10 農業との関わりについて、どのような取組に参加している、あるいは参加したいですか。

(3つまでに○)

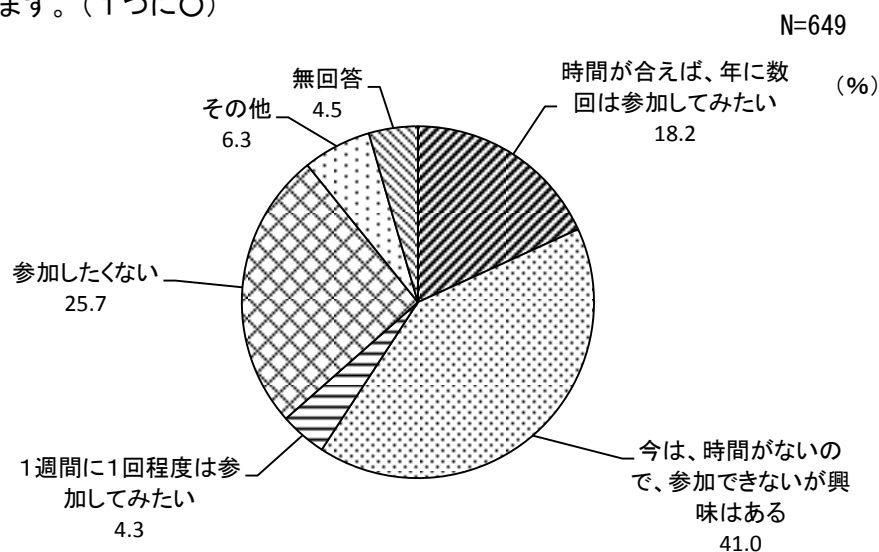


農業との関わりについては、「農家から野菜の調理方法や品質の良い野菜の見分け方などを聞いた・聞きたい」が36.5%、「健康のために農作業をしている・してみたい」が29.3%、「農家から農業や栽培方法について教えてもらっている・教えてもらいたい」が26.7%などとなっています。

問10 農業との関わりについて	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)	21.9	29.3	26.7	36.5	8.6	8.3	5.5	6.0	17.7	7.6	12.6	4.5	6.9	649
性別														
男性	23.2	34.4	29.1	34.4	9.1	7.0	7.4	6.3	23.9	5.6	14.7	3.5	3.9	285
女性	21.2	24.2	24.8	38.2	8.1	9.5	3.9	5.6	12.8	8.9	11.1	5.3	9.5	359
無回答	0.0	100.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5
年齢別														
10代・20代	18.4	36.8	23.7	39.5	7.9	13.2	2.6	5.3	26.3	7.9	21.1	0.0	2.6	38
30代	46.7	13.3	15.0	41.7	3.3	10.0	8.3	3.3	15.0	10.0	13.3	3.3	0.0	60
40代	37.6	18.8	34.7	44.6	5.0	13.9	5.9	4.0	22.8	5.9	7.9	2.0	4.0	101
50代	22.0	18.7	29.7	38.5	5.5	8.8	4.4	4.4	29.7	2.2	12.1	7.7	3.3	91
60代	14.5	39.6	30.2	34.0	13.2	6.9	8.2	6.3	15.7	10.7	15.1	2.5	3.1	159
70代	12.8	32.7	22.4	28.8	11.5	5.1	4.5	9.0	10.3	7.1	10.3	7.7	16.0	156
80代以上	14.6	36.6	22.0	39.0	2.4	4.9	0.0	7.3	9.8	7.3	17.1	4.9	17.1	41
無回答	0.0	100.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3
居住地域別														
北東地域	25.3	32.6	26.3	33.7	6.3	7.4	7.4	6.3	21.1	5.3	9.5	5.3	5.3	95
北西地域	21.4	22.4	30.6	39.8	6.1	5.1	5.1	6.1	16.3	4.1	15.3	9.2	2.0	98
南西地域	19.2	29.7	26.7	37.8	8.1	9.3	7.6	8.1	18.6	11.0	9.9	3.5	5.8	172
南東地域	22.9	29.3	25.0	35.0	10.4	9.3	3.9	4.6	16.4	7.1	14.6	3.2	10.0	280
無回答	0.0	100.0	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4

## (7) 援農ボランティアについて

問11 農作業を無償でお手伝いをする援農ボランティア制度がありますが、この制度について伺います。(1つに○)

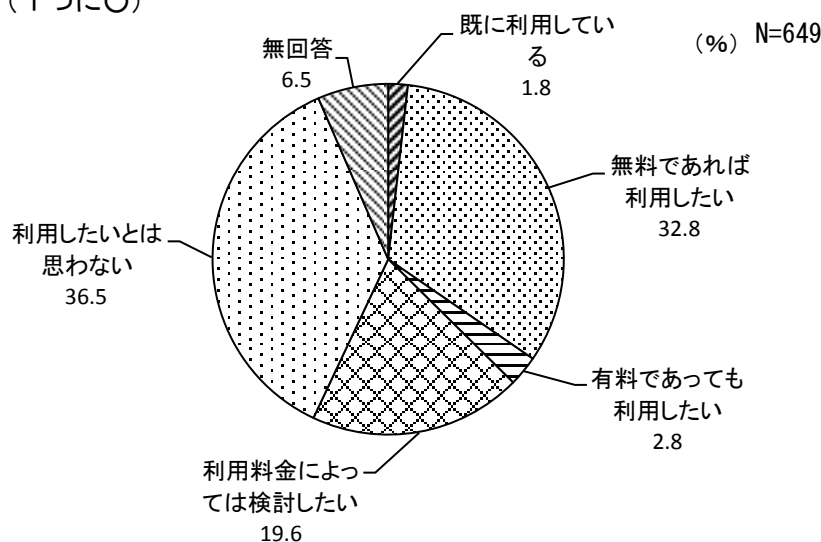


援農ボランティアについては、「今は、時間がないので、参加できないが興味はある」が41.0%、「時間が合えば、年に数回は参加してみたい」が18.2%などであり、「参加したくない」は25.7%となっています。

問11 援農ボランティアについて		1 参加時間が合えば、年に数回は	2 今は、時間がないので、参加できないが興味はある	3 1週間に1回程度は参加してみたい	4 参加したくない	5 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		18.2	41.0	4.3	25.7	6.3	4.5	649
性別	男性	16.1	40.0	5.6	28.1	6.3	3.9	285
	女性	19.5	41.5	3.3	24.2	6.4	5.0	359
	無回答	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
年齢別	10代・20代	18.4	39.5	2.6	36.8	0.0	2.6	38
	30代	3.3	63.3	1.7	28.3	3.3	0.0	60
	40代	12.9	58.4	3.0	20.8	3.0	2.0	101
	50代	19.8	50.5	1.1	23.1	5.5	0.0	91
	60代	22.0	35.2	5.7	30.8	5.0	1.3	159
	70代	21.2	28.2	6.4	22.4	10.9	10.9	156
	80代以上	19.5	17.1	7.3	24.4	14.6	17.1	41
無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3	
居住地別	北東地域	18.9	43.2	3.2	23.2	4.2	7.4	95
	北西地域	17.3	37.8	4.1	32.7	7.1	1.0	98
	南西地域	19.8	41.3	4.7	23.3	8.1	2.9	172
	南東地域	16.8	41.4	4.6	25.7	5.7	5.7	280
	無回答	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4

## (8) 市民農園の利用について

問12 現在市内には、60歳以上の方を対象とした無料で利用できる市民農園（「喜び農園」5か所）があります。高齢者のみでなく、一般の方を対象とした市民農園があれば利用したいですか。（1つに○）



※市民農園：農園を借りている人が、借りている区画内で自分で用意した苗と種子で農産物を栽培、生産できる農園のこと。

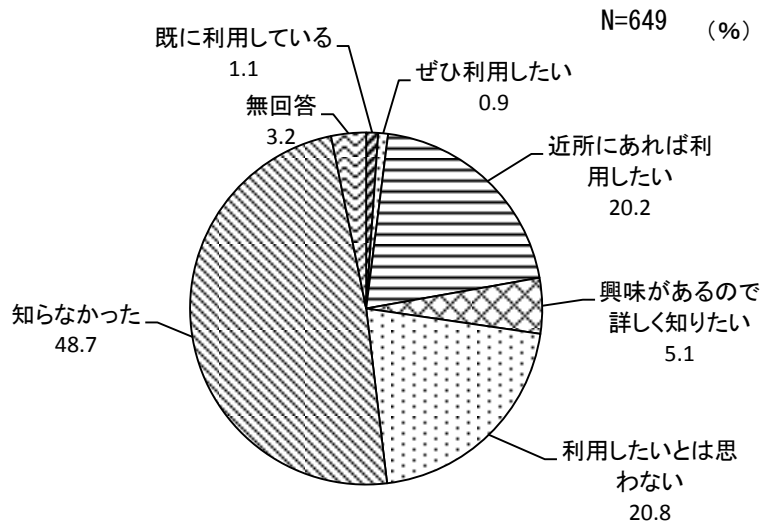
市民農園の利用については、「無料であれば利用したい」が32.8%、「利用料金によっては検討したい」が19.6%などであり、「利用したいとは思わない」は36.5%となっています。

問12 市民農園の利用について		1 既にご利用している	2 無料であれば利用したい	3 有料であっても利用したい	4 利用料金によっては検討したい	5 利用したいとは思わない	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		1.8	32.8	2.8	19.6	36.5	6.5	649
性別	男性	2.8	35.4	4.2	23.2	30.9	3.5	285
	女性	1.1	30.9	1.7	16.4	41.2	8.6	359
	無回答	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	0.0	47.4	2.6	18.4	28.9	2.6	38
	30代	0.0	48.3	3.3	26.7	21.7	0.0	60
	40代	0.0	28.7	6.9	33.7	29.7	1.0	101
	50代	0.0	35.2	1.1	29.7	31.9	2.2	91
	60代	1.9	32.7	2.5	15.1	41.5	6.3	159
	70代	3.8	26.9	0.6	10.9	45.5	12.2	156
	80代以上	7.3	24.4	4.9	0.0	41.5	22.0	41
無回答	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	3	
居住地域別	北東地域	1.1	41.1	2.1	18.9	30.5	6.3	95
	北西地域	0.0	32.7	2.0	14.3	45.9	5.1	98
	南西地域	0.6	30.8	1.7	24.4	37.8	4.7	172
	南東地域	3.6	31.1	3.9	18.2	35.0	8.2	280
	無回答	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	4



(9) 体験型市民農園の利用について

問13 現在市内には、農家が管理運営する体験型市民農園（2か所）がありますが、この農園の利用についてお伺いします。（1つに○）



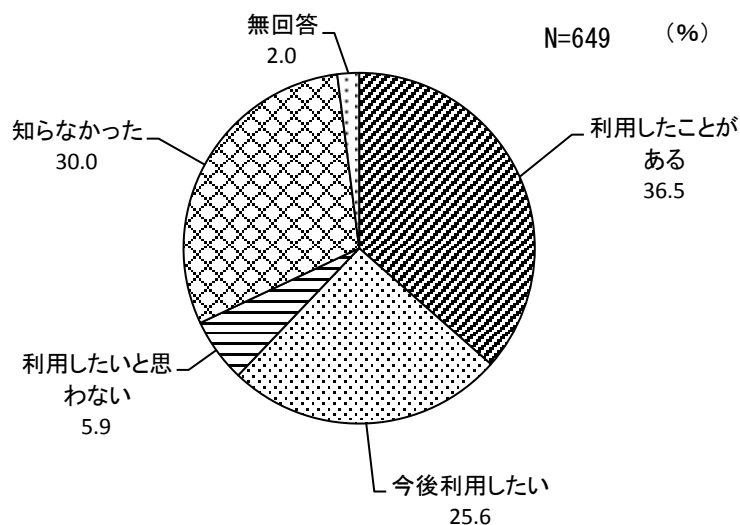
※体験型市民農園：農園主が用意した種子や苗を使い、指導を受けながら栽培し、収穫を体験することができます。  
市内には、ふれあい農園とわかな農園の2か所が設置されており、現在の年間利用料は30,000円です。

体験型市民農園の利用については、「近所があれば利用したい」が20.2%、「利用したいとは思わない」が20.8%、「知らなかった」が48.7%となっています。

問13 体験型市民農園の利用について		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者総数
		既にご利用している	ぜひ利用したい	近所があれば利用したい	興味があるので詳しく知りたい	利用したいとは思わない	知らなかった		
回答者総数 (全体)		1.1	0.9	20.2	5.1	20.8	48.7	3.2	649
性別	男性	1.1	0.7	20.0	8.1	21.8	47.0	1.4	285
	女性	1.1	1.1	19.8	2.8	20.1	50.4	4.7	359
	無回答	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	5
年齢別	10代・20代	0.0	2.6	10.5	0.0	5.3	81.6	0.0	38
	30代	0.0	0.0	18.3	6.7	6.7	68.3	0.0	60
	40代	0.0	1.0	19.8	8.9	3.0	67.3	0.0	101
	50代	1.1	1.1	23.1	5.5	14.3	54.9	0.0	91
	60代	0.6	1.3	24.5	6.9	28.9	37.1	0.6	159
	70代	2.6	0.6	16.7	1.9	34.6	35.9	7.7	156
	80代以上	2.4	0.0	17.1	2.4	31.7	26.8	19.5	41
無回答	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3	
居住地別	北東地域	2.1	0.0	18.9	7.4	20.0	48.4	3.2	95
	北西地域	0.0	0.0	20.4	3.1	24.5	49.0	3.1	98
	南西地域	0.0	0.6	19.2	4.7	22.1	50.6	2.9	172
	南東地域	1.8	1.8	20.4	5.4	18.9	48.2	3.6	280
	無回答	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4

## (10) 観光農園の利用について

問14 市内には、みかんや梨、ブルーベリー等のもぎ取りができる観光農園（8か所）がありますが、この観光農園の利用についてお伺いします。（1つに○）



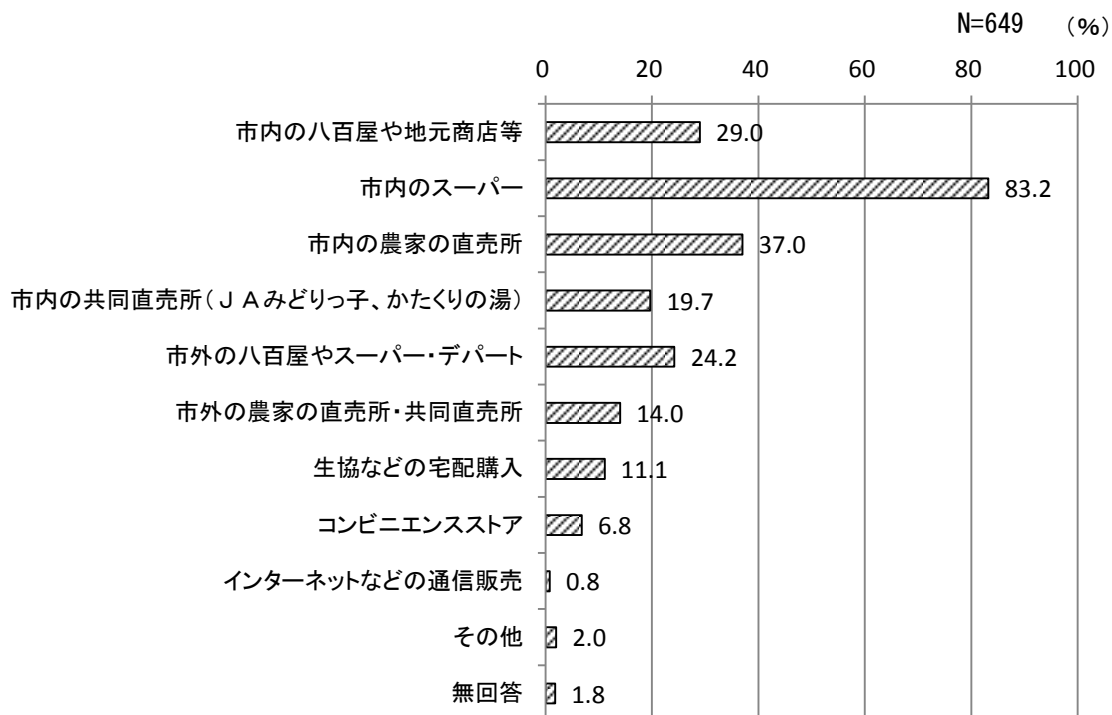
※観光農園：くだものやイチゴ狩りなど、レクリエーションのために客に開放する農園のこと。

観光農園の利用については、「利用したことがある」が36.5%、「今後利用したい」が25.6%、「知らなかった」が30.0%などとなっています。

問14 観光農園の利用について		1 利用したことがある	2 今後利用したい	3 利用したいと思わない	4 知らなかった	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		36.5	25.6	5.9	30.0	2.0	649
性別	男性	27.7	27.0	7.0	36.5	1.8	285
	女性	42.9	24.5	5.0	25.3	2.2	359
	無回答	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5
年齢別	10代・20代	23.7	28.9	2.6	44.7	0.0	38
	30代	41.7	18.3	3.3	36.7	0.0	60
	40代	34.7	28.7	1.0	35.6	0.0	101
	50代	27.5	35.2	7.7	28.6	1.1	91
	60代	41.5	28.3	5.0	23.9	1.3	159
	70代	39.7	18.6	9.0	28.8	3.8	156
	80代以上	29.3	22.0	12.2	26.8	9.8	41
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
居住地域別	北東地域	43.2	22.1	4.2	29.5	1.1	95
	北西地域	35.7	23.5	6.1	31.6	3.1	98
	南西地域	33.1	26.2	5.8	33.1	1.7	172
	南東地域	35.7	27.5	6.4	28.2	2.1	280
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

(11) 野菜の購入場所について

問15 あなたは野菜を主にどこで購入していますか。(3つまでに○)

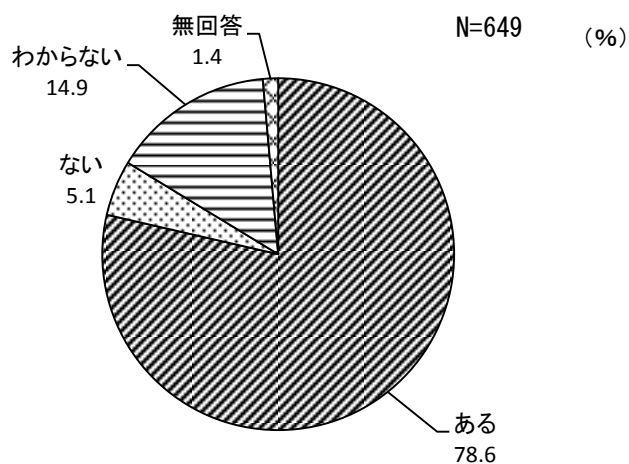


野菜の購入場所は、「市内のスーパー」が83.2%、「市内の農家の直売所」が37.0%、「市内の八百屋や地元商店等」が29.0%などとなっています。

問15 野菜の購入場所について		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	回答者総数
		市内の八百屋や地元商店等	市内のスーパー	市内の農家の直売所	市内の共同直売所(JAみどりっ子、かたくりの湯)	市外の八百屋やスーパー・デパート	市外の農家の直売所・共同直売所	生協などの宅配購入	コンビニエンスストア	インターネットなどの通信販売	その他		
回答者総数(全体)		29.0	83.2	37.0	19.7	24.2	14.0	11.1	6.8	0.8	2.0	1.8	649
性別	男性	29.1	87.7	32.6	18.2	24.6	13.7	10.9	8.4	0.4	2.1	2.1	285
	女性	28.7	79.7	40.4	20.9	24.2	14.2	11.4	5.6	1.1	1.9	1.4	359
	無回答	40.0	80.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	5.3	84.2	18.4	13.2	39.5	5.3	13.2	10.5	0.0	2.6	2.6	38
	30代	28.3	93.3	26.7	16.7	23.3	10.0	6.7	5.0	0.0	3.3	0.0	60
	40代	21.8	85.1	25.7	17.8	24.8	11.9	13.9	9.9	1.0	1.0	0.0	101
	50代	20.9	81.3	25.3	17.6	33.0	18.7	19.8	5.5	1.1	2.2	0.0	91
	60代	33.3	89.3	44.7	17.6	22.0	17.6	7.5	5.0	0.6	3.1	0.6	159
	70代	36.5	78.8	50.6	23.7	21.2	14.1	11.5	7.7	0.0	1.3	2.6	156
	80代以上	41.5	61.0	39.0	31.7	12.2	9.8	2.4	4.9	4.9	0.0	12.2	41
無回答	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3	
居住地別	北東地域	26.3	86.3	46.3	28.4	18.9	18.9	12.6	4.2	0.0	2.1	1.1	95
	北西地域	21.4	82.7	37.8	23.5	33.7	13.3	11.2	5.1	0.0	2.0	1.0	98
	南西地域	12.2	88.4	36.6	21.5	25.0	15.7	11.6	5.2	0.0	3.5	1.2	172
	南東地域	42.5	79.3	33.2	14.3	22.5	11.8	10.4	9.3	1.8	1.1	2.5	280
	無回答	50.0	75.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4

(12) 武蔵村山産の農産物の購入について

問16 あなたは武蔵村山産の農産物を購入したことがありますか。(1つに○)

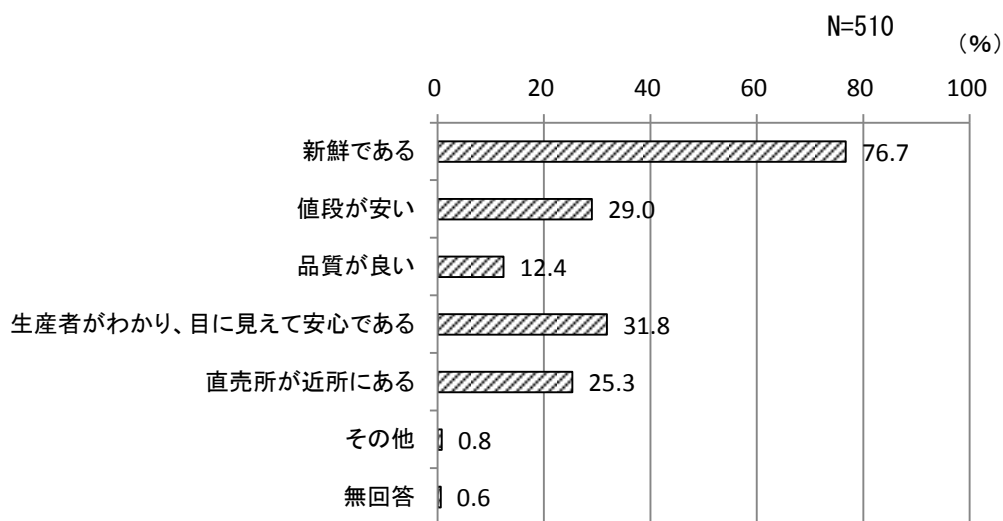


武蔵村山産の農産物を購入したことが、「ある」が78.6%、「ない」が5.1%、「わからない」が14.9%となっています。

問16 武蔵村山産の農産物を購入したこと		1 ある	2 ない	3 わからない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		78.6	5.1	14.9	1.4	649
性別	男性	72.3	6.0	20.0	1.8	285
	女性	83.6	4.5	11.1	0.8	359
	無回答	80.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	52.6	13.2	34.2	0.0	38
	30代	63.3	8.3	28.3	0.0	60
	40代	77.2	5.0	17.8	0.0	101
	50代	79.1	2.2	18.7	0.0	91
	60代	79.2	6.9	13.2	0.6	159
	70代	89.7	1.9	6.4	1.9	156
	80代以上	82.9	4.9	2.4	9.8	41
	無回答	66.7	0.0	0.0	33.3	3
居住地別	北東地域	84.2	1.1	14.7	0.0	95
	北西地域	84.7	5.1	10.2	0.0	98
	南西地域	76.7	7.0	15.7	0.6	172
	南東地域	75.7	5.4	16.4	2.5	280
	無回答	75.0	0.0	0.0	25.0	4

問17 武蔵村山産の農産物を購入する理由・購入しない理由として該当するものをお選びください。(それぞれ2つまでに○)

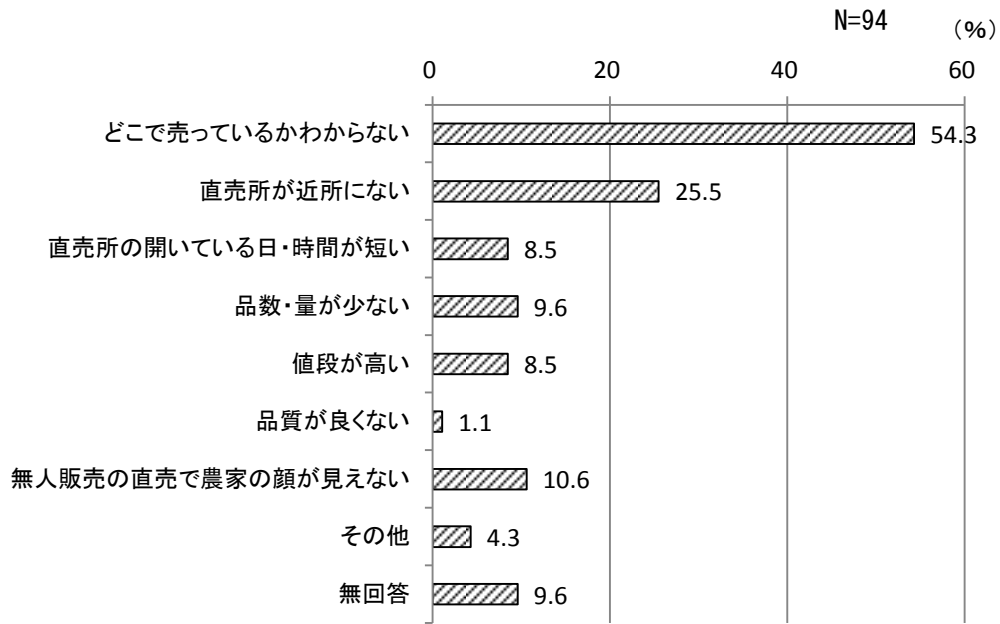
購入したことのある方



武蔵村山産の農産物を購入する理由は、「新鮮である」が76.7%、「生産者がわかり、目に見えて安心である」が31.8%などとなっています。

問17① 購入したことのある理由		1 新鮮である	2 値段が安い	3 品質が良い	4 生産者がわかり、目に見えて安心である	5 直売所が近所にある	6 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		76.7	29.0	12.4	31.8	25.3	0.8	0.6	510
性別	男性	74.3	26.7	14.1	29.6	30.6	1.0	0.5	206
	女性	78.3	31.0	11.0	33.0	21.7	0.7	0.7	300
	無回答	75.0	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	4
年齢別	10代・20代	50.0	45.0	15.0	15.0	20.0	0.0	5.0	20
	30代	63.2	47.4	18.4	15.8	26.3	2.6	0.0	38
	40代	71.8	42.3	7.7	28.2	20.5	0.0	0.0	78
	50代	77.8	34.7	8.3	20.8	22.2	4.2	0.0	72
	60代	84.9	23.8	7.9	41.3	24.6	0.0	0.0	126
	70代	75.7	20.0	18.6	37.1	30.0	0.0	0.7	140
	80代以上 無回答	88.2 100.0	14.7 0.0	14.7 0.0	32.4 50.0	26.5 50.0	0.0 0.0	2.9 0.0	34 2
居住地別	北東地域	81.3	35.0	10.0	23.8	30.0	0.0	1.3	80
	北西地域	67.5	31.3	3.6	27.7	38.6	1.2	0.0	83
	南西地域	78.0	28.0	15.9	34.1	15.9	2.3	0.8	132
	南東地域	77.4	26.9	14.6	34.4	24.1	0.0	0.5	212
	無回答	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	3

購入したことのない方（「わからない」を選択し回答した人を含む）

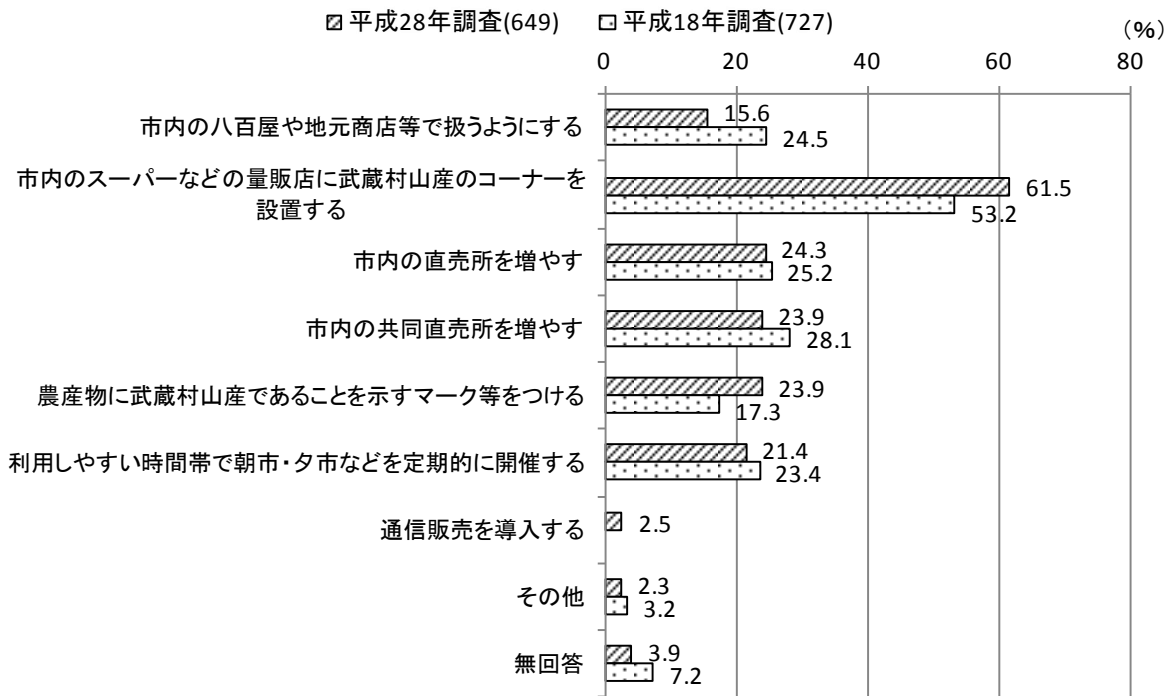


武蔵村山産の農産物を購入できない理由は、「どこで売っているかわからない」が54.3%、「直売所が近所がない」が25.5%などとなっています。

問17② 購入したことのない理由		1 どこで売っているかわからない	2 直売所が近所がない	3 間直売所の開いている日・時間が短い	4 品数・量が少ない	5 値段が高い	6 品質が良くない	7 無人販売の直売で農家の顔が見えない	8 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		54.3	25.5	8.5	9.6	8.5	1.1	10.6	4.3	9.6	94
性別	男性	61.2	28.6	2.0	12.2	4.1	2.0	10.2	4.1	10.2	49
	女性	47.7	22.7	15.9	6.8	13.6	0.0	11.4	4.5	6.8	44
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
年齢別	10代・20代	60.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	0.0	10
	30代	77.8	16.7	5.6	0.0	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	18
	40代	73.3	26.7	13.3	13.3	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	15
	50代	50.0	25.0	12.5	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	8
	60代	45.8	37.5	4.2	20.8	8.3	0.0	8.3	8.3	4.2	24
	70代	41.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0	12
	80代以上	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	6
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1	
居住地別	北東地域	85.7	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	7
	北西地域	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	0.0	50.0	12.5	0.0	8
	南西地域	60.7	32.1	3.6	10.7	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	28
	南東地域	52.0	22.0	12.0	8.0	10.0	0.0	6.0	4.0	14.0	50
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1

(13) 市内産の農産物を購入しやすくすることについて

問18 市内で生産された農産物をもっと買いやすくするためにどのようにすればよいと思えますか。(2つまでに○)



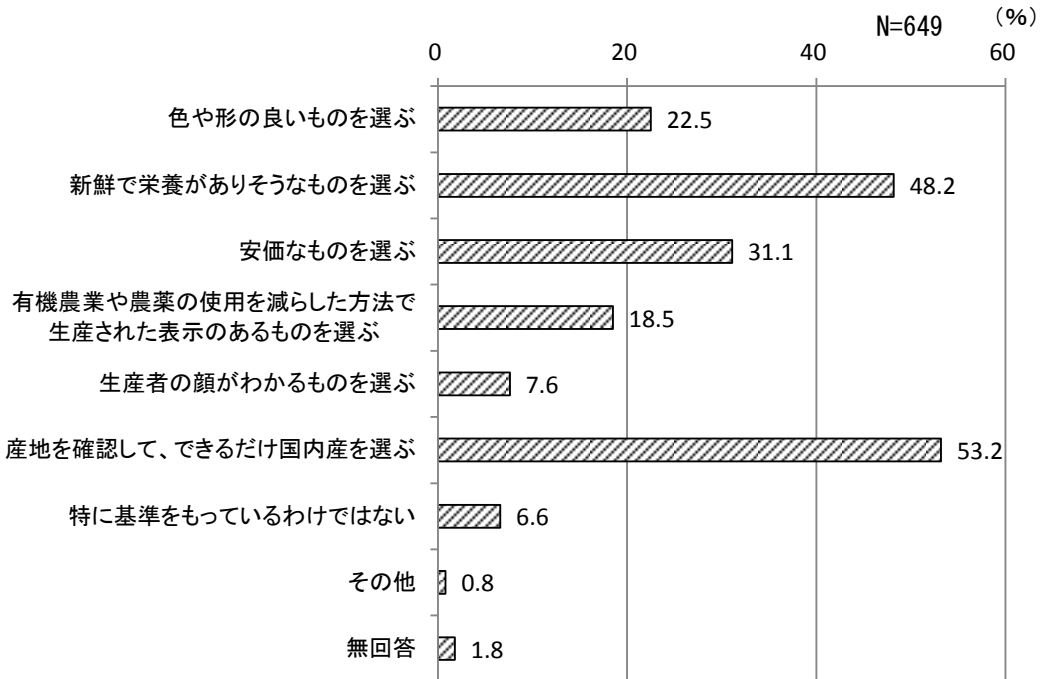
※「通信販売を導入する」は、平成28年調査で新たに追加した選択肢

市内産の農産物を購入しやすくするためには、「市内のスーパーなどの量販店に武蔵村山産のコーナーを設置する」が61.5%、「市内の直売所を増やす」が24.3%などとなっています。

問18 市内産の農産物を購入しやすくすることについて		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者総数
		市内の八百屋や地元商店等で扱うようにする	市内のスーパーなどの量販店に武蔵村山産のコーナーを設置する	市内の直売所を増やす	市内の共同直売所を増やす	農産物に武蔵村山産であることを示すマーク等をつける	朝市・夕市などを利用しやすい時間帯で定期的開催する	通信販売を導入する	その他		
回答者総数(全体)		15.6	61.5	24.3	23.9	23.9	21.4	2.5	2.3	3.9	649
性別	男性	15.1	64.2	19.3	24.6	22.5	22.8	3.9	2.5	4.6	285
	女性	15.9	59.1	28.4	23.1	25.3	20.6	1.4	2.2	3.1	359
	無回答	20.0	80.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	13.2	78.9	7.9	18.4	23.7	21.1	5.3	0.0	2.6	38
	30代	15.0	75.0	21.7	13.3	23.3	20.0	6.7	0.0	0.0	60
	40代	14.9	66.3	13.9	22.8	27.7	25.7	2.0	4.0	1.0	101
	50代	15.4	61.5	30.8	18.7	26.4	25.3	4.4	2.2	2.2	91
	60代	11.3	59.7	25.8	29.6	22.6	23.3	1.3	1.9	3.1	159
	70代	21.2	54.5	30.1	26.9	21.8	18.6	0.6	3.8	4.5	156
	80代以上	17.1	46.3	26.8	24.4	24.4	9.8	2.4	0.0	19.5	41
無回答	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3	
居住地別	北東地域	10.5	56.8	27.4	24.2	22.1	22.1	1.1	5.3	4.2	95
	北西地域	6.1	57.1	21.4	31.6	22.4	26.5	2.0	4.1	4.1	98
	南西地域	10.5	66.9	25.6	22.7	25.6	21.5	1.7	2.9	2.3	172
	南東地域	23.9	61.4	23.2	21.8	24.3	19.3	3.6	0.4	4.3	280
	無回答	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4

(14) 野菜や果物を購入するときの基準について

問19 あなたは、野菜や果物を購入するとき何を基準に選びますか。(2つまでに○)



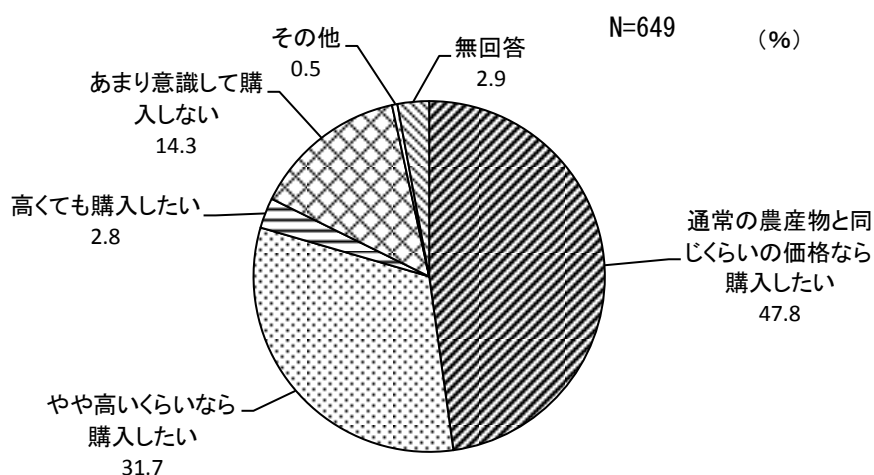
野菜や果物を購入するときの基準は、「産地を確認して、できるだけ国内産を選ぶ」が53.2%、「新鮮で栄養がありそうなものを選ぶ」が48.2%、「安価なものを選ぶ」が31.1%などとなっています。

問19 野菜や果物を購入するときの基準について	1 色や形の 良いもの を選ぶ	2 の新鮮で 栄養が ありそう なもの	3 安価な もの を選ぶ	4 示した 有機農 業や農 薬の使 用を減 らした 方法で 生産さ れた表 示	5 選生源 の顔が わかる もの	6 産地を 確認し て、で きるだ け	7 では基 準をも つてい るわけ	8 その他	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)	22.5	48.2	31.1	18.5	7.6	53.2	6.6	0.8	1.8	649
性別										
男性	25.6	44.2	35.1	17.5	7.7	47.0	7.7	1.4	2.5	285
女性	20.1	51.3	28.4	18.7	7.5	58.5	5.8	0.3	1.1	359
無回答	20.0	60.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別										
10代・20代	36.8	44.7	44.7	2.6	7.9	36.8	5.3	0.0	2.6	38
30代	30.0	50.0	40.0	10.0	1.7	50.0	3.3	3.3	0.0	60
40代	24.8	55.4	33.7	19.8	8.9	45.5	5.9	0.0	0.0	101
50代	23.1	61.5	37.4	11.0	2.2	49.5	3.3	3.3	1.1	91
60代	20.1	48.4	28.3	15.7	9.4	58.5	8.8	0.0	0.6	159
70代	17.3	35.9	23.7	32.1	9.6	62.8	9.6	0.0	1.9	156
80代以上	22.0	46.3	26.8	14.6	9.8	46.3	2.4	0.0	12.2	41
無回答	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3
居住地別										
北東地域	18.9	48.4	32.6	22.1	8.4	48.4	7.4	1.1	1.1	95
北西地域	19.4	42.9	34.7	20.4	5.1	48.0	10.2	1.0	3.1	98
南西地域	28.5	51.7	27.9	15.1	7.6	51.7	6.4	0.6	0.6	172
南東地域	21.4	47.9	31.4	18.2	8.2	57.9	5.4	0.7	2.1	280
無回答	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4



(15) 農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入について

問20 農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入について伺います。(1つに○)

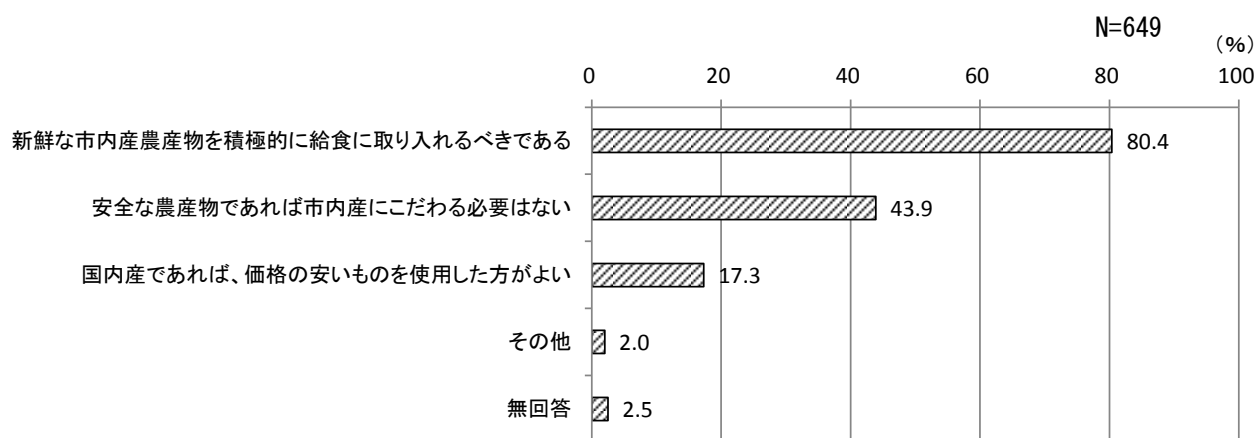


農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入は、「通常（通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい）」が47.8%、「やや高いくらいなら購入したい」が31.7%、「あまり意識して購入しない」が14.3%となっています。

問20 農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入について		1 通常（通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい）	2 やや高いくらいなら購入したい	3 高くても購入したい	4 あまり意識して購入しない	5 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		47.8	31.7	2.8	14.3	0.5	2.9	649
性別	男性	42.8	30.2	2.8	20.4	0.7	3.2	285
	女性	51.5	33.1	2.8	9.7	0.3	2.5	359
	無回答	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	42.1	28.9	2.6	18.4	2.6	5.3	38
	30代	50.0	36.7	1.7	10.0	1.7	0.0	60
	40代	45.5	39.6	2.0	12.9	0.0	0.0	101
	50代	51.6	31.9	1.1	15.4	0.0	0.0	91
	60代	47.2	32.7	2.5	16.4	0.0	1.3	159
	70代	47.4	28.8	5.1	12.8	0.0	5.8	156
	80代以上	51.2	14.6	2.4	17.1	2.4	12.2	41
	無回答	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	3
居住地別	北東地域	44.2	36.8	0.0	15.8	1.1	2.1	95
	北西地域	50.0	24.5	2.0	20.4	0.0	3.1	98
	南西地域	43.0	36.0	4.1	14.5	0.6	1.7	172
	南東地域	51.1	30.0	3.2	11.8	0.4	3.6	280
	無回答	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4

## (16) 市内産農産物を学校給食に提供することについて

問21 現在学校給食において、市内産農産物は、年間36,000kg以上が使用されていますが、今後市内産農産物を小中学校の給食に提供することについて伺います。(2つまでに○)

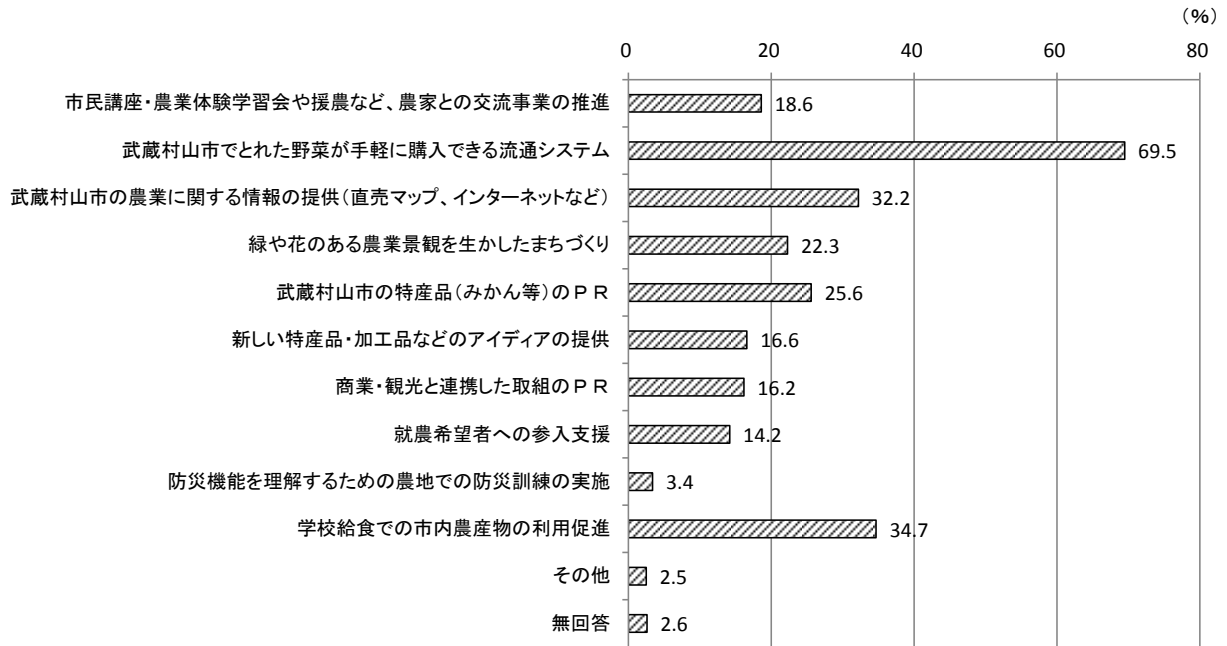


市内産農産物の学校給食への提供については、「新鮮な市内産農産物を積極的に給食に取り入れるべきである」が80.4%、「安全な農産物であれば市内産にこだわる必要はない」が43.9%などとなっています。

問21 市内産農産物を学校給食に提供することについて		1 新鮮な市内産農産物を積極的に給食に取り入れるべきである	2 安全に全産物にこだわらなければ市内産農産物でもよい	3 国内産を使用すれば、価格が安い	4 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		80.4	43.9	17.3	2.0	2.5	649
性別	男性	75.8	46.7	16.5	2.1	3.2	285
	女性	84.1	42.1	18.1	1.9	1.7	359
	無回答	80.0	20.0	0.0	0.0	20.0	5
年齢別	10代・20代	71.1	47.4	13.2	0.0	2.6	38
	30代	76.7	43.3	11.7	1.7	0.0	60
	40代	83.2	40.6	7.9	3.0	0.0	101
	50代	81.3	36.3	11.0	4.4	0.0	91
	60代	88.1	44.7	19.5	1.3	1.3	159
	70代	78.8	50.0	25.6	1.9	5.1	156
	80代以上	63.4	41.5	26.8	0.0	9.8	41
	無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	3
居住地別	北東地域	84.2	36.8	16.8	3.2	1.1	95
	北西地域	81.6	44.9	15.3	2.0	1.0	98
	南西地域	80.2	47.7	20.3	1.7	1.2	172
	南東地域	78.9	43.6	16.4	1.8	3.9	280
	無回答	75.0	50.0	0.0	0.0	25.0	4

(17) 都市農業への理解や関心を深めるための重要事項について

問22 都市農業への理解や関心を深めるためには、何が重要であると考えますか。(3つまでに)  
 ○) N=649



都市農業への理解や関心を深めるために重要なことは、「武蔵村山市でとれた野菜が手軽に購入できる流通システム」が69.5%、「学校給食での市内農産物の利用促進」が34.7%、「武蔵村山市の農業に関する情報の提供(直売マップ、インターネットなど)」が32.2%などとなっています。

問22 都市農業への理解や関心を深めるための重要事項について		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	無回答	回答者総数
		市民講座・農業体験学習会や援農の推進	武蔵村山市でとれた野菜が手軽に購入できる流通システム	武蔵村山市の農業に関する情報の提供(直売マップ、インターネットなど)	緑や花のある農業景観を生かしたまちづくり	武蔵村山市の特産品(みかん等)のPR	新しい特産品・加工品などのアイデアの提供	商業・観光と連携した取組のPR	就農希望者への参入支援	防災機能を理解するための農地での防災訓練の実施	学校給食での市内農産物の利用促進	その他	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		18.6	69.5	32.2	22.3	25.6	16.6	16.2	14.2	3.4	34.7	2.5	2.6	649
性別	男性	18.9	70.2	34.7	23.2	24.9	17.9	19.3	14.0	3.2	34.4	2.5	1.8	285
	女性	18.1	68.8	29.8	22.0	25.9	15.6	13.4	14.5	3.6	35.1	2.5	3.3	359
	無回答	40.0	80.0	60.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5
年齢別	10代・20代	15.8	63.2	34.2	13.2	28.9	13.2	26.3	13.2	7.9	28.9	5.3	2.6	38
	30代	16.7	73.3	36.7	20.0	23.3	10.0	16.7	10.0	1.7	28.3	6.7	1.7	60
	40代	30.7	63.4	39.6	18.8	18.8	15.8	21.8	21.8	1.0	25.7	1.0	2.0	101
	50代	12.1	64.8	37.4	22.0	30.8	19.8	14.3	14.3	3.3	37.4	5.5	0.0	91
	60代	18.2	69.8	30.2	28.3	22.6	17.6	20.8	13.2	3.8	37.1	0.0	0.6	159
	70代	18.6	74.4	23.7	21.8	27.6	16.0	9.0	14.1	3.2	42.3	1.9	6.4	156
	80代以上	9.8	73.2	34.1	24.4	31.7	24.4	2.4	7.3	7.3	29.3	2.4	4.9	41
無回答	33.3	100.0	33.3	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
居住地域別	北東地域	13.7	68.4	32.6	20.0	25.3	12.6	21.1	9.5	8.4	37.9	1.1	2.1	95
	北西地域	18.4	59.2	27.6	29.6	22.4	21.4	21.4	14.3	4.1	26.5	3.1	3.1	98
	南西地域	15.1	72.1	27.3	22.7	28.5	18.0	15.1	12.2	3.5	34.9	2.9	1.7	172
	南東地域	22.5	71.8	36.8	20.7	24.3	15.7	12.9	16.8	1.4	36.4	2.5	3.2	280
	無回答	25.0	75.0	25.0	0.0	75.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	4



## Ⅱ 農業者アンケート調査

---



## Ⅱ 農業者アンケート調査

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

市では、平成20年3月に「武蔵村山市第二次農業振興計画」を策定し、「市民の豊かな生活を彩る魅力あふれる武蔵村山農業」を将来像に設定し、「生産の基本となる農地の保全」、「魅力ある農業経営の推進」、「農とふれあいのあるまちづくりの推進」の3つを柱に、農業の振興を図ってきました。この第二次農業振興計画が平成29年度をもって満了することから、これまでの取組の成果等を踏まえながら、平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年度とする「武蔵村山市第三次農業振興計画」を策定することとし、この計画の策定に当たって、農業者の営農の状況やニーズを的確に捉える必要があるため、「農業者アンケート」を行ったものです。

#### (2) 調査の方法

ア 調査地域	全域（市内の農地）
イ 調査対象	市内の農地を所有する農家等
ウ 対象者数	492人
エ 抽出方法	市内に10畝以上の農地を所有する方全員
オ 調査方法	郵送配布・郵送回収
カ 調査期間	平成28年10月14日～12月4日

#### (3) 調査結果

ア 対象者数	492人
イ 有効回収数	253人
ウ 有効回収率	51.4%

#### (4) 集計にあたって

- ア 各設問はすべてクロス集計を行いました。
- イ 回答率は、その設問に回答すべき人数（回答者総数）を分母とした百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。
- ウ 設問によっては、一人の回答者が一つだけ回答する場合（単数回答）でも、四捨五入の関係で回答率の合計が100%にならないものもあります。
- エ 一人の回答者が2以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を超えることもあります。
- オ 所属する支部ごとの集計では、以下の3地域に区分しています。
- |      |                           |
|------|---------------------------|
| 東部地域 | 鍛冶ヶ谷戸、谷津、入り、神明ヶ谷戸、原山、原山第一 |
| 中部地域 | 萩ノ尾、赤堀、中村、横田、馬場、新海道       |
| 西部地域 | 峰、後ヶ谷戸、宿、残堀、岸             |
- カ グラフに「N＝」とあるのは、回答すべき対象者の数を示します。

## 2 調査結果

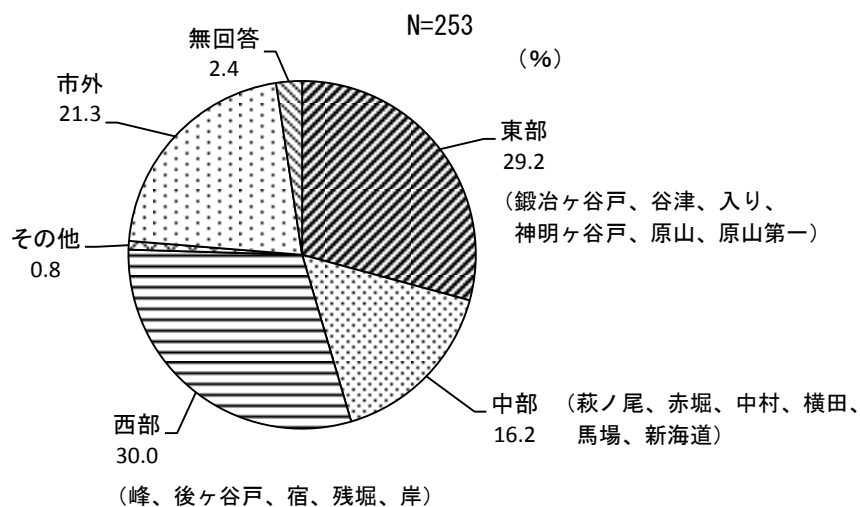
### (1) 対象者について

所属支部の地域は、「東部地域」が29.2%、「中部地域」が16.2%、「西部地域」が30.0%であり、「市外」は21.3%となっています。

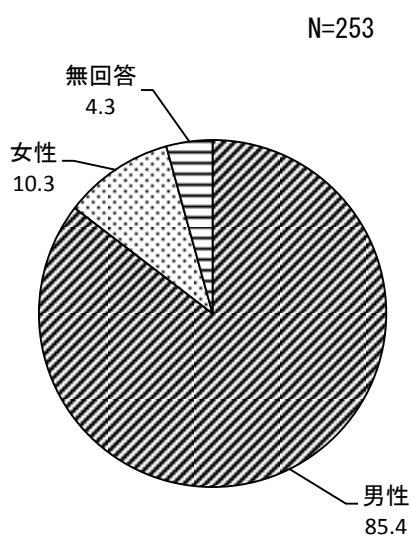
性別は、「男性」が85.4%、「女性」が10.3%です。

年齢は、「70代」が33.2%、「60代」が31.2%、「80歳以上」が21.7%となっています。

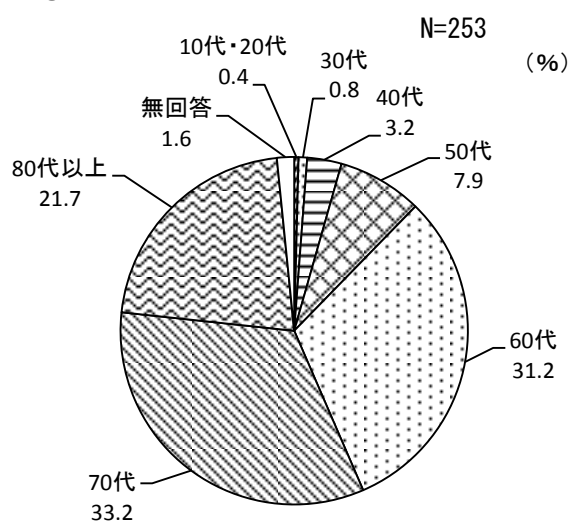
#### ①所属支部



#### ②性別



#### ③年齢





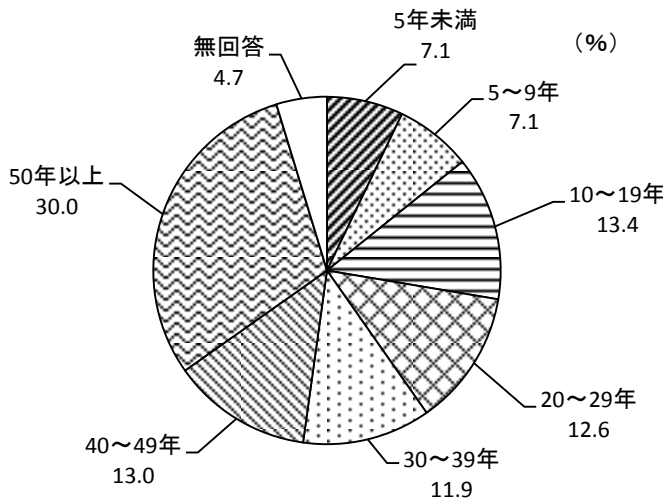
農業従事年数は、「50年以上」が30.0%、「10～19年」が13.4%、「40～49年」が13.0%となっています。「30年以上」で54.9%であり、過半数となっています。

家族構成は、「親と子どもの2世代家族」が46.2%、「夫婦のみの世帯」が25.7%となっています。

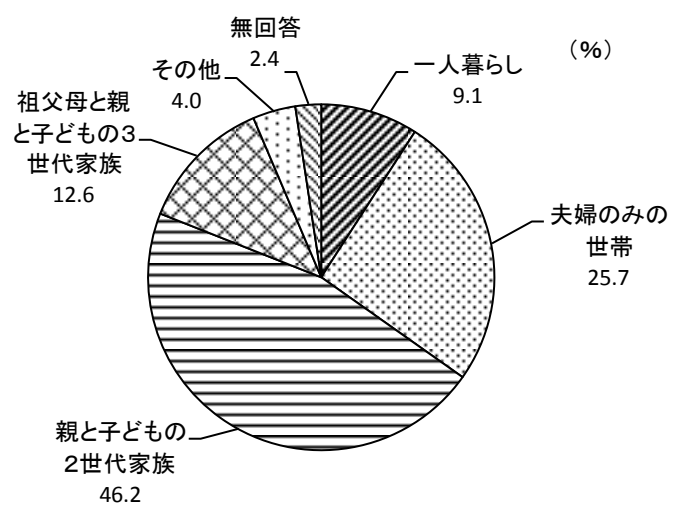
農業就業状況は、「農業に専業」が28.9%、「農業に主として従事」が30.8%、「農業以外に主として従事」が28.1%となっています。

認定状況は、「認定農業者」が19.4%、「エコファーマー」が1.6%となっています。

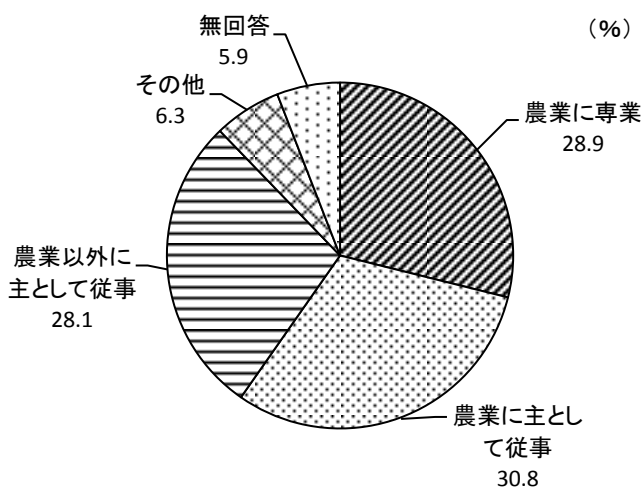
④農業従事年数 N=253



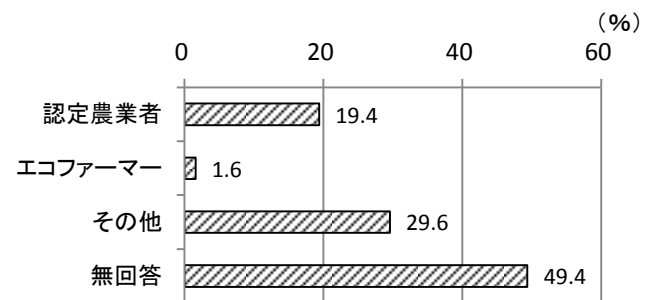
⑤家族構成 N=253



⑥農業就業状況 N=253



⑦認定状況 N=253

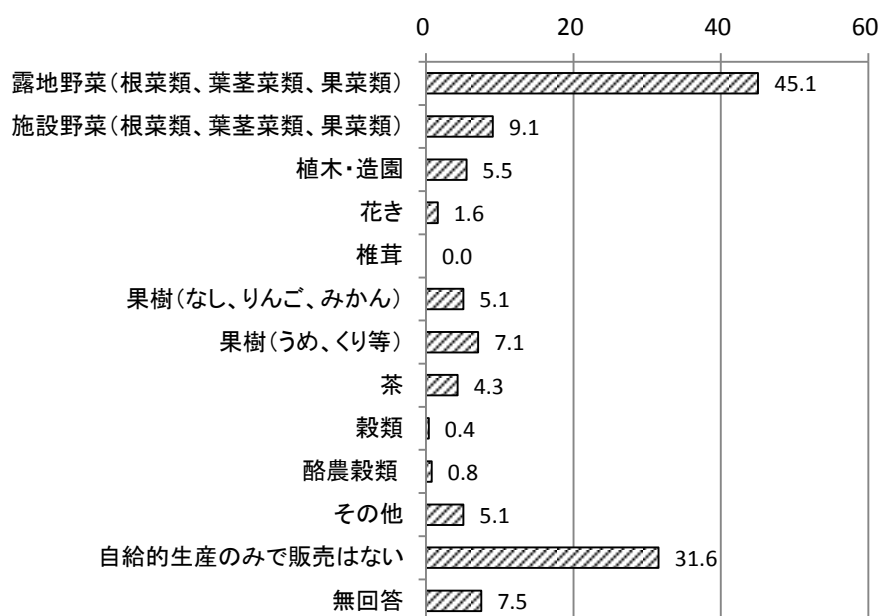


## (2) 農業生産・販売について

### ①販売額の多い農畜産物

問2 あなたを含む家族が生産している農畜産物について、販売額が第1位と第2位のものは何ですか。(それぞれ、1つずつ番号を記入)

N=253 (%)

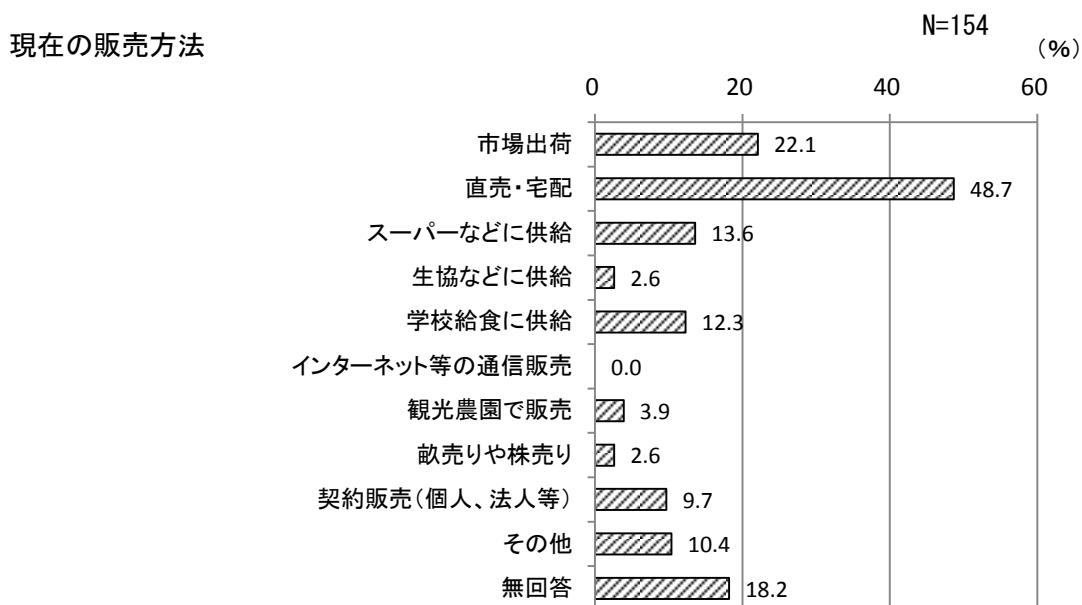


販売額の多い農畜産物は、「露地野菜」が45.1%であり、「施設野菜」が9.1%が続いています。一方、「自給的生産のみで販売はない」が31.6%となっています。

問2 販売額の多い農畜産物		1 果露地野菜 (根菜類、 葉茎菜類、 果菜類)	2 果施設野菜 (根菜類、 葉茎菜類、 果菜類)	3 植木・ 造園	4 花き	5 椎茸	6 果樹(なし、 りんご、 みかん)	7 果樹(うめ、 くり等)	8 茶	9 穀類	10 酪農穀類	11 その他	12 自給的 生産のみ で販売は ない	無 回答	回 答 者 総 数
回答者総数(全体)		45.1	9.1	5.5	1.6	0.0	5.1	7.1	4.3	0.4	0.8	5.1	31.6	7.5	253
所 属 地 域	東部	45.9	6.8	2.7	0.0	0.0	5.4	9.5	6.8	0.0	0.0	1.4	35.1	6.8	74
	中部	51.2	9.8	2.4	4.9	0.0	9.8	7.3	0.0	2.4	0.0	9.8	22.0	9.8	41
	西部	42.1	10.5	2.6	0.0	0.0	2.6	6.6	3.9	0.0	2.6	3.9	38.2	6.6	76
	その他	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
	市外 無回答	44.4 33.3	11.1 0.0	16.7 0.0	3.7 0.0	0.0 0.0	5.6 0.0	5.6 0.0	5.6 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	5.6 33.3	24.1 33.3	9.3 0.0	54 6
年 代	50代以下	45.2	6.5	12.9	0.0	0.0	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	6.5	32.3	9.7	31
	60代	40.5	11.4	6.3	1.3	0.0	3.8	6.3	5.1	0.0	0.0	6.3	39.2	5.1	79
	70代	51.2	9.5	3.6	3.6	0.0	8.3	8.3	4.8	1.2	2.4	3.6	22.6	6.0	84
	80代以上	45.5	5.5	3.6	0.0	0.0	1.8	5.5	5.5	0.0	0.0	3.6	32.7	12.7	55
	無回答	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	4

②現在の販売方法・今後の販売方法

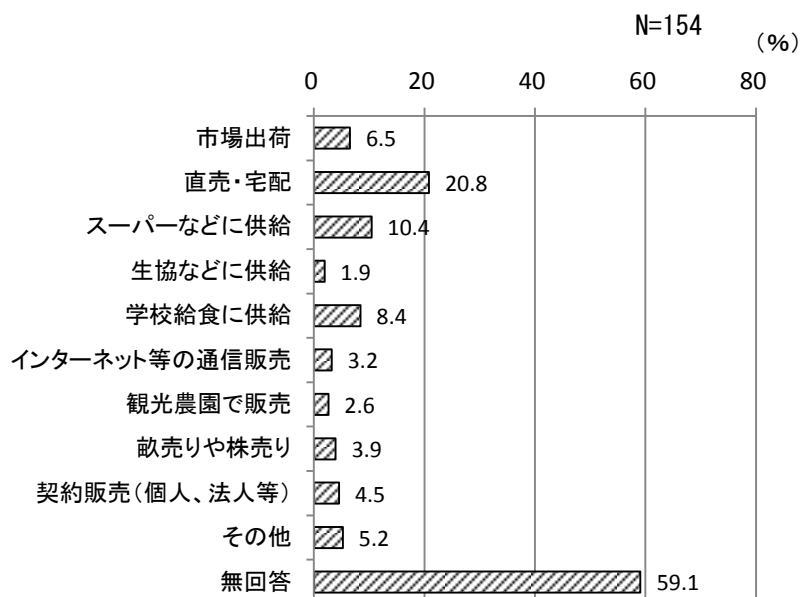
問3 問2で12以外の回答をした方に伺います。現在、あなたの家の農産物販売は主にどのような方法で行っていますか。また、今後、どのような方法に力を入れたいですか。(①と②について、該当するものにそれぞれ3つまでに○)



現在の販売方法は、「直売・宅配」が48.7%で最も多く、「市場出荷」が22.1%、「スーパーなどに供給」が13.6%などとなっています。

問3① 現在の販売方法		1 市場出荷	2 直売・宅配	3 スーパーなどに供給	4 生協などに供給	5 学校給食に供給	6 インターネット等の通信販売	7 観光農園で販売	8 畝売りや株売り	9 契約販売(個人、法人等)	10 その他	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		22.1	48.7	13.6	2.6	12.3	0.0	3.9	2.6	9.7	10.4	18.2	154
所属地域	東部	16.3	58.1	0.0	2.3	7.0	0.0	9.3	2.3	14.0	7.0	18.6	43
	中部	28.6	46.4	3.6	0.0	10.7	0.0	3.6	3.6	7.1	10.7	17.9	28
	西部	23.8	45.2	23.8	4.8	19.0	0.0	2.4	2.4	9.5	4.8	16.7	42
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
	市外	22.2	44.4	25.0	0.0	13.9	0.0	0.0	0.0	8.3	22.2	13.9	36
	無回答	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	4
年代	50代以下	27.8	50.0	27.8	5.6	38.9	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	11.1	18
	60代	13.6	61.4	9.1	4.5	9.1	0.0	2.3	4.5	11.4	11.4	13.6	44
	70代	25.0	38.3	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	1.7	8.3	11.7	21.7	60
	80代以上	26.7	50.0	10.0	0.0	13.3	0.0	0.0	3.3	10.0	10.0	20.0	30
	無回答	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2

## 今後の販売方法



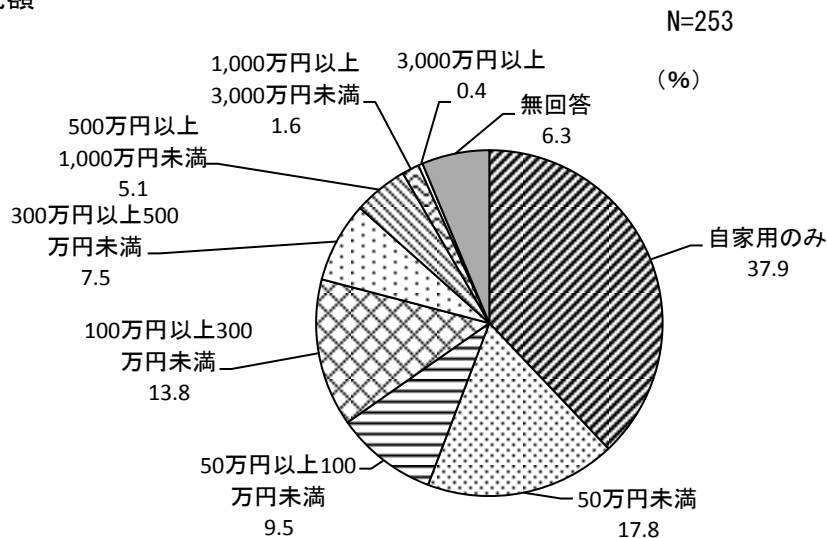
今後の販売方法については、「直売・宅配」、「スーパーなどに供給」、「学校給食に供給」などが比較的多くなっています。

問3② 今後の販売方法		1 市場出荷	2 直売・宅配	3 スーパーなどに供給	4 生協などに供給	5 学校給食に供給	6 インターネット等の通信販売	7 観光農園で販売	8 畝売りや株売り	9 契約販売(個人、法人等)	10 その他	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		6.5	20.8	10.4	1.9	8.4	3.2	2.6	3.9	4.5	5.2	59.1	154
所属地域	東部	9.3	30.2	2.3	0.0	2.3	7.0	4.7	7.0	2.3	7.0	51.2	43
	中部	14.3	17.9	3.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	64.3	28
	西部	4.8	19.0	19.0	4.8	14.3	4.8	2.4	4.8	4.8	4.8	52.4	42
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
	市外	0.0	13.9	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	2.8	5.6	2.8	72.2	36
	無回答	0.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	4
年代	50代以下	16.7	38.9	22.2	5.6	16.7	0.0	5.6	11.1	16.7	5.6	22.2	18
	60代	4.5	31.8	9.1	2.3	6.8	2.3	4.5	4.5	2.3	6.8	50.0	44
	70代	3.3	10.0	6.7	0.0	6.7	1.7	0.0	0.0	3.3	1.7	78.3	60
	80代以上	10.0	13.3	10.0	0.0	10.0	10.0	3.3	6.7	3.3	10.0	56.7	30
	無回答	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2

③農業販売額・農外収入

問4 あなたの家の年間の農業販売額（収入）と農業以外のその他の収入について伺います。（それぞれ1つに○）

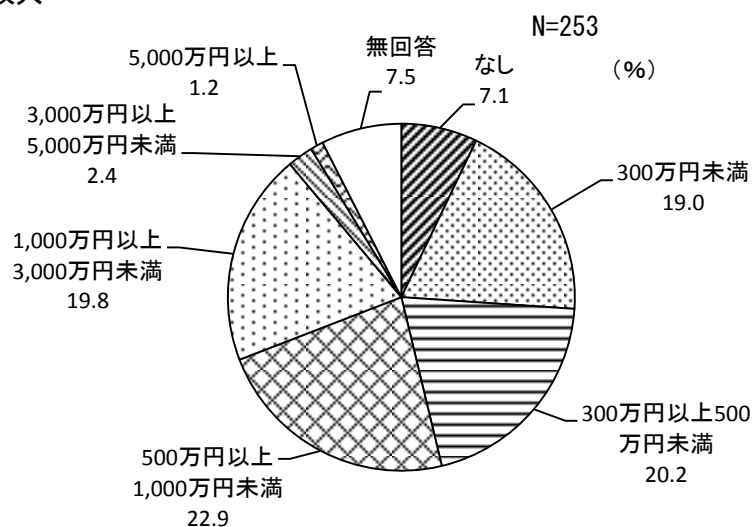
農業販売額



農業販売額は、「販売額がある」が過半数を占め、「50万円未満」が17.8%、「100万円以上300万円未満」が13.8%、「50万円以上100万円未満」が9.5%などとなっています。「自家用のみ」は37.9%となっています。

問4 農業販売額		1 自家用のみ	2 50万円未満	3 50万円以上100万円未満	4 100万円以上300万円未満	5 300万円以上500万円未満	6 500万円以上1,000万円未満	7 1,000万円以上3,000万円未満	8 3,000万円以上	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		37.9	17.8	9.5	13.8	7.5	5.1	1.6	0.4	6.3	253
所属地域	東部	43.2	27.0	6.8	13.5	2.7	1.4	0.0	0.0	5.4	74
	中部	29.3	19.5	17.1	14.6	4.9	2.4	7.3	0.0	4.9	41
	西部	42.1	13.2	9.2	11.8	10.5	7.9	0.0	0.0	5.3	76
	その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	29.6	13.0	9.3	14.8	13.0	9.3	1.9	1.9	7.4	54
	無回答	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	6
年代	50代以下	32.3	22.6	0.0	16.1	12.9	6.5	0.0	0.0	9.7	31
	60代	44.3	19.0	11.4	12.7	3.8	5.1	0.0	0.0	3.8	79
	70代	33.3	16.7	10.7	14.3	9.5	6.0	4.8	1.2	3.6	84
	80代以上	40.0	16.4	9.1	14.5	7.3	3.6	0.0	0.0	9.1	55
	無回答	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	4

### 農業以外のその他の収入



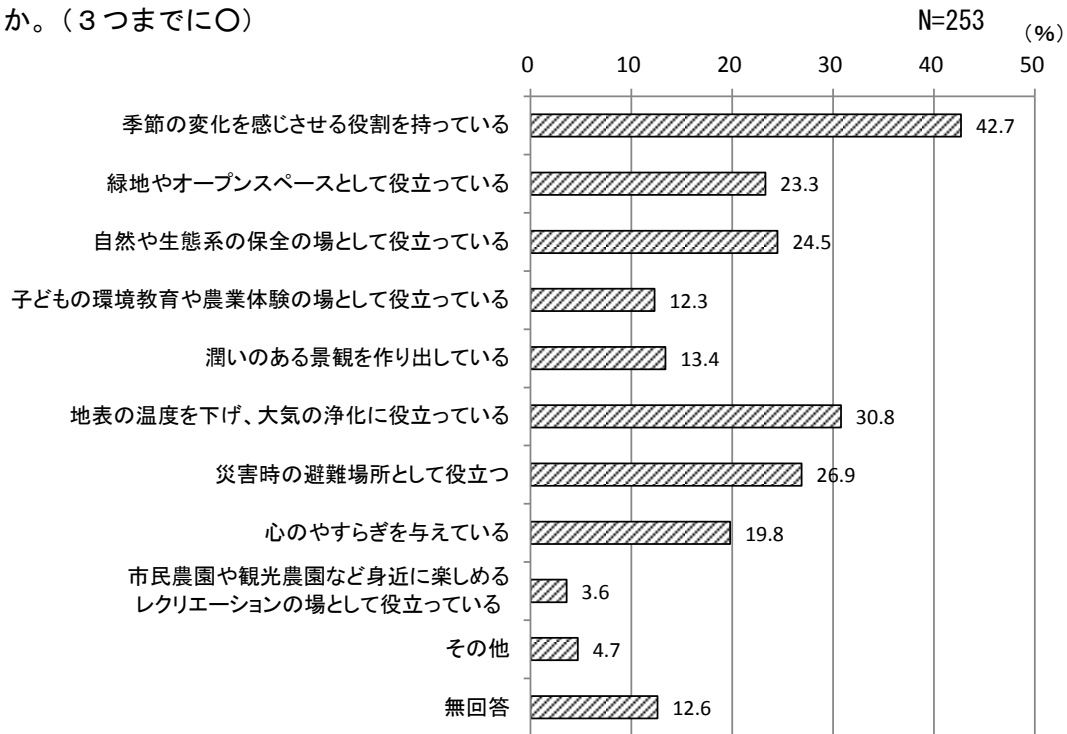
農業以外のその他の収入については、何らかの収入があるのが約85%を占め、「500万円以上1,000万円未満」が22.9%、「300万円以上500万円未満」が20.2%などであり、「なし」は7.1%となっています。

問4 農業以外のその他の収入		1 なし	2 300万円未満	3 300万円以上500万円未満	4 500万円以上1,000万円未満	5 1,000万円以上3,000万円未満	6 3,000万円以上5,000万円未満	7 5,000万円以上	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		7.1	19.0	20.2	22.9	19.8	2.4	1.2	7.5	253
所属地域	東部	5.4	18.9	21.6	21.6	27.0	0.0	0.0	5.4	74
	中部	7.3	19.5	22.0	26.8	14.6	2.4	0.0	7.3	41
	西部	7.9	17.1	15.8	30.3	21.1	2.6	1.3	3.9	76
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	7.4	16.7	22.2	14.8	14.8	5.6	3.7	14.8	54
	無回答	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
年代	50代以下	12.9	9.7	12.9	29.0	16.1	3.2	0.0	16.1	31
	60代	3.8	24.1	16.5	25.3	21.5	3.8	1.3	3.8	79
	70代	8.3	19.0	23.8	19.0	22.6	1.2	2.4	3.6	84
	80代以上	7.3	18.2	25.5	21.8	16.4	1.8	0.0	9.1	55
		無回答	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0

### (3) 農地について

#### ①農地の農産物生産以外の役割

問5 所有している農地について、農産物を生産する以外にどのような役割があると考えていますか。(3つまでに○)



農地の農産物生産以外の役割としては、「季節の変化を感じさせる役割を持っている」が42.7%、「地表の温度を下げ、大気の浄化に役立っている」が30.8%などとなっています。

問5 農地の農産物生産以外の役割		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	無回答	回答者総数	
		持季 つ節 の 変 化 を 感 じ さ せ る 役 割 を	役 立 つ 緑 地 や オ ー プ ン ス ペ ー ス と し て	役 立 つ 自 然 や 生 態 系 の 保 全 の 場 と し て	場 子 ど も の 環 境 教 育 や 農 業 体 験 の	る 潤 い の あ る 景 観 を 作 り 出 し て い	に 地 表 の 温 度 を 下 げ 、 大 気 の 浄 化	災 害 時 の 避 難 場 所 と し て 役 立 つ	心 の や す ら ぎ を 与 え て い る	と し て 役 立 つ レ ク リ エ ー シ ョ ン の 場 に	市 民 農 園 や 観 光 農 園 な ど 身 近 に	そ の 他	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数 (全体)		42.7	23.3	24.5	12.3	13.4	30.8	26.9	19.8	3.6	4.7	12.6	253	
所 属 地 域	東部	51.4	29.7	27.0	12.2	12.2	31.1	18.9	23.0	4.1	5.4	10.8	74	
	中部	41.5	17.1	17.1	12.2	22.0	26.8	39.0	19.5	7.3	4.9	17.1	41	
	西部	43.4	22.4	25.0	15.8	14.5	34.2	26.3	21.1	2.6	3.9	10.5	76	
	その他	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2	
	市外 無回答	33.3 33.3	18.5 33.3	25.9 16.7	9.3 0.0	7.4 16.7	24.1 50.0	31.5 16.7	13.0 0.0	1.9 0.0	5.6 0.0	13.0 0.0	54 6	
年 代	50代以下	29.0	22.6	41.9	12.9	12.9	35.5	25.8	9.7	3.2	9.7	9.7	31	
	60代	51.9	21.5	19.0	10.1	13.9	31.6	19.0	17.7	2.5	7.6	11.4	79	
	70代	42.9	25.0	21.4	14.3	15.5	26.2	32.1	27.4	6.0	2.4	10.7	84	
	80代以上	34.5	25.5	27.3	12.7	9.1	34.5	32.7	16.4	1.8	1.8	18.2	55	
	無回答	75.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4	

## ②農地面積

問6 所有している農地について、面積を記入してください。(数値を記入)

### 【全体】

	市内		市外		合計	
	件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
生産緑地	147	35.4	46	53.9	166	46.3
<b>うち作付面積</b>	<b>145</b>	<b>27.3</b>	<b>45</b>	<b>42.3</b>	<b>166</b>	<b>35.3</b>
宅地化緑地	95	12.5	20	19.8	106	15.0
<b>うち作付面積</b>	<b>93</b>	<b>7.9</b>	<b>19</b>	<b>17.3</b>	<b>106</b>	<b>10.1</b>
調整区域内農地	120	21.6	53	37.4	137	33.4
<b>うち作付面積</b>	<b>118</b>	<b>16.4</b>	<b>51</b>	<b>30.5</b>	<b>137</b>	<b>25.5</b>
合計	229	39.3	91	53.4	236	58.7

### 【東部】

	市内		市外		合計	
	件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
生産緑地	57	35.8	13	22.5	59	39.6
<b>うち作付面積</b>	<b>57</b>	<b>27.6</b>	<b>13</b>	<b>18.2</b>	<b>59</b>	<b>30.6</b>
宅地化緑地	35	14.2	3	10.0	36	14.7
<b>うち作付面積</b>	<b>34</b>	<b>9.3</b>	<b>2</b>	<b>2.5</b>	<b>36</b>	<b>8.9</b>
調整区域内農地	19	20.8	11	31.6	23	32.3
<b>うち作付面積</b>	<b>18</b>	<b>15.6</b>	<b>11</b>	<b>21.4</b>	<b>23</b>	<b>22.4</b>
合計	67	43.8	21	31.9	68	53.0

### 【中部】

	市内		市外		合計	
	件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
生産緑地	30	39.5	2	10.0	30	40.2
<b>うち作付面積</b>	<b>30</b>	<b>29.1</b>	<b>2</b>	<b>5.0</b>	<b>30</b>	<b>29.4</b>
宅地化緑地	21	10.2	1	40.0	22	11.5
<b>うち作付面積</b>	<b>21</b>	<b>6.6</b>	<b>1</b>	<b>40.0</b>	<b>22</b>	<b>8.2</b>
調整区域内農地	17	25.2	8	28.0	20	32.7
<b>うち作付面積</b>	<b>17</b>	<b>18.8</b>	<b>8</b>	<b>24.4</b>	<b>20</b>	<b>25.7</b>
合計	37	49.4	10	28.4	38	55.6

### 【西部】

	市内		市外		合計	
	件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
生産緑地	43	35.5	3	19.3	45	35.2
<b>うち作付面積</b>	<b>41</b>	<b>29.7</b>	<b>3</b>	<b>17.0</b>	<b>45</b>	<b>28.2</b>
宅地化緑地	32	12.8	4	6.4	33	13.2
<b>うち作付面積</b>	<b>31</b>	<b>8.1</b>	<b>4</b>	<b>6.4</b>	<b>33</b>	<b>8.4</b>
調整区域内農地	41	24.9	17	23.6	49	29.1
<b>うち作付面積</b>	<b>41</b>	<b>20.5</b>	<b>16</b>	<b>19.6</b>	<b>49</b>	<b>23.6</b>
合計	70	42.3	20	24.3	73	47.2

### 【市外】

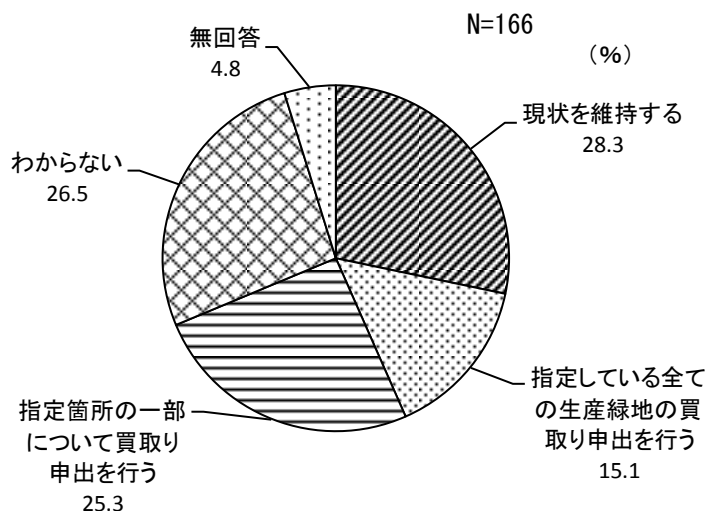
	市内		市外		合計	
	件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
生産緑地	13	31.0	26	80.2	28	88.9
<b>うち作付面積</b>	<b>13</b>	<b>19.8</b>	<b>25</b>	<b>63.5</b>	<b>28</b>	<b>65.9</b>
宅地化緑地	5	7.4	10	28.3	13	24.6
<b>うち作付面積</b>	<b>5</b>	<b>4.4</b>	<b>10</b>	<b>24.3</b>	<b>13</b>	<b>20.4</b>
調整区域内農地	40	17.8	17	59.4	42	41.0
<b>うち作付面積</b>	<b>39</b>	<b>12.4</b>	<b>16</b>	<b>50.6</b>	<b>42</b>	<b>30.8</b>
合計	48	24.0	37	91.3	50	90.6

農家1戸あたりの農地面積は、58.7アールとなっています。



### ③生産緑地の買取り申出

問7 問6で生産緑地を所有していると回答した方に伺います。今後、生産緑地が買取り申出のできる状態（指定後30年経過・死亡等）になった場合、どのようにする予定ですか。（1つに○）

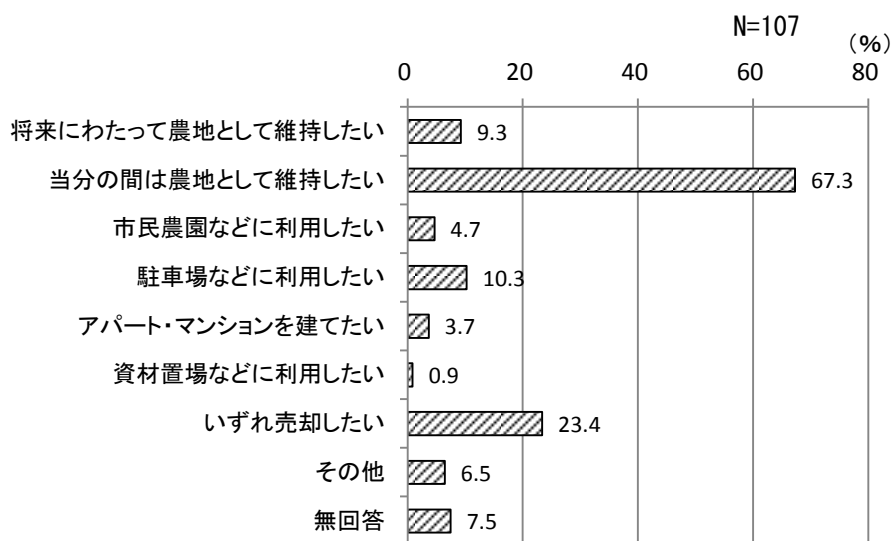


生産緑地の買取り申出については、「現状を維持する」が28.3%となっている一方、「指定している全ての生産緑地の買取り申出を行う」が15.1%、「指定箇所の一部について買取り申出を行う」が25.3%となっています。

問7 生産緑地の買取り申出		1 現状を維持する	2 買取りしている全ての生産緑地の	3 指定箇所の一部について買取り	4 わからない	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		28.3	15.1	25.3	26.5	4.8	166
所属地域	東部	32.2	18.6	20.3	25.4	3.4	59
	中部	16.7	13.3	30.0	36.7	3.3	30
	西部	28.9	15.6	26.7	22.2	6.7	45
	その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	市外	28.6	7.1	32.1	25.0	7.1	28
	無回答	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	3
年代	50代以下	46.7	13.3	20.0	20.0	0.0	15
	60代	24.0	30.0	20.0	20.0	6.0	50
	70代	23.0	9.8	31.1	34.4	1.6	61
	80代以上	35.9	5.1	25.6	23.1	10.3	39
	無回答	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1

#### ④宅地化農地の活用方法

問8 問6で宅地化農地を所有していると回答した方に伺います。宅地化農地の主な活用方法について、どうお考えですか。（3つまでに○）

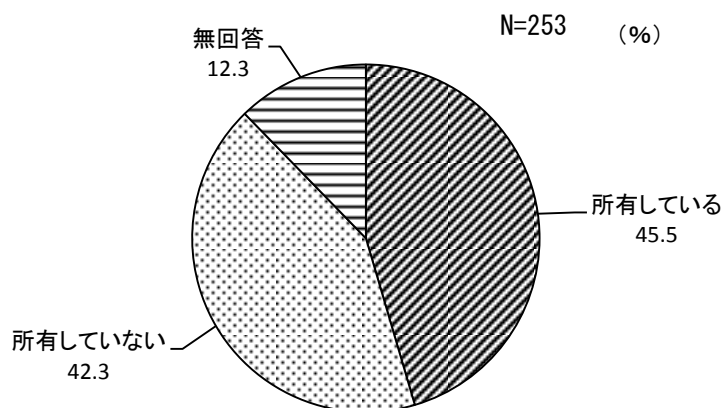


宅地化農地の活用方法については、「当分の間は農地として維持したい」が67.3%、「いずれ売却したい」が23.4%などとなっています。

問8 宅地化農地の活用方法		1 し将来にわたって農地として維持	2 い当分の間は農地として維持した	3 市民農園などに利用したい	4 駐車場などに利用したい	5 いアパート・マンションを建てた	6 資材置場などに利用したい	7 いずれ売却したい	8 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		9.3	67.3	4.7	10.3	3.7	0.9	23.4	6.5	7.5	107
所 属 地 域	東部	8.3	61.1	5.6	5.6	0.0	0.0	22.2	5.6	16.7	36
	中部	8.7	60.9	8.7	17.4	13.0	4.3	39.1	8.7	4.3	23
	西部	12.1	78.8	3.0	15.2	3.0	0.0	15.2	6.1	0.0	33
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	市外 無回答	7.7 0.0	61.5 100.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	15.4 50.0	7.7 0.0	7.7 0.0
年 代	50代以下	8.3	66.7	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	16.7	8.3	12
	60代	11.8	91.2	2.9	8.8	2.9	0.0	23.5	2.9	0.0	34
	70代	5.1	56.4	7.7	17.9	5.1	2.6	20.5	7.7	10.3	39
	80代以上	9.5	47.6	0.0	0.0	4.8	0.0	33.3	4.8	14.3	21
	無回答	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

⑤多摩開墾地区内に農地所有

問9 多摩開墾地区内に農地を所有していますか。 (1つに○)



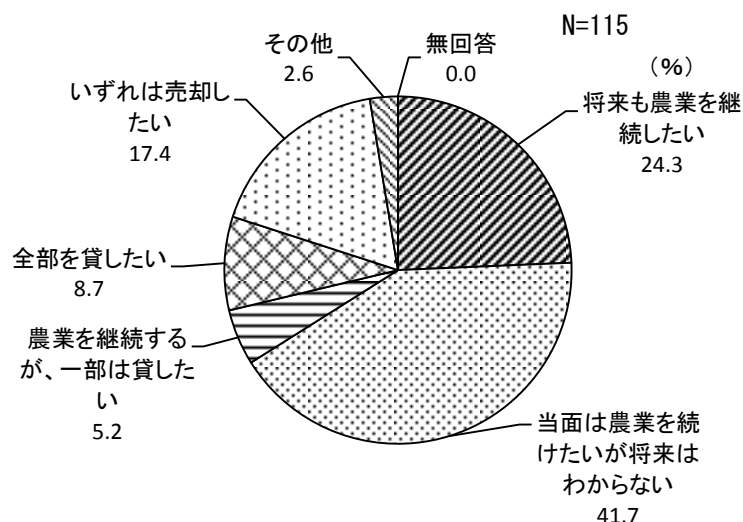
多摩開墾地区内に農地を「所有している」が45.5%、「所有していない」が42.3%となっています。

問9 多摩開墾地区内に農地所有		1 所有している	2 所有していない	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		45.5	42.3	12.3	253
所属地域	東部	21.6	62.2	16.2	74
	中部	46.3	43.9	9.8	41
	西部	59.2	32.9	7.9	76
	その他	50.0	50.0	0.0	2
	市外	59.3	24.1	16.7	54
	無回答	33.3	66.7	0.0	6
年代	50代以下	61.3	32.3	6.5	31
	60代	44.3	49.4	6.3	79
	70代	50.0	41.7	8.3	84
	80代以上	32.7	40.0	27.3	55
	無回答	25.0	25.0	50.0	4

⑥多摩開墾地区内の農業経営

問9-1 問9で「1 所有している」と回答した方に伺います。

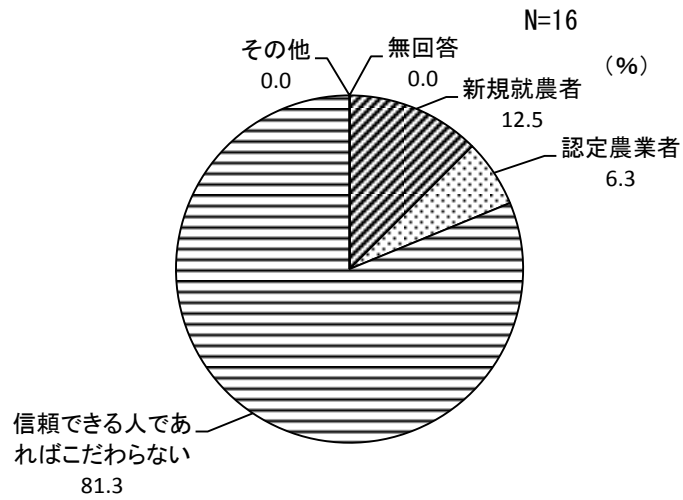
今後の多摩開墾の農業経営について、どうお考えですか。(1つに○)



多摩開墾地区内の農地については、「当面は農業を続けたいが将来はわからない」が41.7%、「将来も農業を維持したい」が24.3%、「いずれは売却したい」が17.4%などとなっています。

問9-1 多摩開墾地区内の農業経営		1 将来も農業を継続したい	2 当面は農業を続けたいが将来はわからない	3 農業を継続するが、一部は貸したい	4 全部を貸したい	5 いずれは売却したい	6 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		24.3	41.7	5.2	8.7	17.4	2.6	0.0	115
所属地域	東部	12.5	37.5	12.5	6.3	31.3	0.0	0.0	16
	中部	26.3	31.6	5.3	10.5	21.1	5.3	0.0	19
	西部	24.4	40.0	4.4	8.9	20.0	2.2	0.0	45
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
	市外 無回答	31.3 0.0	50.0 100.0	3.1 0.0	9.4 0.0	3.1 0.0	3.1 0.0	0.0 0.0	32 2
年代	50代以下	31.6	21.1	5.3	5.3	26.3	10.5	0.0	19
	60代	22.9	45.7	5.7	2.9	22.9	0.0	0.0	35
	70代	21.4	52.4	2.4	11.9	9.5	2.4	0.0	42
	80代以上	22.2	33.3	11.1	16.7	16.7	0.0	0.0	18
	無回答	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

問9-2 問9-1で「3 農業を継続するが、一部を貸したい」「4 全部を貸したい」と回答した方に伺います。貸す相手について、どのようにお考えですか。(1つに○)

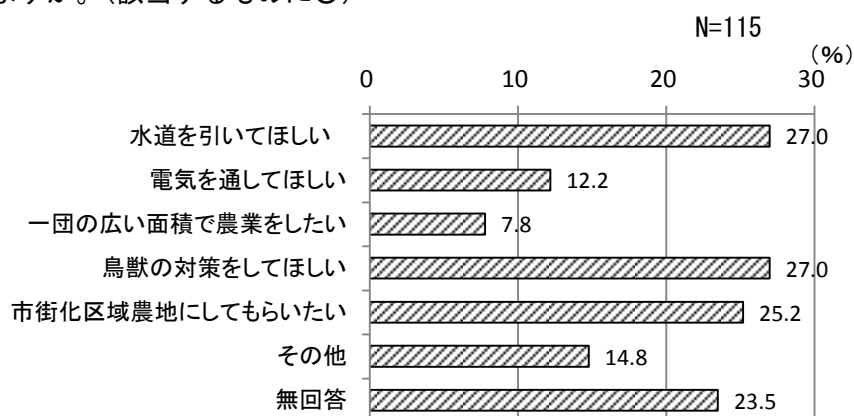


多摩開墾地区内の農地について、「農業を継続するが、一部を貸したい」と「全部を貸したい」を合わせて「貸したい」と回答した人が、貸す相手として考えているのは、「信頼できる人であればこだわらない」が81.3%となっています。

問9-2 貸す相手		1 新規就農者	2 認定農業者	3 ない信頼できる人であればこだわらない	4 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		12.5	6.3	81.3	0.0	0.0	16
所属地域	東部	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	3
	中部	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	3
	西部	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	6
	その他	-	-	-	-	-	0
	市外 無回答	25.0 -	0.0 -	75.0 -	0.0 -	0.0 -	4 0
年代	50代以下	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
	60代	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	3
	70代	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	6
	80代以上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	5
	無回答	-	-	-	-	-	0

⑦多摩開墾内農地に関する要望

問10 多摩開墾地区内に農地を所有している方に伺います。多摩開墾内農地について要望したいことはありますか。(該当するものに○)



多摩開墾地区内の農地についての要望は、「水道を引いてほしい」と「鳥獣の対策をしてほしい」がともに27.0%、「市街化区域農地にしてもらいたい」が25.2%などとなっています。

問10 多摩開墾内農地に関する要望		1 水道を引いてほしい	2 電気を通してほしい	3 一団の広い面積で農業をしたい	4 鳥獣の対策をしてほしい	5 市街化区域農地にしてもらいたい	6 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		27.0	12.2	7.8	27.0	25.2	14.8	23.5	115
所属地域	東部	6.3	6.3	0.0	6.3	31.3	12.5	37.5	16
	中部	47.4	15.8	10.5	31.6	21.1	10.5	15.8	19
	西部	26.7	17.8	0.0	33.3	28.9	15.6	17.8	45
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1
	市外 無回答	28.1 0.0	6.3 0.0	21.9 0.0	25.0 50.0	21.9 0.0	18.8 0.0	25.0 50.0	32 2
年代	50代以下	42.1	21.1	15.8	21.1	31.6	15.8	15.8	19
	60代	25.7	17.1	5.7	45.7	22.9	17.1	17.1	35
	70代	28.6	4.8	4.8	21.4	23.8	11.9	26.2	42
	80代以上	11.1	11.1	11.1	11.1	27.8	16.7	33.3	18
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	1

#### (4) 農業の担い手について

##### ① 農業従事日数別人数

問 11 あなたも含めて家族の農業従事日数別の人数を記入してください。(数値を記入)

##### 【全体】

		男性		女性		合計	
		60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	件数	28	38	22	38	39	65
	人数	1.14	1.08	1.00	1.03	1.38	1.23
60日～149日	件数	15	39	18	36	30	64
	人数	1.00	1.03	1.00	1.03	1.10	1.20
150日以上	件数	40	102	10	39	43	113
	人数	1.03	1.02	1.10	1.08	1.21	1.29
合計	件数	79	174	49	110	92	199
	人数	1.11	1.06	1.04	1.07	1.51	1.52

##### 【東部】

		男性		女性		合計	
		60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	件数	8	13	10	7	13	20
	人数	1.38	1.15	1.00	1.00	1.62	1.10
60日～149日	件数	6	10	7	12	12	18
	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.08	1.22
150日以上	件数	8	31	1	9	8	33
	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.13	1.21
合計	件数	21	53	18	27	26	60
	人数	1.19	1.06	1.00	1.04	1.65	1.40

##### 【中部】

		男性		女性		合計	
		60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	件数	5	5	0	10	5	12
	人数	1.00	1.20	-	1.00	1.00	1.33
60日～149日	件数	2	10	6	7	8	13
	人数	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00	1.38
150日以上	件数	8	15	0	10	8	19
	人数	1.00	1.00	-	1.00	1.00	1.32
合計	件数	15	29	6	26	16	36
	人数	1.00	1.10	1.00	1.04	1.31	1.64

##### 【西部】

		男性		女性		合計	
		60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	件数	7	12	6	13	11	19
	人数	1.14	1.00	1.00	1.00	1.27	1.32
60日～149日	件数	4	11	4	11	7	22
	人数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.14	1.00
150日以上	件数	12	32	4	11	14	37
	人数	1.00	1.03	1.00	1.09	1.14	1.22
合計	件数	22	53	13	34	28	62
	人数	1.09	1.06	1.08	1.06	1.36	1.48

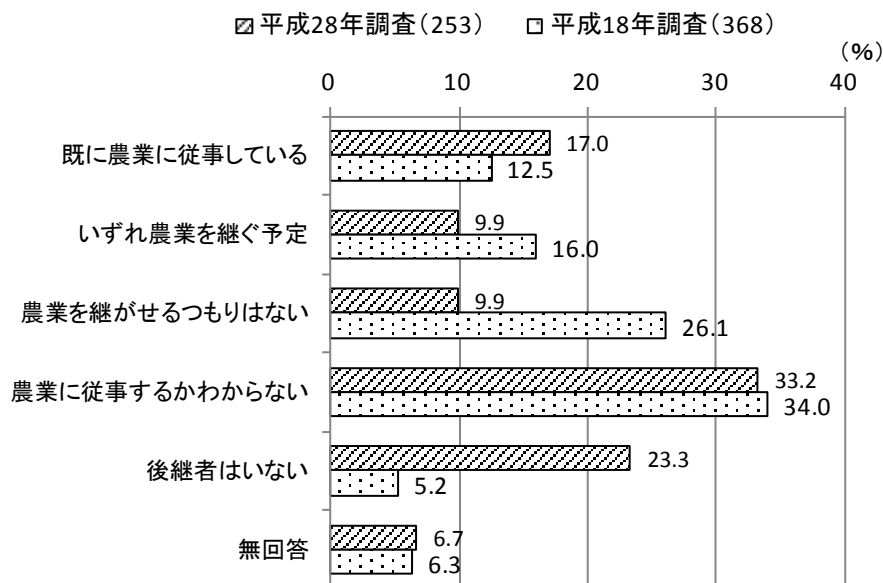
##### 【市外】

		男性		女性		合計	
		60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	件数	8	5	6	6	10	10
	人数	1.00	1.00	1.00	1.17	1.40	1.20
60日～149日	件数	3	7	1	6	3	10
	人数	1.00	1.00	1.00	1.17	1.33	1.40
150日以上	件数	12	21	5	9	13	21
	人数	1.08	1.05	1.20	1.22	1.46	1.57
合計	件数	21	32	12	21	22	34
	人数	1.14	1.06	1.08	1.19	1.68	1.74

農業に従事している方は、60歳未満のいる農家が92戸、60歳以上のいる農家が199戸となっています。

## ②後継者の農業従事状況

問 1 2 後継者の農業従事状況について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)



※選択肢「農業に従事するかわからない」の平成18年調査は、「子どもが小さいのでわからない」と「わからない」を合算、また、選択肢「後継者はいない」は平成18年調査では「子どもがいない」である。

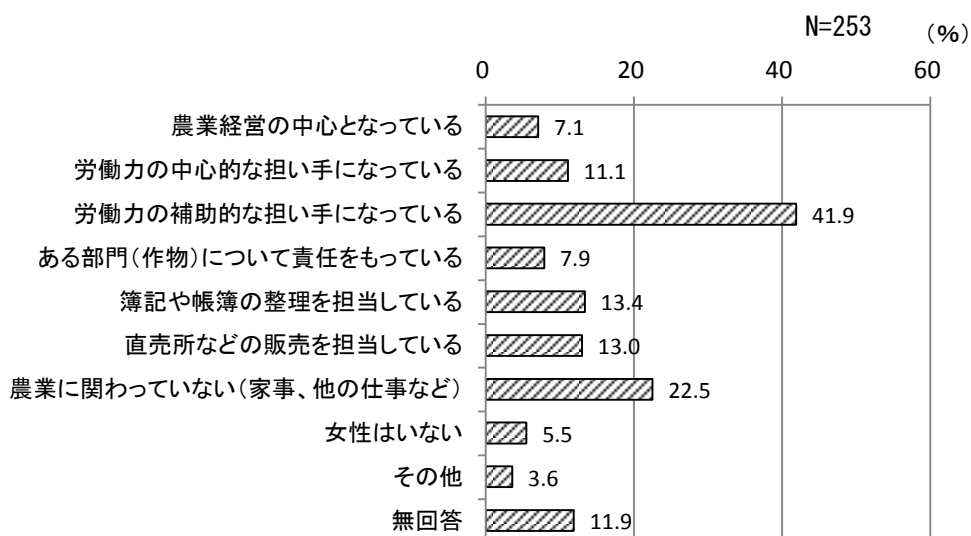
後継者の農業従事状況は、「既に農業に従事している」が17.0%、「いずれ農業を継ぐ予定」が9.9%であり、合わせて26.9%に農業後継者がいると思われれます。また、「農業に従事するかわからない」が33.2%となっています。一方、「後継者はいない」が23.3%となっています。

問12 後継者の農業従事状況		1 既に農業に従事している	2 いずれ農業を継ぐ予定	3 農業を継がせるつもりはない	4 農業に従事するかわからない	5 後継者はいない	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		17.0	9.9	9.9	33.2	23.3	6.7	253
所属地域	東部	13.5	9.5	17.6	29.7	23.0	6.8	74
	中部	22.0	12.2	4.9	36.6	14.6	9.8	41
	西部	11.8	9.2	9.2	32.9	32.9	3.9	76
	その他	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	2
	市外	25.9	9.3	5.6	37.0	13.0	9.3	54
	無回答	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	6
年代	50代以下	6.5	3.2	6.5	41.9	38.7	3.2	31
	60代	12.7	7.6	13.9	36.7	26.6	2.5	79
	70代	16.7	13.1	6.0	31.0	22.6	10.7	84
	80代以上	29.1	12.7	10.9	29.1	10.9	7.3	55
	無回答	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	4



### ③女性の役割

問13 あなたの家で女性は、農業経営に対してどのような役割を担っていますか。(3つまでに○)

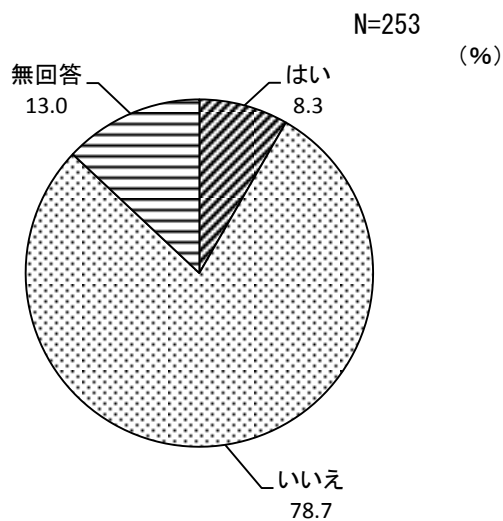


女性の役割については、「労働力の補助的な担い手になっている」が41.9%、「農業に関わっていない」が22.5%などとなっています。

問13 女性の役割	1 農業経営の中心となっている	2 労働力の中心的な担い手になっている	3 労働力の補助的な担い手になっている	4 ある部門(作物)について責任をもっている	5 簿記や帳簿の整理を担当している	6 直売所などの販売を担当している	7 他の仕事などに関わっていない(家事、)	8 女性ははいない	9 その他	無回答	回答者総数	
回答者総数(全体)	7.1	11.1	41.9	7.9	13.4	13.0	22.5	5.5	3.6	11.9	253	
所属地域	東部	10.8	8.1	39.2	9.5	12.2	12.2	21.6	5.4	2.7	12.2	74
	中部	9.8	14.6	53.7	4.9	12.2	14.6	19.5	4.9	4.9	12.2	41
	西部	5.3	13.2	36.8	9.2	14.5	13.2	27.6	6.6	3.9	5.3	76
	その他	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	3.7	7.4	46.3	5.6	16.7	13.0	18.5	5.6	1.9	18.5	54
無回答	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	6	
年代	50代以下	6.5	12.9	45.2	0.0	19.4	9.7	22.6	9.7	0.0	9.7	31
	60代	6.3	6.3	35.4	7.6	11.4	11.4	31.6	6.3	5.1	8.9	79
	70代	9.5	16.7	46.4	9.5	11.9	15.5	15.5	4.8	3.6	11.9	84
	80代以上	5.5	7.3	45.5	7.3	16.4	12.7	20.0	3.6	1.8	18.2	55
	無回答	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	4

#### ④パートやボランティアの受入れ

問14 あなたの家では、パートやボランティア等を受け入れていますか。(1つに○)

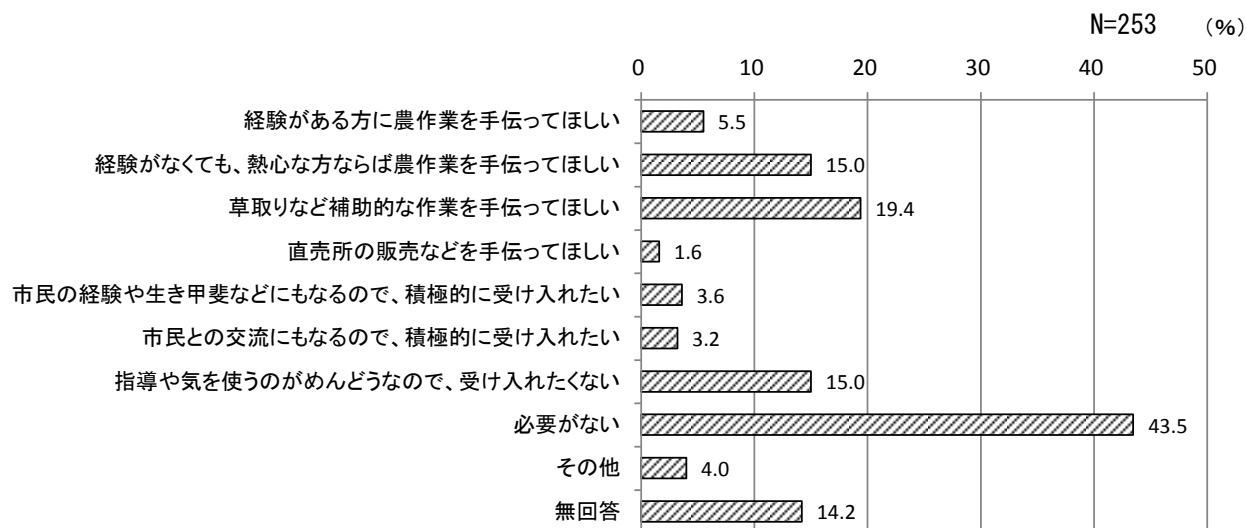


パートやボランティアの受入れについては、「はい」が8.3%、「いいえ」が78.7%となっています。

問14 パートやボランティアの受入れ		1 はい	2 いいえ	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		8.3	78.7	13.0	253
所属地域	東部	12.2	78.4	9.5	74
	中部	4.9	87.8	7.3	41
	西部	6.6	80.3	13.2	76
	その他	0.0	100.0	0.0	2
	市外	9.3	66.7	24.1	54
	無回答	0.0	100.0	0.0	6
年代	50代以下	12.9	77.4	9.7	31
	60代	7.6	86.1	6.3	79
	70代	8.3	76.2	15.5	84
	80代以上	7.3	72.7	20.0	55
	無回答	0.0	75.0	25.0	4

## ⑤市民による援農

問15 市民による援農（農作業の手伝い）について、どのようにお考えですか。（2つまでに○）



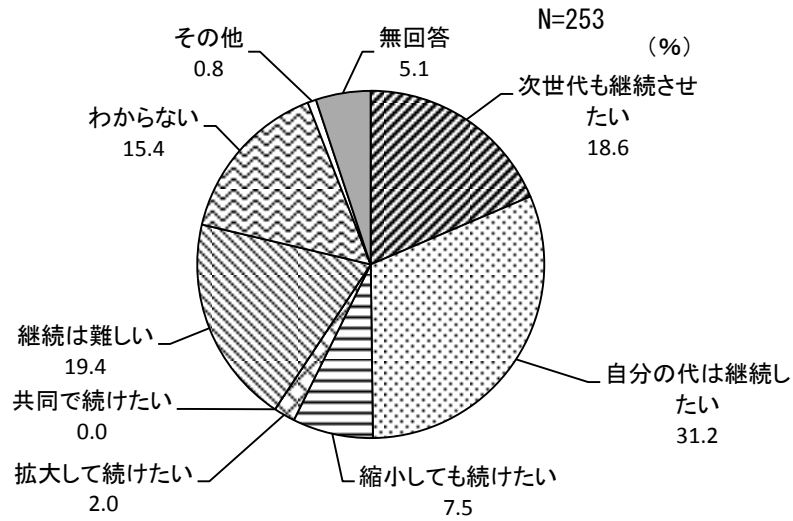
市民による援農については、「草取りなど補助的な作業を手伝ってほしい」が19.4%、「経験がなくても、熱心な方ならば農作業を手伝ってほしい」が15.0%となっています。また、「必要がない」は43.5%となっています。

問15 市民による援農	1 て経験がある方に農作業を手伝ってほしい	2 ば経験がなくても、熱心な方ならば農作業を手伝ってほしい	3 伝草取りなど補助的な作業を手	4 し直売所の販売などを手伝ってほ	5 いなる市民の経験や生き甲斐などにもなるので、積極的に受け入れたい	6 極市民的に受け入れたくなるので、積	7 の指導や気を使うのがめんどうな	8 必要がない	9 その他	無回答	回答者総数	
回答者総数（全体）	5.5	15.0	19.4	1.6	3.6	3.2	15.0	43.5	4.0	14.2	253	
所属地域	東部	5.4	16.2	20.3	1.4	5.4	1.4	18.9	41.9	1.4	12.2	74
	中部	7.3	14.6	22.0	2.4	0.0	4.9	17.1	41.5	9.8	9.8	41
	西部	5.3	14.5	15.8	2.6	3.9	5.3	14.5	48.7	6.6	11.8	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
	市外 無回答	5.6 0.0	14.8 16.7	24.1 0.0	0.0 0.0	3.7 0.0	1.9 0.0	11.1 0.0	35.2 66.7	0.0 0.0	24.1 16.7	54 6
年代	50代以下	16.1	29.0	38.7	3.2	3.2	9.7	16.1	19.4	0.0	6.5	31
	60代	5.1	12.7	10.1	1.3	5.1	1.3	19.0	54.4	3.8	8.9	79
	70代	3.6	16.7	22.6	1.2	3.6	2.4	13.1	45.2	4.8	14.3	84
	80代以上	3.6	9.1	16.4	1.8	1.8	3.6	12.7	38.2	5.5	25.5	55
	無回答	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	4

(5) 農業経営について

①今後の農業経営

問16 あなたは、今後の農業経営についてどのようにお考えですか。(1つに○)

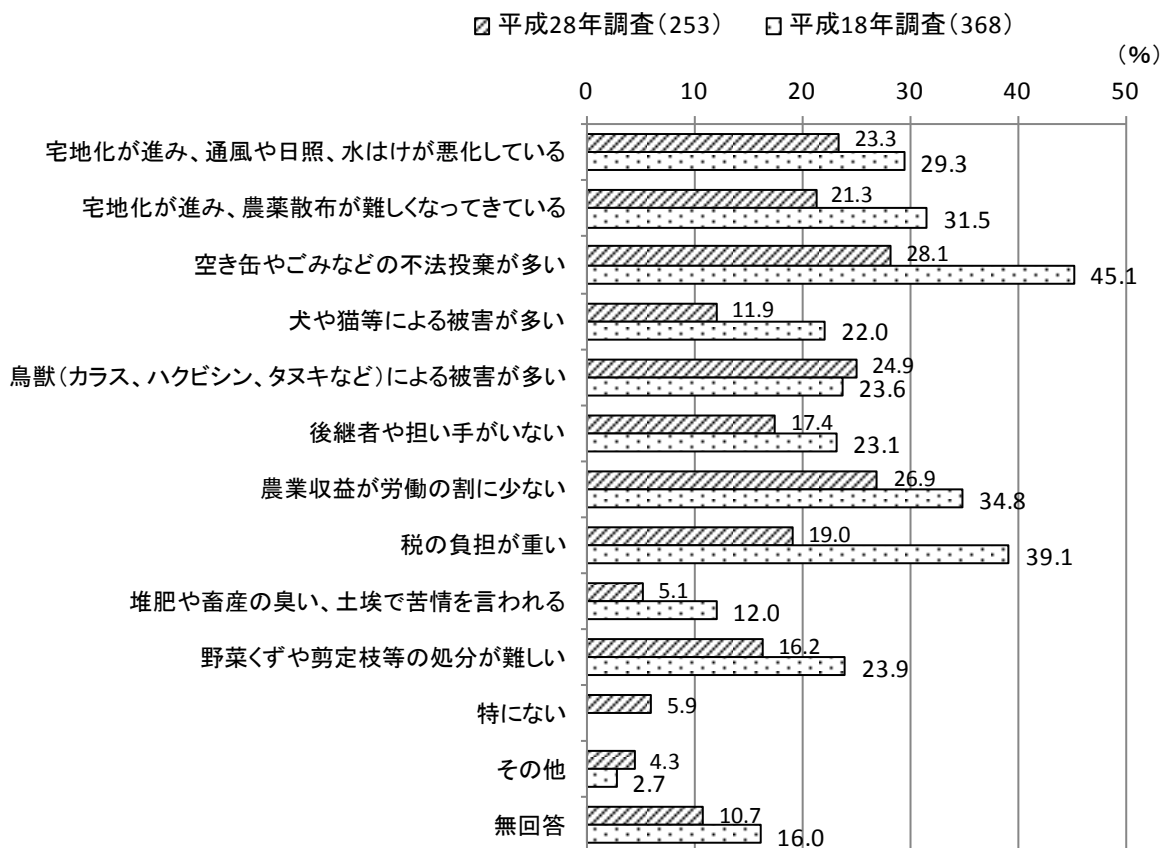


今後の農業経営については、「自分の代は継続したい」が31.2%、「継続は難しい」が19.4%、「次世代も継続させたい」が18.6%などとなっています。

問16 今後の農業経営		1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者総数
		次世代も継続させたい	自分の代は継続したい	縮小しても続けたい	拡大して続けたい	共同で続けたい	継続は難しい	わからない	その他		
回答者総数 (全体)		18.6	31.2	7.5	2.0	0.0	19.4	15.4	0.8	5.1	253
所属地域	東部	14.9	32.4	10.8	1.4	0.0	20.3	16.2	1.4	2.7	74
	中部	17.1	29.3	9.8	0.0	0.0	19.5	19.5	0.0	4.9	41
	西部	15.8	36.8	3.9	2.6	0.0	23.7	13.2	1.3	2.6	76
	その他	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	31.5	20.4	7.4	3.7	0.0	11.1	13.0	0.0	13.0	54
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	6
年代	50代以下	12.9	35.5	0.0	9.7	0.0	22.6	12.9	0.0	6.5	31
	60代	12.7	35.4	8.9	1.3	0.0	22.8	19.0	0.0	0.0	79
	70代	25.0	32.1	4.8	0.0	0.0	21.4	10.7	1.2	4.8	84
	80代以上	21.8	21.8	12.7	1.8	0.0	9.1	20.0	1.8	10.9	55
	無回答	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4

## ②農業を続けていく上で困っていること

問 17 農業を続けていく上で困っていることは何ですか。(3つまでに○)



※選択肢「特にない」は、平成28年調査で新たに追加

※また、平成18年調査では、回答数を「3つまで」に限定していない。

農業を続けていく上で困っていることは、「空き缶やごみなどの不法投棄が多い」が28.1%、「農業収益が労働の割に少ない」が26.9%、「鳥獣による被害が多い」が24.9%などとなっています。

問17 農業を続けていく上で困っていること		1 宅地化が進み、通風や日照、水はけが悪化している	2 宅地化が進み、農薬散布が難しくなっている	3 空き缶やごみなどの不法投棄が多い	4 犬や猫等による被害が多い	5 鳥獣（カラス、ハクビシン、タヌキなど）による被害が多い	6 後継者や担い手がない	7 農業収益が労働の割に少ない	8 税の負担が重い	9 堆肥や畜産の臭い、土埃で苦情を言われる	10 野菜くずや剪定枝等の処分が難しい	11 特になし	12 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		23.3	21.3	28.1	11.9	24.9	17.4	26.9	19.0	5.1	16.2	5.9	4.3	10.7	253
所 属 地 域	東部	24.3	14.9	29.7	6.8	25.7	18.9	28.4	20.3	1.4	14.9	8.1	5.4	12.2	74
	中部	29.3	34.1	19.5	17.1	12.2	9.8	26.8	22.0	12.2	22.0	9.8	0.0	9.8	41
	西部	27.6	14.5	38.2	17.1	31.6	22.4	25.0	15.8	5.3	22.4	3.9	5.3	2.6	76
	その他	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外 無回答	9.3 33.3	25.9 50.0	18.5 16.7	5.6 33.3	25.9 16.7	14.8 16.7	27.8 33.3	20.4 0.0	3.7 16.7	5.6 16.7	3.7 0.0	5.6 0.0	20.4 16.7	54 6
年 代	50代以下	12.9	19.4	41.9	9.7	35.5	25.8	32.3	12.9	3.2	16.1	3.2	12.9	6.5	31
	60代	30.4	21.5	25.3	19.0	24.1	17.7	24.1	19.0	3.8	16.5	5.1	5.1	6.3	79
	70代	13.1	23.8	26.2	10.7	31.0	21.4	28.6	21.4	8.3	23.8	6.0	0.0	8.3	84
	80代以上	32.7	18.2	25.5	5.5	12.7	5.5	25.5	20.0	3.6	5.5	9.1	5.5	21.8	55
	無回答	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4

### ③農業経営の方向

問 18 今後の農業経営の方向について、あてはまるものを選んでください。(3つまでに○)



農業経営の方向については、「少量多品目の農業を進めたい」が12.6%、「省力型の農業に取り組みたい」が12.3%、「販路を拡大したい」が10.3%などとなっています。一方、「特にない又は現状維持で良い」が42.7%となっています。

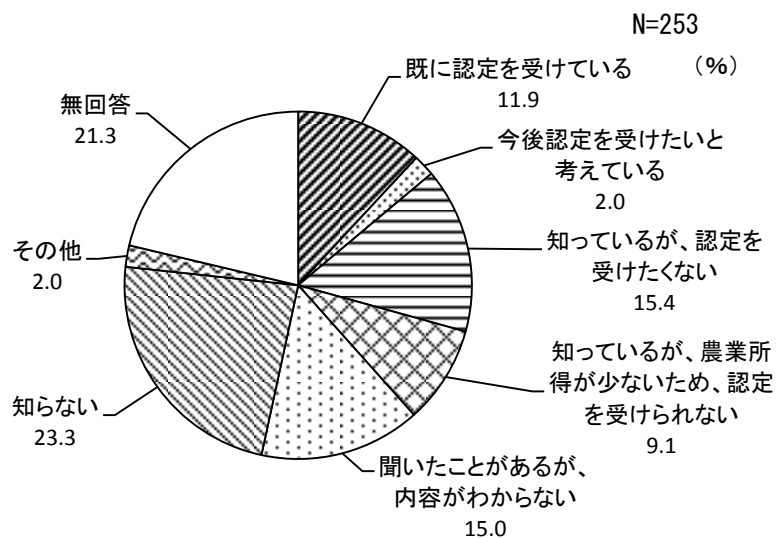
問18 農業経営の方向		1 農地を拡大したい	2 農地を縮小したい	3 販路を拡大したい	4 施設利用により収益を向上させたい	5 新技術の導入により収益を向上させたい	6 有機、減農薬、減化学肥料栽培に取り組みたい	7 省力型の農業に取り組みたい	8 土づくりを重視した農業に取り組みたい	9 市民農園、体験型市民農園などの市民的利用を図りたい	10 少量多品目の農業を進めたい
回答者総数（全体）		2.4	8.3	10.3	5.9	4.7	7.5	12.3	7.5	3.6	12.6
所属地域	東部	1.4	12.2	8.1	6.8	2.7	8.1	8.1	4.1	5.4	16.2
	中部	0.0	9.8	7.3	7.3	7.3	9.8	17.1	12.2	9.8	9.8
	西部	2.6	7.9	14.5	7.9	3.9	6.6	13.2	9.2	1.3	15.8
	その他	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市外	5.6	1.9	9.3	1.9	5.6	5.6	11.1	5.6	0.0	5.6
	無回答	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7
年代	50代以下	9.7	6.5	16.1	6.5	9.7	12.9	19.4	12.9	6.5	12.9
	60代	2.5	8.9	11.4	7.6	6.3	5.1	15.2	2.5	2.5	15.2
	70代	0.0	7.1	7.1	6.0	3.6	7.1	9.5	9.5	2.4	9.5
	80代以上	1.8	10.9	10.9	3.6	1.8	7.3	7.3	5.5	5.5	14.5
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0

問18 農業経営の方向		11 少量少品目の農業を進めたい	12 農作業の委託や市民の支援を募りたい	13 特産品開発や農産物加工によつて	14 商工業者等、異業種の人脈を作り交流を深めたい	15 多摩開墾（市街化調整区域内農地）を賃貸したい	16 農業を身近に親しんでもらえるような取組をしたい	17 特にない又は現状維持で良い	18 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		4.7	2.4	2.4	2.0	6.3	2.4	42.7	2.4	16.6	253
所属地域	東部	1.4	4.1	2.7	2.7	2.7	2.7	48.6	1.4	17.6	74
	中部	9.8	7.3	0.0	0.0	7.3	2.4	34.1	2.4	17.1	41
	西部	1.3	0.0	2.6	0.0	10.5	2.6	40.8	2.6	13.2	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
	市外	11.1	0.0	3.7	5.6	5.6	1.9	44.4	3.7	20.4	54
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	6
年代	50代以下	9.7	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	32.3	6.5	6.5	31
	60代	2.5	2.5	5.1	3.8	3.8	1.3	50.6	1.3	10.1	79
	70代	7.1	3.6	0.0	0.0	7.1	4.8	45.2	0.0	19.0	84
	80代以上	1.8	0.0	3.6	3.6	10.9	1.8	32.7	3.6	29.1	55
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	4



#### ④認定農業者制度

問19 認定農業者制度についてお伺いします。該当するものをお選びください（1つに○）

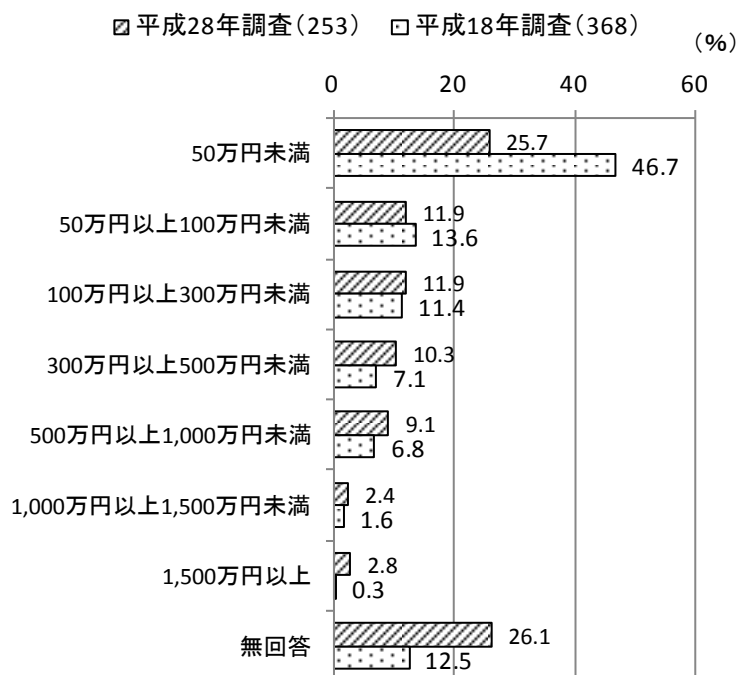


認定農業者制度については、「既に関認定を受けている」が11.9%、「今後認定を受けたいと考えている」が2.0%となっています。一方、「知らない」が23.3%、「聞いたことがあるが、内容がわからない」が15.0%となっています。

問19 認定農業者制度		1	2	3	4	5	6	7	無回答	回答者総数
		既に関認定を受けている	る今後認定を受けたいと考えている	ない知っているが、認定を受けたくない	いたため、認定を受けられないが、農業所得が少ない	か聞いたことがあるが、内容がわからない	知らない	その他		
回答者総数（全体）		11.9	2.0	15.4	9.1	15.0	23.3	2.0	21.3	253
所属地域	東部	5.4	4.1	20.3	9.5	16.2	24.3	0.0	20.3	74
	中部	12.2	0.0	14.6	9.8	17.1	14.6	2.4	29.3	41
	西部	13.2	2.6	11.8	10.5	15.8	25.0	5.3	15.8	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2
	市外	18.5	0.0	16.7	7.4	13.0	18.5	0.0	25.9	54
	無回答	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	16.7	6
年代	50代以下	25.8	9.7	9.7	16.1	3.2	22.6	0.0	12.9	31
	60代	10.1	1.3	17.7	8.9	19.0	26.6	1.3	15.2	79
	70代	10.7	1.2	20.2	8.3	15.5	16.7	2.4	25.0	84
	80代以上	5.5	0.0	9.1	7.3	14.5	29.1	3.6	30.9	55
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	4

## ⑤農業収入の目標

問20 今後、あなたの家はどのくらいの農業収入を目標にしたいですか。(1つに○)



※選択肢「50万円未満」は、平成18年調査では「自家用のみ」である。

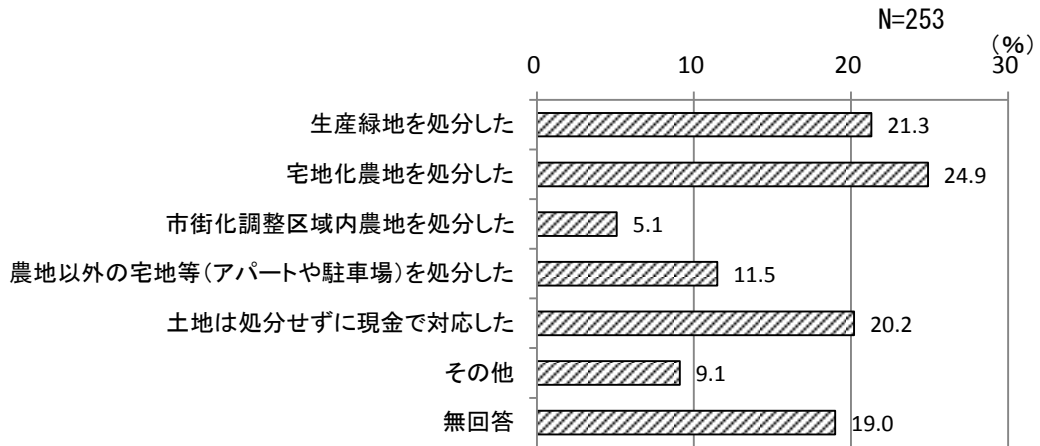
農業収入の目標は、「50万円未満」が25.7%、「50万円以上100万円未満」と「100万円以上300万円未満」がともに11.9%などとなっています。

		1	2	3	4	5	6	7	無回答	回答者総数
問20	農業収入の目標	50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,500万円未満	1,500万円以上		
回答者総数(全体)		25.7	11.9	11.9	10.3	9.1	2.4	2.8	26.1	253
所属地域	東部	29.7	16.2	12.2	10.8	8.1	0.0	1.4	21.6	74
	中部	26.8	17.1	9.8	12.2	7.3	2.4	2.4	22.0	41
	西部	28.9	9.2	15.8	5.3	14.5	2.6	1.3	22.4	76
	その他	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
	市外	14.8	7.4	9.3	14.8	5.6	3.7	7.4	37.0	54
無回答		16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	6
年代	50代以下	25.8	12.9	16.1	3.2	19.4	3.2	3.2	16.1	31
	60代	34.2	11.4	13.9	8.9	5.1	1.3	2.5	22.8	79
	70代	23.8	9.5	11.9	14.3	8.3	3.6	2.4	26.2	84
	80代以上	18.2	16.4	5.5	10.9	10.9	0.0	3.6	34.5	55
	無回答		0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0

(6) 相続時の農地について

問21 相続が発生したときに、どのように対応しましたか。また、今後はどう対応しようと考えていますか。(それぞれ該当するもの全てに○)

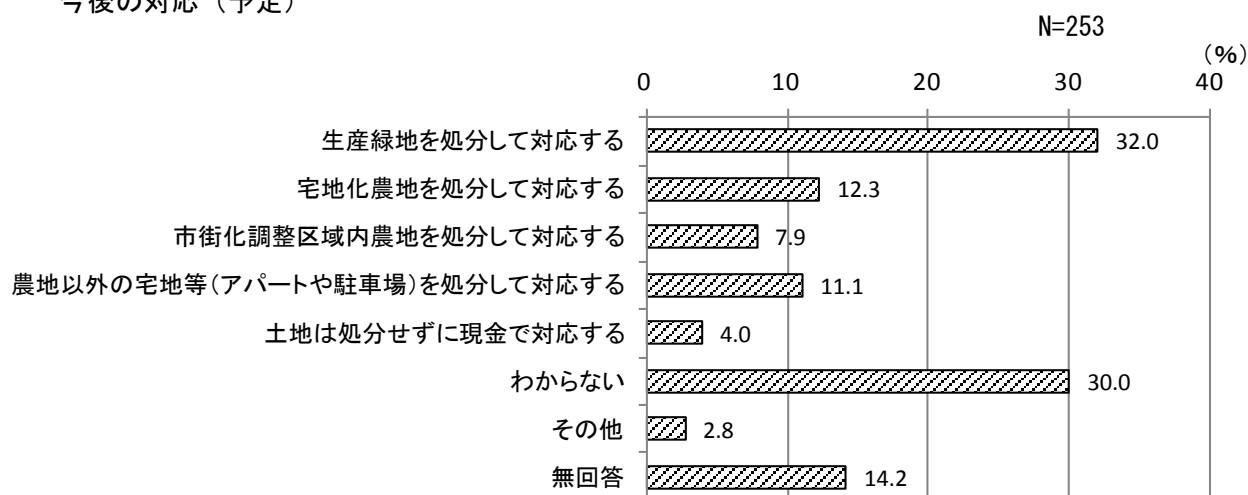
これまでの対応



相続が発生した時の農地は、「宅地化農地を処分した」が24.9%、「生産緑地を処分した」が21.3%であり、「土地は処分せずに現金で対応した」が20.2%となっています。

問21 相続が発生したときの対応		1 生産緑地を処分した	2 宅地化農地を処分した	3 市街化調整区域内農地を処分した	4 農地以外の宅地等(アパートや駐車場)を処分した	5 土地は処分せずに現金で対応した	6 その他	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		21.3	24.9	5.1	11.5	20.2	9.1	19.0	253
所属地域	東部	24.3	29.7	5.4	12.2	21.6	2.7	17.6	74
	中部	14.6	29.3	2.4	14.6	9.8	14.6	24.4	41
	西部	19.7	25.0	6.6	9.2	25.0	13.2	11.8	76
	その他	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
	市外	24.1	18.5	1.9	13.0	22.2	7.4	22.2	54
	無回答	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	6
年代	50代以下	22.6	19.4	0.0	12.9	25.8	16.1	12.9	31
	60代	22.8	31.6	3.8	12.7	26.6	8.9	10.1	79
	70代	19.0	25.0	7.1	11.9	16.7	8.3	21.4	84
	80代以上	21.8	18.2	7.3	5.5	14.5	7.3	32.7	55
	無回答	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	4

今後の対応（予定）



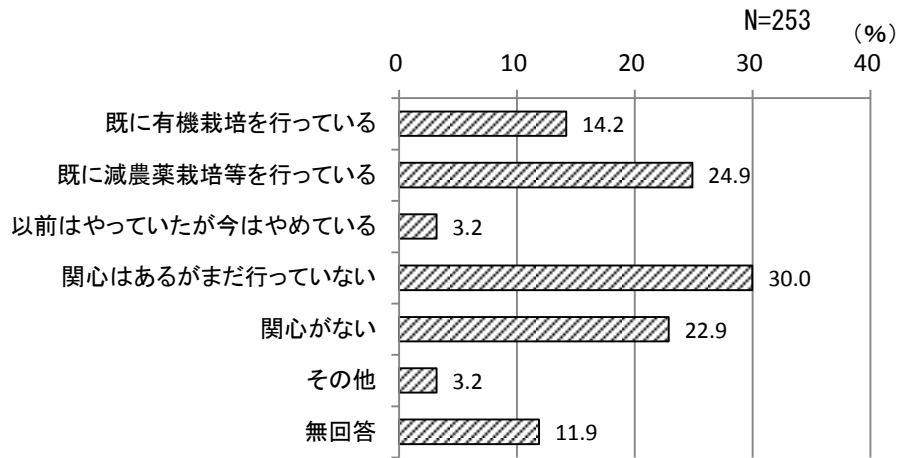
今後の対応については、「生産緑地を処分して対応する」が32.0%、「宅地化農地を処分して対応する」が12.3%などであり、「わからない」は30.0%となっています。

問21 今後、相続が発生したときの対応予定		1 生産緑地を処分して対応する	2 宅地化農地を処分して対応する	3 市街化調整区域内農地を処分する	4 駐車場以外の宅地等(アパートや	5 土地は処分せずに現金で対応する	6 わからない	7 その他	無回答	回答者総数
回答者総数(全体)		32.0	12.3	7.9	11.1	4.0	30.0	2.8	14.2	253
所属地域	東部	40.5	13.5	6.8	12.2	4.1	21.6	4.1	10.8	74
	中部	48.8	9.8	7.3	7.3	2.4	19.5	2.4	17.1	41
	西部	21.1	18.4	10.5	10.5	6.6	36.8	2.6	11.8	76
	その他	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	22.2	3.7	0.0	11.1	1.9	44.4	1.9	18.5	54
	無回答	50.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	6
年代	50代以下	22.6	12.9	3.2	22.6	6.5	41.9	0.0	6.5	31
	60代	36.7	11.4	12.7	15.2	5.1	30.4	5.1	8.9	79
	70代	35.7	13.1	4.8	6.0	1.2	27.4	1.2	16.7	84
	80代以上	25.5	12.7	5.5	3.6	5.5	25.5	3.6	23.6	55
		無回答	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

(7) 有機、減農薬栽培等について

①有機・減農薬栽培への関心・取組

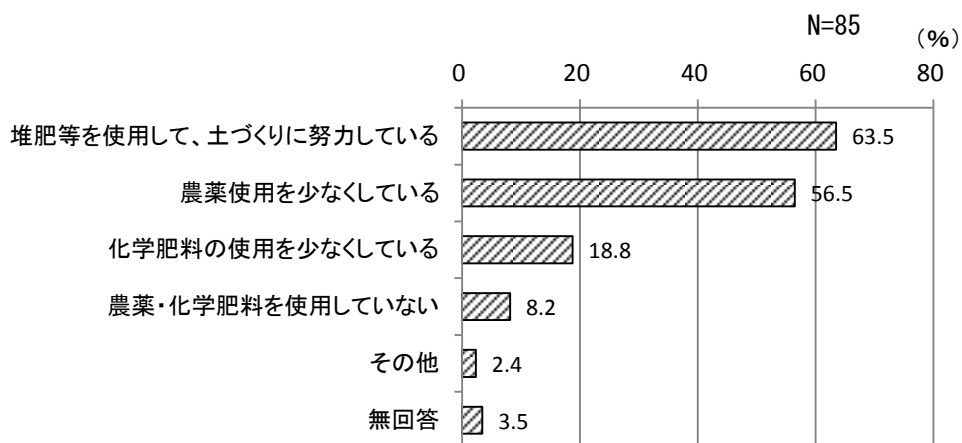
問22 あなたは有機栽培や減農薬栽培等に関心がありますか。(2つまでに○)



有機・減農薬栽培への関心は、「既に有機栽培を行っている」が14.2%、「既に減農薬栽培等を行っている」が24.9%であり、「関心はあるがまだ行っていない」が30.0%、「関心がない」が22.9%です。

問22 有機・減農薬栽培への関心・取組		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者総数
		既に有機栽培を行っている	既に減農薬栽培等を行っている	以前はやっていましたが今はやめています	関心はあるがまだ行っていない	関心がない	その他		
回答者総数 (全体)		14.2	24.9	3.2	30.0	22.9	3.2	11.9	253
所属地域	東部	9.5	23.0	1.4	40.5	17.6	4.1	12.2	74
	中部	14.6	17.1	9.8	31.7	31.7	0.0	12.2	41
	西部	18.4	26.3	1.3	23.7	22.4	3.9	10.5	76
	その他	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
	市外	11.1	25.9	3.7	27.8	22.2	1.9	14.8	54
無回答		33.3	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	6
年代	50代以下	9.7	22.6	3.2	38.7	29.0	0.0	3.2	31
	60代	8.9	24.1	1.3	30.4	30.4	3.8	7.6	79
	70代	15.5	26.2	4.8	32.1	20.2	1.2	11.9	84
	80代以上	21.8	25.5	3.6	20.0	12.7	5.5	23.6	55
	無回答		25.0	25.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0

問22-1 有機栽培や減農薬栽培等でどのような努力をしていますか。(2つまでに○)

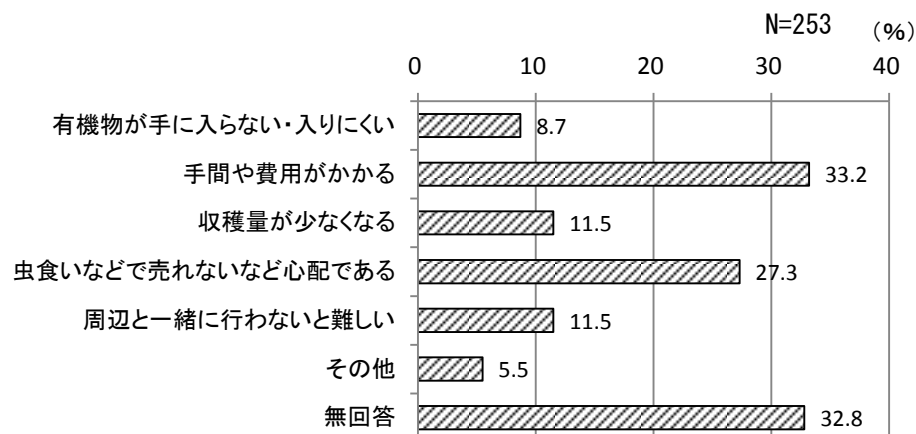


有機栽培や減農薬栽培等で努力していることは、「堆肥等を使用して土づくりに努力している」が63.5%、「農薬使用を少なくしている」が56.5%となっています。

問22-1 有機・減農薬栽培への取組		1	2	3	4	5	無回答	回答者総数
		努力堆肥等を使用して、土づくりに	農薬使用を少なくしている	る化学肥料の使用を少なくしてい	い農薬・化学肥料を使用していな	その他		
回答者総数 (全体)		63.5	56.5	18.8	8.2	2.4	3.5	85
所属地域	東部	65.0	65.0	25.0	5.0	5.0	5.0	20
	中部	80.0	40.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10
	西部	54.8	51.6	19.4	16.1	3.2	0.0	31
	その他	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	57.9	63.2	15.8	5.3	0.0	5.3	19
	無回答	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3
年代	50代以下	55.6	55.6	11.1	33.3	0.0	0.0	9
	60代	45.8	66.7	12.5	16.7	4.2	0.0	24
	70代	73.3	50.0	23.3	0.0	3.3	3.3	30
	80代以上	71.4	52.4	23.8	0.0	0.0	9.5	21
	無回答	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

②有機・減農薬栽培の問題点

問 2 3 有機栽培や減農薬栽培等の問題点を挙げてください。(2つまでに○)



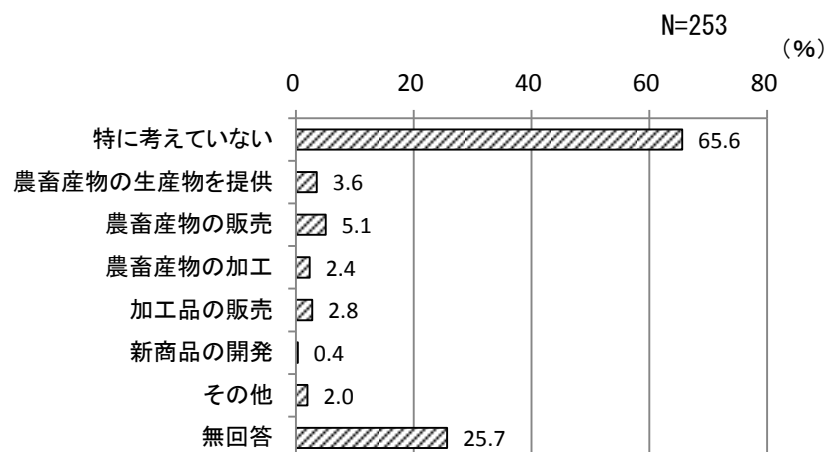
有機栽培や減農薬栽培等の問題点は、「手間や費用がかかる」が33.2%、「虫食いなどで売れないなど心配である」が27.3%などとなっています。

問23 有機・減農薬栽培の問題点		1 く有機物が手に入らない・入りにくい	2 手間や費用がかかる	3 収穫量が少なくなる	4 で虫食いなどで売れないなど心配	5 周辺と一緒に行わないと難しい	6 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		8.7	33.2	11.5	27.3	11.5	5.5	32.8	253
所属地域	東部	9.5	28.4	10.8	27.0	9.5	5.4	33.8	74
	中部	7.3	39.0	14.6	34.1	9.8	7.3	26.8	41
	西部	6.6	31.6	10.5	32.9	13.2	5.3	32.9	76
	その他	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
	市外	11.1	40.7	11.1	14.8	14.8	3.7	33.3	54
	無回答	16.7	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	50.0	6
年代	50代以下	6.5	35.5	12.9	48.4	16.1	9.7	16.1	31
	60代	10.1	32.9	10.1	31.6	11.4	7.6	30.4	79
	70代	9.5	35.7	15.5	25.0	10.7	2.4	31.0	84
	80代以上	7.3	30.9	5.5	12.7	10.9	5.5	45.5	55
	無回答	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	4

## (8) 農商工連携について

問24 農商工連携への取組について、現状と今後のお考えを伺います。(それぞれ2つまでに○)

### ア 現状

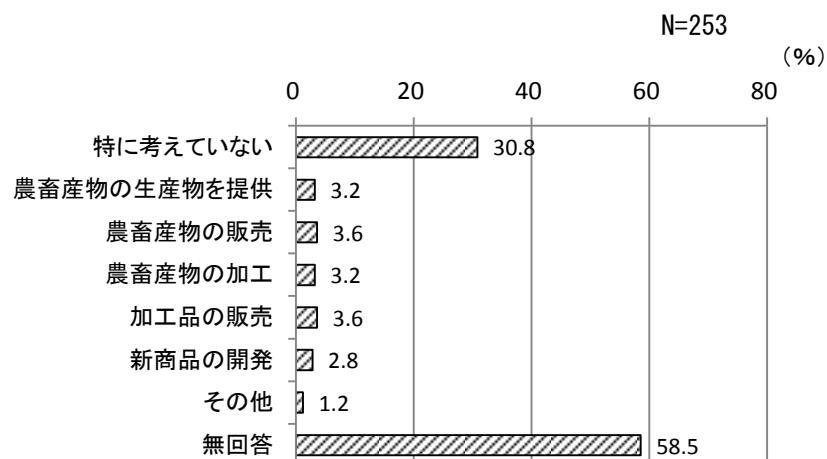


農商工連携への取組の現状は、「特に考えていない」が65.6%であり、「無回答」と合わせて9割以上が取り組んでいないと思われます。

問24 農商工連携への取組の現状		1 特に考えていない	2 農畜産物の生産物を提供	3 農畜産物の販売	4 農畜産物の加工	5 加工品の販売	6 新商品の開発	7 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		65.6	3.6	5.1	2.4	2.8	0.4	2.0	25.7	253
所属地域	東部	68.9	1.4	1.4	2.7	4.1	0.0	1.4	25.7	74
	中部	58.5	2.4	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	36.6	41
	西部	71.1	6.6	7.9	2.6	2.6	1.3	2.6	15.8	76
	その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	61.1	1.9	9.3	3.7	1.9	0.0	3.7	29.6	54
	無回答	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	6
年代	50代以下	77.4	12.9	9.7	3.2	6.5	0.0	0.0	9.7	31
	60代	72.2	5.1	7.6	3.8	1.3	1.3	3.8	16.5	79
	70代	64.3	1.2	2.4	1.2	3.6	0.0	1.2	28.6	84
	80代以上	50.9	0.0	3.6	1.8	1.8	0.0	1.8	43.6	55
		無回答	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	4



イ 今後の方向

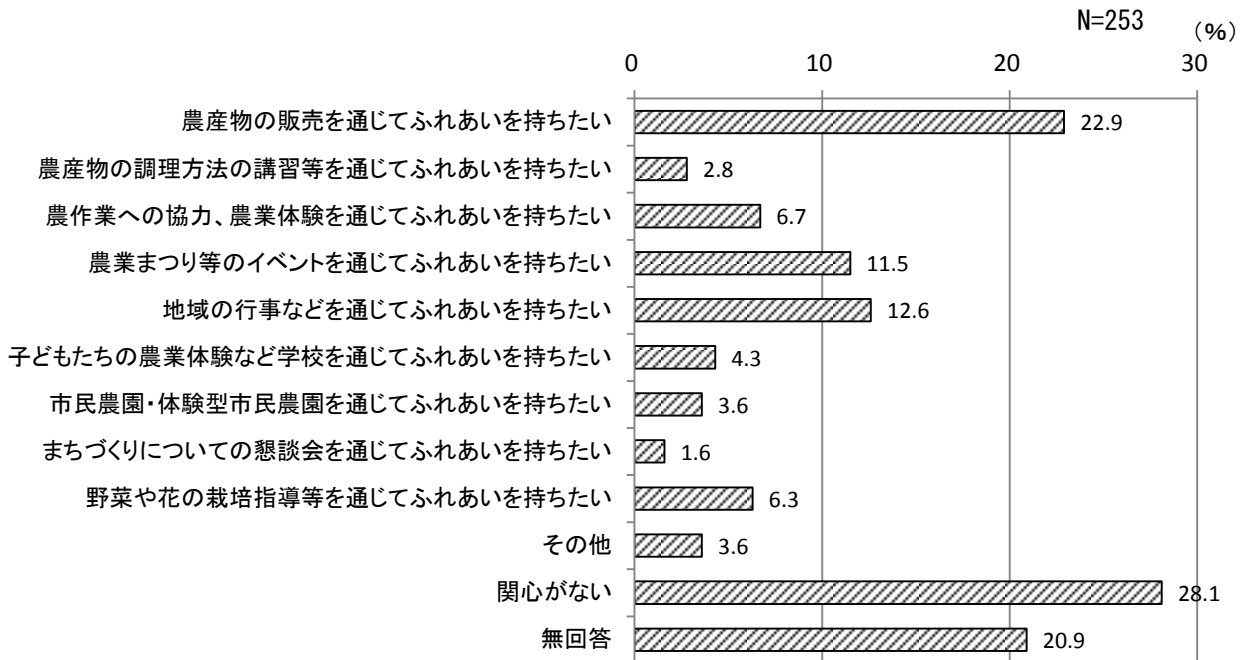


農商工連携への今後の方向については、「特に考えていない」が30.8%、「無回答」が58.5%で、合わせて約9割に取り組む予定がないと思われます。

問24 農商工連携への取組の今後の方向		1 特に考えていない	2 農畜産物の生産物を提供	3 農畜産物の販売	4 農畜産物の加工	5 加工品の販売	6 新商品の開発	7 その他	無回答	回答者総数
回答者総数 (全体)		30.8	3.2	3.6	3.2	3.6	2.8	1.2	58.5	253
所属地域	東部	29.7	4.1	2.7	4.1	2.7	4.1	1.4	55.4	74
	中部	31.7	2.4	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0	63.4	41
	西部	32.9	2.6	5.3	3.9	3.9	0.0	2.6	56.6	76
	その他	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	29.6	1.9	5.6	1.9	5.6	3.7	0.0	61.1	54
	無回答	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	83.3	6
年代	50代以下	48.4	3.2	9.7	6.5	3.2	0.0	3.2	35.5	31
	60代	40.5	6.3	3.8	5.1	6.3	3.8	1.3	45.6	79
	70代	21.4	1.2	0.0	1.2	0.0	2.4	0.0	75.0	84
	80代以上	23.6	1.8	5.5	1.8	5.5	3.6	1.8	61.8	55
		無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	4

(9) 地域住民とのふれあいについて

問25 地域住民とのふれあいについて望むことは何ですか。(2つまでに○)



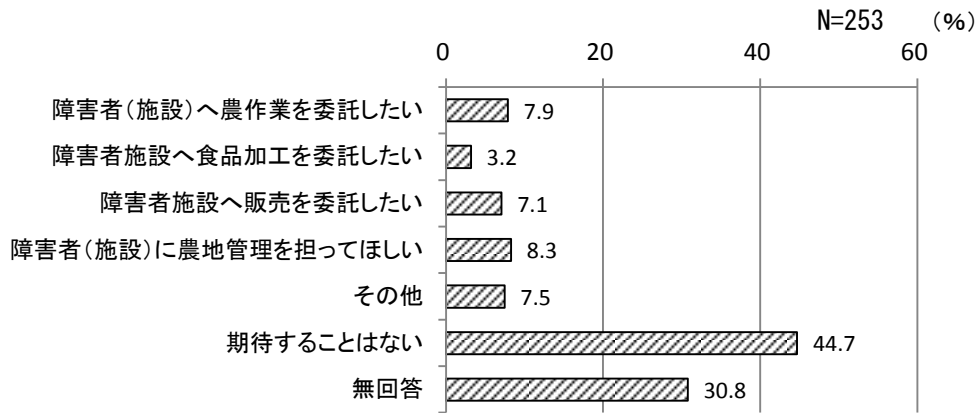
地域住民とのふれあいについては、「農産物の販売を通じてふれあいを持ちたい」が22.9%、「地域の行事などを通じてふれあいを持ちたい」が12.6%などとなっていますが、「関心がない」が28.1%となっています。

問25 地域住民とのふれあいについて	1 を農産物の販売を通じてふれあい	2 じ農産物の調理方法の講習等を通	3 じて農作業への協力を、農業体験を通	4 て農業まつり等のイベントを通じ	5 い地域の行事などを通じてふれあ	6 を子どもたちへの農業体験など学校	7 じて市民農園・体験型市民農園を通	8 通まちづくりについて懇談会を	9 ふ野菜や花の栽培指導等を通じて	10 その他	11 関心がない	無回答	回答者総数	
回答者総数(全体)	22.9	2.8	6.7	11.5	12.6	4.3	3.6	1.6	6.3	3.6	28.1	20.9	253	
所属地域	東部	21.6	4.1	9.5	6.8	14.9	5.4	6.8	4.1	8.1	2.7	24.3	20.3	74
	中部	29.3	2.4	7.3	14.6	17.1	2.4	7.3	2.4	7.3	2.4	22.0	22.0	41
	西部	25.0	3.9	5.3	14.5	10.5	5.3	1.3	0.0	2.6	5.3	28.9	18.4	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	2
	市外	18.5	0.0	5.6	11.1	11.1	3.7	0.0	0.0	7.4	1.9	33.3	25.9	54
無回答	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	6	
年代	50代以下	19.4	6.5	16.1	16.1	19.4	9.7	6.5	0.0	0.0	6.5	29.0	9.7	31
	60代	26.6	2.5	6.3	11.4	12.7	1.3	1.3	1.3	8.9	2.5	30.4	13.9	79
	70代	17.9	3.6	6.0	11.9	10.7	4.8	3.6	2.4	8.3	2.4	31.0	22.6	84
	80代以上	29.1	0.0	3.6	9.1	10.9	5.5	5.5	0.0	3.6	5.5	18.2	34.5	55
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	4	

(10) 農福連携について

①農福連携

問26 あなたは、農福連携で取り組みたいことは何ですか。(3つまでに○)

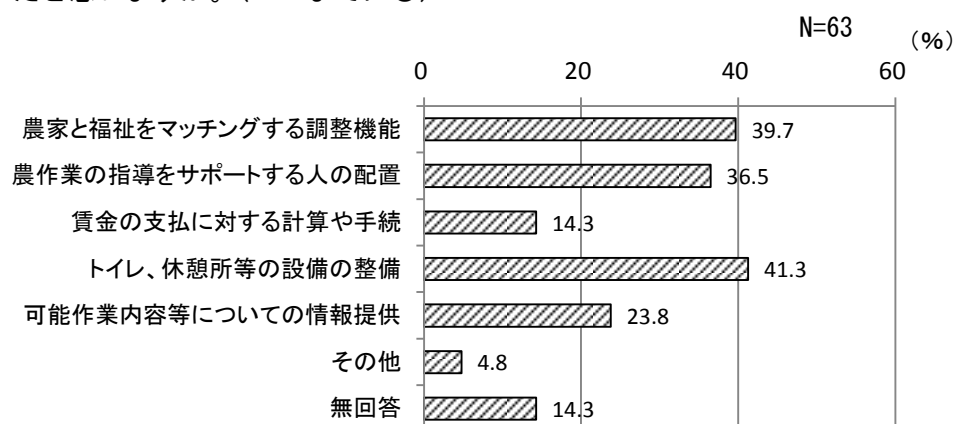


農福連携で取り組みたいことは、「障害者（施設）に農地管理を担ってほしい」が8.3%、「障害者（施設）へ農作業を委託したい」が7.9%などとなっていますが、「期待することはない」が44.7%、「無回答」が30.8%となっています。

問26 農福連携		1 障害者 （施設） へ農 作業を 委託 した い	2 た い 障害 者 施設 へ食 品加 工を 委託 し	3 障 害 者 施設 へ販 売を 委託 した い	4 担 っ て ほ し い 障 害 者 （施設） に農 地管 理を	5 そ の 他	6 期 待 す る こ と は な い	無 回 答	回 答 者 総 数
回答者総数（全体）		7.9	3.2	7.1	8.3	7.5	44.7	30.8	253
所 属 地 域	東部	10.8	2.7	9.5	10.8	5.4	47.3	28.4	74
	中部	2.4	2.4	4.9	9.8	7.3	51.2	29.3	41
	西部	7.9	2.6	6.6	5.3	13.2	35.5	35.5	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	2
	市外	9.3	5.6	7.4	9.3	3.7	44.4	29.6	54
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	6
年 代	50代以下	16.1	6.5	9.7	12.9	9.7	48.4	12.9	31
	60代	10.1	2.5	7.6	6.3	15.2	43.0	21.5	79
	70代	3.6	3.6	2.4	6.0	4.8	51.2	33.3	84
	80代以上	7.3	1.8	12.7	12.7	0.0	34.5	49.1	55
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	4

②農福連携を進めるために必要なこと

問26-1 (問26で1~5に○をつけた方に伺います) 農福連携を進めるにあたって何が必要だと思いますか。(3つまでに○)

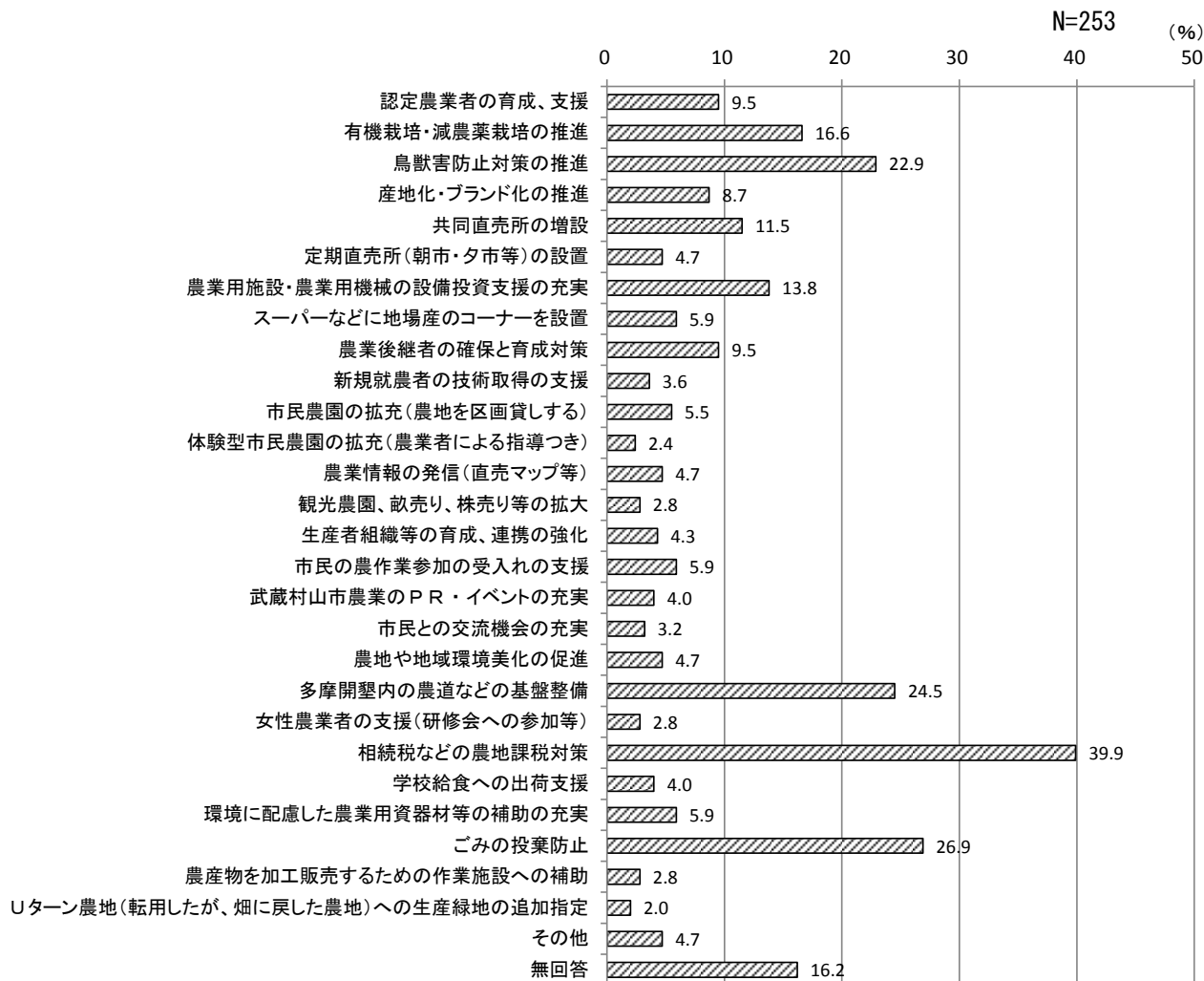


農福連携を進めるために必要なことは、「トイレ、休憩所等の設備の整備」が41.3%、「農家と福祉をマッチングする調整機能」が39.7%、「農作業の指導をサポートする人の配置」が36.5%などとなっています。

問26-1 農福連携を進めるために必要なこと		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者総数
		農家と福祉をマッチングする調整機能	農作業の指導をサポートする人の配置	賃金の支払に対する計算や手続	トイレ、休憩所等の設備の整備	可能作業内容等についての情報提供	その他		
回答者総数 (全体)		39.7	36.5	14.3	41.3	23.8	4.8	14.3	63
所属地域	東部	47.4	31.6	10.5	47.4	31.6	0.0	10.5	19
	中部	25.0	25.0	37.5	25.0	25.0	25.0	12.5	8
	西部	36.4	31.8	9.1	31.8	18.2	4.5	22.7	22
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
	市外無回答	42.9	57.1	14.3	57.1	21.4	0.0	7.1	14
年代									
50代以下		50.0	58.3	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	12
60代		28.6	28.6	10.7	39.3	10.7	10.7	21.4	28
70代		38.5	46.2	15.4	38.5	15.4	0.0	15.4	13
80代以上		60.0	20.0	20.0	40.0	80.0	0.0	10.0	10
無回答		-	-	-	-	-	-	-	0

(11) 今後の農業施策について

問27 今後の農業施策で重視してほしいものに○をつけてください。(5つまでに○)



今後の農業施策については、「相続税などの農地課税対策」が39.9%、「ごみの投棄防止」が26.9%、「多摩開墾内の農道などの基盤整備」が24.5%、「鳥獣害防止対策の推進」が22.9%などとなっています。

問27 今後の農業施策について		1 認定農業者の育成、支援	2 有機栽培・減農薬栽培の推進	3 鳥獣害防止対策の推進	4 産地化・ブランド化の推進	5 共同直売所の増設	6 定期直売所（朝市・夕市等）の設置	7 農業用施設・農業用機械の設備投資支援の充実	8 スーパーなどに地場産のコーナーを設置	9 農業後継者の確保と育成対策	10 新規就農者の技術取得の支援	11 市民農園の拡充（農地を区画貸しする）	12 体験型市民農園の拡充（農業者による指導つき）	13 農業情報の発信（直売マップ等）	14 観光農園、畝売り、株売り等の拡充	15 生産者組織等の育成、連携の強化
回答者総数（全体）		9.5	16.6	22.9	8.7	11.5	4.7	13.8	5.9	9.5	3.6	5.5	2.4	4.7	2.8	4.3
所属地域	東部	4.1	14.9	20.3	8.1	10.8	8.1	9.5	2.7	12.2	6.8	6.8	2.7	8.1	5.4	6.8
	中部	17.1	14.6	12.2	12.2	12.2	2.4	17.1	7.3	12.2	4.9	9.8	0.0	4.9	2.4	7.3
	西部	9.2	17.1	31.6	10.5	15.8	2.6	10.5	10.5	5.3	1.3	3.9	2.6	2.6	2.6	3.9
	その他	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市外	9.3	16.7	24.1	5.6	7.4	3.7	24.1	3.7	9.3	1.9	3.7	3.7	1.9	0.0	0.0
	無回答	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
年代	50代以下	16.1	12.9	12.9	12.9	6.5	6.5	22.6	6.5	12.9	6.5	12.9	0.0	3.2	0.0	6.5
	60代	12.7	12.7	29.1	10.1	12.7	6.3	16.5	10.1	8.9	6.3	0.0	2.5	5.1	2.5	3.8
	70代	6.0	19.0	28.6	6.0	10.7	2.4	10.7	4.8	9.5	1.2	7.1	1.2	3.6	6.0	3.6
	80代以上	5.5	20.0	12.7	9.1	14.5	5.5	10.9	1.8	9.1	1.8	5.5	5.5	7.3	0.0	5.5
	無回答	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問27 今後の農業施策について		16 市民の農作業参加の受入れの支援	17 武蔵村山市農業のPR・イベントの充実	18 市民との交流機会の充実	19 農地や地域環境美化の促進	20 多摩開墾内の農道などの基盤整備	21 女性農業者の支援（研修会への参加等）	22 相続税などの農地課税対策	23 学校給食への出荷支援	24 環境に配慮した農業用資器材等の補助の充実	25 ごみの投棄防止	26 農産物を加工販売するための作業施設への補助	27 Uターン農地（転用したが、畑に追加指定した農地）への生産緑地の追加指定	28 その他	無回答	回答者総数
回答者総数（全体）		5.9	4.0	3.2	4.7	24.5	2.8	39.9	4.0	5.9	26.9	2.8	2.0	4.7	16.2	253
所属地域	東部	8.1	5.4	2.7	4.1	8.1	1.4	45.9	2.7	6.8	25.7	2.7	0.0	4.1	16.2	74
	中部	2.4	4.9	0.0	7.3	17.1	4.9	56.1	4.9	9.8	29.3	2.4	7.3	4.9	19.5	41
	西部	7.9	3.9	2.6	1.3	38.2	2.6	34.2	6.6	6.6	27.6	3.9	2.6	5.3	11.8	76
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	市外	3.7	0.0	5.6	5.6	35.2	1.9	25.9	1.9	1.9	24.1	0.0	0.0	5.6	20.4	54
	無回答	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	6
年代	50代以下	12.9	0.0	0.0	9.7	35.5	12.9	41.9	9.7	16.1	32.3	3.2	0.0	12.9	6.5	31
	60代	3.8	3.8	3.8	5.1	30.4	1.3	43.0	2.5	7.6	31.6	2.5	1.3	6.3	8.9	79
	70代	3.6	2.4	4.8	0.0	19.0	2.4	36.9	3.6	3.6	29.8	2.4	4.8	1.2	19.0	84
	80代以上	9.1	7.3	1.8	5.5	20.0	0.0	40.0	3.6	3.6	12.7	1.8	0.0	3.6	27.3	55
	無回答	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	4

平成 28 年調査の上位 10 項目 (%)

1	相続税などの農地課税対策	39.9
2	ごみの投棄防止	26.9
3	多摩開墾内の農道などの基盤整備	24.5
4	鳥獣害防止対策の推進	22.9
5	有機栽培・減農薬栽培の推進	16.6
6	農業用施設・農業用機械の設備投資支援の充実	13.8
7	共同直売所の増設	11.5
8	認定農業者の育成、支援	9.5
9	農業後継者の確保と育成対策	9.5
10	産地化・ブランド化の推進	8.7

平成 18 年調査の上位 10 項目 (%)

1	相続税などの農地課税対策	35.9
2	土づくり農業の推進	25.8
3	有機農業・減農薬農業の推進	22.6
4	鳥獣害防止対策の推進	20.9
5	安全な農産物生産・供給	18.5
6	多摩開墾の農道基盤整備	16.6
7	農協や市による共同直売所の開設	13.6
8	農業後継者の確保と育成対策	7.9
9	武蔵村山市農業の P R ・ イベント	7.3
10	農地や地域環境美化の促進	7.1

※平成 28 年調査の「ごみの投棄防止」は、平成 18 年調査には無い。

平成 18 年調査の「土づくり農業の推進」と「安全な農産物生産・供給」は、平成 28 年調査には無い。





### Ⅲ 農業振興に向けた考察

---



### Ⅲ 農業振興に向けた考察

#### (1) 市民アンケートから

##### 【農地の保全が求められています】(問6)

市内の農地について、多くの市民は「みどり豊かな環境を守るために農地をできるだけ多く残してほしい」(69.8%)と考えており、保全に向けた取組が求められています。

##### 【農業や農地は、新鮮な野菜や果物を供給しています】(問7)

市内の農業や農地の役割について、市民は「新鮮な野菜や果物を供給している」(66.6%)と考えており、市内産農産物が新鮮な状態で市民の食卓にあがるような流通・販売等の取組が求められます。

##### 【農地の活用、市民と農家の交流が求められています】(問8)

市内の農業の問題点は、「耕作が充分されていない農地がある」(41.4%)ことと、「農家との交流が少ない」(39.0%)であり、農地の適正な管理・活用、市民と農家の交流機会の拡大が求められます。

##### 【農業を市民が支えるしくみづくりが求められます】(問11)

援農ボランティアについて「今は、時間がないので、参加できないが興味はある」(41.0%)人が多く、需要と供給をうまくマッチングするしくみづくりにより、より多くの市民が農業と関わる体制づくりを進めていくことが求められます。

##### 【農業との関わりを持ちたいと考える市民が少なからずいます】(問12、13、14)

市民農園や体験型市民農園の現在の利用は少ないですが、利用したいと考える市民の数は相当数います。知らないとする割合も多く、広く周知を図るなどして、農地利用促進の一環として市民農園等を普及していく必要があります。

観光農園については、「利用したことがある」(36.5%)人が3人に1人以上いますが、その頻度を高めるとともに、利用したことのない人の利用を促進していくことが課題です。

##### 【武蔵村山産の農産物の消費拡大が可能です】(問15、16、17、18)

野菜の購入場所は「市内のスーパー」(83.2%)が多く、また、武蔵村山産の農産物を購入したことが「ある」(78.6%)人も多くなっています。武蔵村山産の農産物を購入する理由は「新鮮である」(76.7%)からとなっています。

市内産の農産物を購入したことがない理由で多いのは、「どこで売っているかわからない」(54.3%)、「直売所が近所がない」(25.5%)であり、購入しやすくするために必要な方法として最も多く挙げられたのは、「市内のスーパーなどの量販店に武蔵村山産のコーナーを設置する」(61.5%)です。

**【農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入への関心は持っています】（問20）**

農薬や化学肥料の使用を減らした農産物について、「あまり意識して購入しない」（14.3%）人は比較的少なく、多くの人は関心が高いことから、生産の拡大と販売方法の工夫などにより、安定した消費につなげられる可能性があります。

**【市内産農産物は学校給食の積極的に取り入れるべきです】（問21）**

「新鮮な市内産農産物を積極的に給食に取り入れるべきである」（80.4%）とする人が多く、学校給食への導入拡大に向けた検討が求められます。

**【都市農業への理解や関心を深めるためには市内産農産物の流通システムの構築が課題です】（問22）**

都市農業への理解や関心を深めるには、「武蔵村山市でとれた野菜が手軽に購入できる流通システム」（69.5%）が重要であり、「学校給食での市内農産物の利用促進」（34.7%）など行政としても積極的に取り組んでいくことが求められています。

## （2）農業者アンケートから

**【露地野菜を中心とした生産活動が行われています】（問2、3）**

販売額の多いものは、「露地野菜」（45.1%）となっています。一方、「自給的生産のみで販売はない」（31.6%）農家も多く、露地野菜を中心とした農業振興と、すべての農業者を含めた農地保全対策、その両面を見据えた取組が求められます。販売方法は「直売・宅配」（48.7%）が比較的多く、安定した販売ができるよう、流通システムの充実が求められます。

**【農地には多面的な機能があると認識しています】（問5）**

農産物を生産する以外にも、「季節の変化を感じさせる役割」（42.7%）、「地表の温度を下げ、大気の浄化に役立っている」（30.8%）、「災害時の避難場所として役立つ」（26.9%）、「自然や生態系の保全の場として役立っている」（24.5%）など、農地には多面的な機能があると認識されています。

**【生産緑地の平成34年問題への対応が求められます】（問7、8）**

所有している生産緑地について、「指定している全ての生産緑地の買取り申出を行う」（15.1%）と「指定箇所の一部について買取り申出を行う」（25.3%）を合わせて40.4%の農業者が、買取り申出を行うとしています。「わからない」（26.5%）としている農業者からの買取り申出が生じる可能性もあり、2人に1人の割合で発生することを想定した対応を検討する必要があります。

また、宅地化農地の活用方法について聞いた設問では、「当分の間は農地として維持したい」（67.3%）とする割合が多いことから、宅地化農地を生産緑地に追加指定を推進することが必要です。

**【多摩開墾地区内の農地保全のしくみづくりが求められます】（問9、9-1、9-2）**

多摩開墾地区内に農地を所有している農業者のうち、「いずれは売却したい」（17.4%）、「全部

を貸したい」(8.7%)、「農業を継続するが、一部は貸したい」(5.2%)であり、売却や貸す際に、農地が適切に保全・利用されるしくみを検討する必要があります。

#### 【農業の担い手の確保が求められます】(問12、14)

後継者の農業従事状況を見ると、「既に農業に従事している」(17.0%)と「いずれ農業を継ぐ予定」(9.9%)を合わせて26.9%の農家に農業後継者がいるにすぎず、農業後継者確保等に向けた支援が求められます。

特に、50代以下の農家ではパートやボランティアを受け入れている割合が比較的高く、市民による援農も必要としていることから、そのような環境づくりを進めることによって後継者の就農、新規就農者の確保を図っていくことが課題です。

#### 【農業を続けたい人、続けるのが難しい人、それぞれの支援が求められます】(問16)

今後の農業経営について、続けたいとする割合が約6割、続けるのが難しいなどとする割合が約4割となっています。

続けたい農家の中には、大きく分けて武蔵村山市の農業を中心となって担っていただきたい農家と、当面は農地保全のために農業を続けていただきたい農家があります。

続けるのが難しいなどとする農家には、営農を続けられるような支援を検討するとともに、貸したり売却したりせざるを得ない場合はそれをスムーズに進めていく方策を検討する必要があります。

#### 【認定農業者制度の周知と認定の拡大が求められます】(問19)

認定農業者制度を「知らない」(23.3%)、「聞いたことがあるが、内容がわからない」(15.0%)とする農家が38.3%であり、「無回答」(21.3%)を合わせると約6割の農家は内容を理解していないと考えられます。そのため、制度の周知と認定の拡大を図っていくことが求められます。

#### 【有機、減農薬栽培を拡大するためには人手の確保と消費者の理解が必要です】(問22、23)

「既に有機栽培を行っている」(14.2%)、「既に減農薬栽培等を行っている」(24.9%)農家はありますが、「関心はあるがまだ行っていない」(30.0%)、「関心がない」(22.9%)とする農家が多くなっています。有機栽培や減農薬栽培等の問題点は、「手間や費用がかかる」(33.2%)、「虫食いなどで売れないなど心配である」(27.3%)が比較的多く、農業の人手の確保とともに、消費者の意識を変えていくことが求められます。

#### 【新しい取り組みへの支援が求められます】(問24、26)

農商工連携については、「特に考えていない」(65.6%)と「無回答」(25.7%)を除いて、8.7%の農家で何らかの取り組みが行われています。今後の方向についても同様に、10.7%の農家で連携の可能性がります。また、農福連携については、「期待することはない」(44.7%)と「無回答」(30.8%)を除いて、24.5%の農家で取り組みの可能性がります。

このように、新しいことにチャレンジしたいと考えている農家に対しては、国や都の制度を活用しつつ支援を行っていくことが求められます。

**【メリハリのある農業振興策の推進が課題です】（問27）**

農業振興策としては、「相続税などの農地課税対策」（39.9%）や「ごみの投棄防止」（26.9%）、「鳥獣害防止対策の推進」（22.9%）など、営農していく上での環境面等の対策が多くなっています。

その他では、「多摩開墾内の農道などの基盤整備」（24.5%）、「有機栽培・減農薬栽培の推進」（16.6%）、「農業用施設・農業用機械の設備投資支援の充実」（13.8%）、「共同直売所の増設」（11.5%）が比較的多くなっており、「認定農業者の育成、支援」や「農業後継者の確保と育成対策」（ともに9.5%）も続いています。

## IV 調査票

---





## IV 調査票

### (1) 市民アンケート調査票

# 武蔵村山市農業振興計画策定に向けた 市民意識調査

～御協力のお願～

日頃、市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、平成20年3月に「武蔵村山市第二次農業振興計画」を策定し、「市民の豊かな生活を彩る 魅力あふれる武蔵村山農業」を将来像に設定し、「生産の基本となる農地の保全」、「魅力ある農業経営の推進」、「農とふれあいのあるまちづくりの推進」の3つを柱に、農業の振興を図ってまいりました。この第二次農業振興計画が平成29年度をもって満了することから、これまでの取組の成果等を踏まえながら、平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年度とする「武蔵村山市第三次農業振興計画」を策定することといたしました。

この計画の策定に当たっては、農業者だけでなく、市民の皆様と市内農業との関わりやニーズを的確に捉える必要があるため、「市民アンケート」を行うこととし、市内にお住まいの18歳以上の方2,000名を無作為に選ばせていただき、調査への御協力をお願いするものです。

お答えいただいた内容は、全て統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

質問によっては、答えにくい部分もあるかと存じますが、最後まで御回答くださいますようお願い申し上げます。

平成28年10月

武蔵村山市長 藤野 勝

### 記入に際してのお願い

- 1 アンケートは、必ず宛て名にある御本人が御回答ください。
- 2 回答項目のうち、当てはまると思われるものの番号に○を付けてください。
- 3 ○の数は、(1つに○)(3つまでに○)といった( )内の指定に合わせて付けてください。
- 4 「その他」に当てはまる場合は、( )内にその内容を具体的にお書きください。

調査票の記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手は不要)で、

**平成28年10月25日(火)** までに郵便ポストに投函してください。

返信用封筒にも住所・お名前は御記入されないで結構です。

※市役所産業観光課、イオンモールむさし村山1階情報館「えのき」又は緑が丘出張所にお持ちいただいても構いません。

この調査票について、御不明な点、御質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

武蔵村山市 協働推進部 産業観光課 農政グループ  
電話：042(565)1111(内線226)

## はじめに、あなた御自身についてお伺いします

問1 あなたの性別はどちらですか。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢（年代）をお聞かせください。

- |           |       |       |         |
|-----------|-------|-------|---------|
| 1 10代・20代 | 3 40代 | 5 60代 | 7 80代以上 |
| 2 30代     | 4 50代 | 6 70代 |         |

問3 あなたのお住まいはどちらですか。

- |      |       |        |        |
|------|-------|--------|--------|
| 1 中藤 | 5 三ツ木 | 9 伊奈平  | 13 大南  |
| 2 神明 | 6 岸   | 10 三ツ藤 | 14 緑が丘 |
| 3 中央 | 7 中原  | 11 学園  |        |
| 4 本町 | 8 残堀  | 12 榎   |        |

問4 あなたの職業は何ですか。

- |              |          |
|--------------|----------|
| 1 自営業・事業主・農業 | 5 主婦     |
| 2 会社員・団体職員   | 6 学生     |
| 3 公務員        | 7 無職     |
| 4 パート・アルバイト  | 8 その他（ ） |

問5 あなたは武蔵村山市に何年住んでいますか。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 3年未満      | 3 10年以上20年未満 |
| 2 3年以上10年未満 | 4 20年以上      |

## 1 農業の役割・期待について

問6 武蔵村山市では、農地が年々減少する傾向にあります。あなたは市内の農地についてどのように思いますか。(1つに○)

- 1 みどり豊かな環境を守るために農地をできるだけ多く残してほしい
- 2 農地は減っても仕方がない
- 3 農地は公共施設用地にしてほしい
- 4 農地は住宅地にしてほしい
- 5 その他 ( )

問7 市内の農業や農地の役割について、どのようなイメージをお持ちですか。(3つまでに○)

- 1 新鮮な野菜や果物を供給している
- 2 季節の変化を感じさせる役割を持っている
- 3 緑地やオープンスペースとして役立っている
- 4 自然や生態系の保全の場として役立っている
- 5 子どもの環境教育や農業体験の場として役立っている
- 6 潤いのある景観を作り出している
- 7 地表の温度を下げ、大気の浄化に役立っている
- 8 災害時の避難場所として役立つ
- 9 心のやすらぎを与えてくれる
- 10 市民農園や観光農園など身近に楽しめるレクリエーションの場として役立っている
- 11 その他 ( )

問8 市内の農業に関する問題点についてお伺いします。(2つまでに○)

- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1 耕作が充分されていない農地がある        | 5 臭いや農機具による騒音などで困る |
| 2 不適正な肥培管理による雑草、害虫発生などで困る | 6 農家との交流が少ない       |
| 3 季節によって土ぼこりなどで困る         | 7 畑へのごみの投棄が気になる    |
| 4 農薬散布が気になる               | 8 あまり関心がない         |
|                           | 9 その他 ( )          |

※肥培管理：施肥、水やり、害虫の駆除など、作物の栽培を総合的に管理すること。

問9 毎年11月中旬頃に農業まつりを開催していますが、どのような内容の行事であれば、行ってみたいですか。(3つまでに○)

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1 農産物の販売がある                  | 5 農産物を利用した参加できる体験がある |
| 2 農産物の品評会がある                 | 6 野菜の栽培方法等の講習会がある    |
| 3 農産物の無料配布がある                | 7 動物等のふれあいがある        |
| 4 農産物に関連するクイズなどの参加できるイベントがある | 8 その他 ( )            |

## 2 農業体験と農作業について

問10 農業との関わりについて、どのような取組に参加している、あるいは参加したいですか。(3つまでに○)

- 1 子どもや家族のふれあいのために農作業をしている・してみたい
- 2 健康のために農作業をしている・してみたい
- 3 農家から農業や栽培方法について教えてもらっている・教えてもらいたい
- 4 農家から野菜の調理方法や品質の良い野菜の見分け方などを聞いた・聞きたい
- 5 ボランティアで畑の作業を手伝っている・手伝ってみたい
- 6 パート労働で畑の作業を手伝っている・手伝ってみたい
- 7 広い畑で本格的な(自由に)農作業をやっている・やってみたい
- 8 有機肥料をつくるため協力している・協力したい
- 9 定年後に農業に関わっている・関わってみたい
- 10 農産物の加工を手伝っている・手伝ってみたい
- 11 農業には全く関心がない
- 12 その他 ( )

問11 農作業を無償でお手伝いをする援農ボランティア制度がありますが、この制度についてお伺いします。(1つに○)

- 1 時間が合えば、年に数回は参加してみたい
- 2 今は、時間がないので、参加できないが興味はある
- 3 1週間に1回程度は参加してみたい
- 4 参加したくない
- 5 その他 ( )

問 12 現在市内には、60歳以上の方を対象とした無料で利用できる市民農園（「喜び農園」5か所）があります。高齢者のみでなく、一般の方を対象とした市民農園があれば利用したいですか。（1つに○）

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 既に利用している     | 4 利用料金によっては検討したい |
| 2 無料であれば利用したい  | 5 利用したいとは思わない    |
| 3 有料であっても利用したい |                  |

※市民農園：農園を借りている人が、借りている区画内で自分で用意した苗と種子で農産物を栽培、生産できる農園のこと。

問 13 現在市内には、農家が管理運営する体験型市民農園（2か所）がありますが、この農園の利用についてお伺いします。（1つに○）

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 既に利用している    | 4 興味があるので詳しく知りたい |
| 2 ぜひ利用したい     | 5 利用したいとは思わない    |
| 3 近所にあれば利用したい | 6 知らなかった         |

※体験型市民農園：農園主が用意した種子や苗を使い、指導を受けながら栽培し、収穫を体験することができます。市内には、ふれあい農園とわかな農園の2か所が設置されており、現在の年間利用料は30,000円です。

問 14 市内には、みかんや梨、ブルーベリー等のもぎ取りができる観光農園（8か所）がありますが、この観光農園の利用についてお伺いします。（1つに○）

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 利用したことがある | 3 利用したいと思わない |
| 2 今後利用したい   | 4 知らなかった     |

※観光農園：くだものやイチゴ狩りなど、レクリエーションのために客に開放する農園のこと。

### 3 地場農産物の消費について

問 15 あなたは野菜を主にどこで購入していますか。(3つまでに○)

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 1 市内の八百屋や地元商店等                  | 6 市外の農家の直売所・共同直売所 |
| 2 市内のスーパー                       | 7 生協などの宅配購入       |
| 3 市内の農家の直売所                     | 8 コンビニエンスストア      |
| 4 市内の共同直売所 (JAみどりっ子、か<br>たくりの湯) | 9 インターネットなどの通信販売  |
| 5 市外の八百屋やスーパー・デパート              | 10 その他 ( )        |

問 16 あなたは武蔵村山産の農産物を購入したことがありますか。(1つに○)

- |      |         |
|------|---------|
| 1 ある | 3 わからない |
| 2 ない |         |

(3と答えた方は問 18 へ)

問 17 武蔵村山産の農産物を購入する理由・購入しない理由として該当するものをお選びください。(それぞれ2つまでに○)

#### 購入したことがある方

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| 1 新鮮である | 4 生産者がわかり、目に見えて安心である |
| 2 値段が安い | 5 直売所が近所にある          |
| 3 品質が良い | 6 その他 ( )            |

#### 購入したことのない方

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 どこで売っているかわからない   | 5 値段が高い             |
| 2 直売所が近所がない        | 6 品質が良くない           |
| 3 直売所の開いている日・時間が短い | 7 無人販売の直売で農家の顔が見えない |
| 4 品数・量が少ない         | 8 その他 ( )           |

問 18 市内で生産された農産物をもっと買いやすくするためにどのようにすればよいと思えますか。(2つまでに○)

- 1 市内の八百屋や地元商店等で扱うようにする
- 2 市内のスーパーなどの量販店に武蔵村山産のコーナーを設置する
- 3 市内の直売所を増やす
- 4 市内の共同直売所を増やす
- 5 農産物に武蔵村山産であることを示すマーク等をつける
- 6 利用しやすい時間帯で朝市・夕市などを定期的で開催する
- 7 通信販売を導入する
- 8 その他 ( )

問 19 あなたは、野菜や果物を購入するとき何を基準に選びますか。(2つまでに○)

- 1 色や形の良いものを選ぶ
- 2 新鮮で栄養がありそうなものを選ぶ
- 3 安価なものを選ぶ
- 4 有機農業や農薬の使用を減らした方法で生産された表示のあるものを選ぶ
- 5 生産者の顔がわかるものを選ぶ
- 6 産地を確認して、できるだけ国内産を選ぶ
- 7 特に基準をもっているわけではない
- 8 その他 ( )

問 20 農薬や化学肥料の使用を減らした農産物の購入について伺います。(1つに○)

- 1 通常の農産物と同じくらいの価格なら購入したい
- 2 やや高いくらいなら購入したい
- 3 高くても購入したい
- 4 あまり意識して購入しない
- 5 その他 ( )

問 21 現在学校給食において、市内産農産物は、年間 36,000 kg以上が使用されていますが、今後市内産農産物を小中学校の給食に提供することについて伺います。(2つまでに○)

- 1 新鮮な市内産農産物を積極的に給食に取り入れるべきである
- 2 安全な農産物であれば市内産にこだわる必要はない
- 3 国内産であれば、価格の安いものを使用した方がよい
- 4 その他 ( )

## 4 将来の市の農業について

問 22 都市農業への理解や関心を深めるためには、何が重要であると考えますか。(3つまでに○)

- 1 市民講座・農業体験学習会や援農など、農家との交流事業の推進
- 2 武蔵村山市でとれた野菜が手軽に購入できる流通システム
- 3 武蔵村山市の農業に関する情報の提供(直売マップ、インターネットなど)
- 4 緑や花のある農業景観を生かしたまちづくり
- 5 武蔵村山市の特産品(みかん等)のPR
- 6 新しい特産品・加工品などのアイデアの提供
- 7 商業・観光と連携した取組のPR
- 8 就農希望者への参入支援
- 9 防災機能を理解するための農地での防災訓練の実施
- 10 学校給食での市内農産物の利用促進
- 11 その他( )

\* 質問は以上です。御協力ありがとうございました。

\* この調査票は、同封の返送用封筒に入れて、

**平成28年10月25日(火)**までの投函(切手不要)に御協力をお願いします。

※市役所産業観光課、イオンモールむさし村山1階情報館「えのき」又は緑が丘出張所にお持ちいただいても構いません。



## (2) 農業者アンケート調査票

# 武蔵村山市農業振興計画策定に向けた 農業者意識調査

～御協力のお願～

日頃、市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、平成20年3月に「武蔵村山市第二次農業振興計画」を策定し、「市民の豊かな生活を彩る 魅力あふれる武蔵村山農業」を将来像に設定し、「生産の基本となる農地の保全」、「魅力ある農業経営の推進」、「農とふれあいのあるまちづくりの推進」の3つを柱に、農業の振興を図ってまいりました。この第二次農業振興計画が平成29年度をもって満了することから、これまでの取組の成果等を踏まえながら、平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年度とする「武蔵村山市第三次農業振興計画」を策定することといたしました。

この計画の策定に当たっては、農業者の営農の状況やニーズを的確に捉える必要があるため、「農業者アンケート」を行うこととし、武蔵村山市内に10㌶以上の農地を所有する方を調査対象に選ばせていただき、御協力をお願いするものです。

お答えいただいた内容は、全て統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

質問によっては、答えにくい部分もあるかと存じますが、最後まで御回答くださいますようお願い申し上げます。

平成28年10月

武蔵村山市長 藤野 勝

### 記入に際してのお願い

- 1 アンケートは、必ず宛て名にある御本人が御回答ください。
- 2 回答項目のうち、当てはまると思われるものの番号に○を付けてください。  
※問6、問11については、数値を記入してください。
- 3 ○の数は、(1つに○)(3つまでに○)といった( )内の指定に合わせて付けてください。
- 4 「その他」に当てはまる場合は、( )内にその内容を具体的にお書きください。

調査票の記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）で、

**平成28年10月25日(火)** までに郵便ポストに投函してください。

返信用封筒にも住所・お名前は御記入されなくて結構です。

この調査票について、御不明な点、御質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

#### 【問合せ先】

武蔵村山市 協働推進部 産業観光課 農政グループ  
電話：042(565)1111（内線226）

## 1 あなたのことについて

問1 あなたのことについて伺います。(ア～キそれぞれにお答えください。)

ア あなたの所属する支部（1つに○）	1 鍛冶ヶ谷戸 2 谷津 3 入り 4 神明ヶ谷戸 5 原山 6 原山第一 7 萩ノ尾	8 赤堀 9 中村 10 横田 11 馬場 12 峰 13 後ヶ谷戸 14 宿	15 岸 16 残堀 17 新海道 18 市内のその他 19 市外
イ 経営主の性別（1つに○）	1 男性 2 女性		
ウ 経営主の年齢（1つに○）	1 10代・20代 2 30代 3 40代	4 50代 5 60代 6 70代	7 80代以上
エ 経営主の本市での農業従事年数は（1つに○）	1 5年未満 2 5～9年 3 10～19年	4 20～29年 5 30～39年 6 40～49年	7 50年以上
オ あなたの家族構成（1つに○）	1 一人暮らし 2 夫婦のみの世帯 3 親と子どもの2世代家族	4 祖父母と親と子どもの3世代家族 5 その他（ ）	
カ あなたの就業状況（1つに○）	1 農業に専業 2 農業に主として従事	3 農業以外に主として従事 4 その他（ ）	
キ 認定の状況（該当に○）	1 認定農業者 2 エコファーマー	3 その他（ ）	

## 2 農業生産・販売について

問2 あなたを含む家族が生産している農畜産物について、販売額が第1位と第2位のものはどれですか。（それぞれ、1つずつ番号を記入）

→ 第1位  第2位  ※ 第2位が無い場合は第1位のみ記入

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 露地野菜（根菜類、葉茎菜類、果菜類） | 7 果樹（うめ、くり等）     |
| 2 施設野菜（根菜類、葉茎菜類、果菜類） | 8 茶              |
| 3 植木・造園              | 9 穀類             |
| 4 花き                 | 10 酪農穀類          |
| 5 椎茸                 | 11 その他（ ）        |
| 6 果樹（なし、りんご、みかん）     | 12 自給的生産のみで販売はない |

（12と回答した方は、問4へ）

問3 問2で12以外の回答をした方に伺います。現在、あなたの家の農産物販売は主にどのような方法で行っていますか。また、今後、どのような方法に力を入れたいですか。(①と②について、該当するものにそれぞれ3つまでに○)

	①現在の販売	②今後、力を入れたい販売
1 市場出荷		
2 直売・宅配		
3 スーパーなどに供給		
4 生協などに供給		
5 学校給食に供給		
6 インターネット等の通信販売		
7 観光農園で販売		
8 畝売りや株売り		
9 契約販売(個人、法人等)		
10 その他( )		

問4 あなたの家の年間の農業販売額(収入)と農業以外のその他の収入について伺います。(それぞれ1つに○)

**農業販売額**

1 自家用のみ	5 300万円以上 500万円未満
2 50万円未満	6 500万円以上 1,000万円未満
3 50万円以上 100万円未満	7 1,000万円以上 3,000万円未満
4 100万円以上 300万円未満	8 3,000万円以上

**農業以外のその他の収入**

1 なし	5 1,000万円以上 3,000万円未満
2 300万円未満	6 3,000万円以上 5,000万円未満
3 300万円以上 500万円未満	7 5,000万円以上
4 500万円以上 1,000万円未満	

### 3 農地について

問5 所有している農地について、農産物を生産する以外にどのような役割があると考えていますか。(3つまでに○)

- 1 季節の変化を感じさせる役割を持っている
- 2 緑地やオープンスペースとして役立っている
- 3 自然や生態系の保全の場として役立っている
- 4 子どもの環境教育や農業体験の場として役立っている
- 5 潤いのある景観を作り出している
- 6 地表の温度を下げ、大気の浄化に役立っている
- 7 災害時の避難場所として役立つ
- 8 心のやすらぎを与えている
- 9 市民農園や観光農園など身近に楽しめるレクリエーションの場として役立っている
- 10 その他 ( )

問6 所有している農地について、面積を記入してください。(数値を記入)

農地の区分	武蔵村山市内の農地面積	武蔵村山市外の農地面積	合計面積
1 生産緑地農地	a	a	a
	うち作付面積 a	うち作付面積 a	うち作付面積 a
2 宅地化農地	a	a	a
	うち作付面積 a	うち作付面積 a	うち作付面積 a
3 調整区域内農地	a	a	a
	うち作付面積 a	うち作付面積 a	うち作付面積 a
計	a	a	a

※宅地化農地：生産緑地に指定していない市街化区域内農地



問9-2 問9-1で「3 農業を継続するが、一部を貸したい」「4 全部を貸したい」と回答した方に伺います。貸す相手について、どのようにお考えですか。(1つに○)

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1 新規就農者 | 3 信頼できる人であればこだわらない |
| 2 認定農業者 | 4 その他 ( )          |

問10 多摩開墾地区内に農地を所有している方に伺います。多摩開墾内農地について要望したいことはありますか。(該当するものに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 水道を引いてほしい      | 4 鳥獣の対策をしてほしい     |
| 2 電気を通してほしい      | 5 市街化区域農地にしてもらいたい |
| 3 一団の広い面積で農業をしたい | 6 その他 ( )         |

## 4 農業の担い手について

問11 あなたも含めて家族の農業従事日数別の人数を記入してください。(数値を記入)

農業従事日数	男性		女性		合計	
	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上	60歳未満	60歳以上
年間60日未満	人	人	人	人	人	人
60日～149日	人	人	人	人	人	人
150日以上	人	人	人	人	人	人
合計	人	人	人	人	人	人

問12 後継者の農業従事状況について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 既に農業に従事している   | 4 農業に従事するかわからない |
| 2 いずれ農業を継ぐ予定    | 5 後継者はいない       |
| 3 農業を継がせるつもりはない |                 |

問 13 あなたの家で女性は、農業経営に対してどのような役割を担っていますか。(3つまでに○)

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1 農業経営の中心となっている        | 6 直売所などの販売を担当している       |
| 2 労働力の中心的な担い手になっている    | 7 農業に関わっていない(家事、他の仕事など) |
| 3 労働力の補助的な担い手になっている    | 8 女性はいない                |
| 4 ある部門(作物)について責任をもっている | 9 その他( )                |
| 5 簿記や帳簿の整理を担当している      |                         |

問 14 あなたの家では、パートやボランティア等を受け入れていますか。(1つに○)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問 15 市民による援農(農作業の手伝い)について、どのようにお考えですか。(2つまでに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 経験がある方に農作業を手伝ってほしい            |
| 2 経験がなくても、熱心な方ならば農作業を手伝ってほしい    |
| 3 草取りなど補助的な作業を手伝ってほしい           |
| 4 直売所の販売などを手伝ってほしい              |
| 5 市民の経験や生き甲斐などにもなるので、積極的に受け入れたい |
| 6 市民との交流にもなるので、積極的に受け入れたい       |
| 7 指導や気を使うのがめんどろなので、受け入れたくない     |
| 8 必要がない                         |
| 9 その他( )                        |

## 5 農業経営について

問 16 あなたは、今後の農業経営についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- |              |            |         |
|--------------|------------|---------|
| 1 次世代も継続させたい | 4 拡大して続けたい | 7 わからない |
| 2 自分の代は継続したい | 5 共同で続けたい  | 8 その他   |
| 3 縮小しても続けたい  | 6 継続は難しい   | ( )     |

問 17 農業を続けていく上で困っていることは何ですか。(3つまでに○)

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 宅地化が進み、通風や日照、水はけが悪化している     | 6 後継者や担い手がいない         |
| 2 宅地化が進み、農薬散布が難しくなっている        | 7 農業収益が労働の割に少ない       |
| 3 空き缶やごみなどの不法投棄が多い            | 8 税の負担が重い             |
| 4 犬や猫等による被害が多い                | 9 堆肥や畜産の臭い、土埃で苦情を言われる |
| 5 鳥獣(カラス、ハクビシン、タヌキなど)による被害が多い | 10 野菜くずや剪定枝等の処分が難しい   |
|                               | 11 特にない               |
|                               | 12 その他 ( )            |

問 18 今後の農業経営の方向について、あてはまるものを選んでください。(3つまでに○)

- |                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 農地を拡大したい                  | 11 多量少品目の農業を進めたい           |
| 2 農地を縮小したい                  | 12 農作業の委託や市民の支援を募りたい       |
| 3 販路を拡大したい                  | 13 商品開発や農産物加工によって特産品をつくりたい |
| 4 施設利用により収益を向上させたい          | 14 商工業者等、異業種の人脈を作り交流を深めたい  |
| 5 新技術の導入により収益を向上させたい        | 15 多摩開墾(市街化調整区域内農地)を賃貸したい  |
| 6 有機、減農薬、減化学肥料栽培に取り組みたい     | 16 農業を身近に親しんでもらえるような取組をしたい |
| 7 省力型の農業に取り組みたい             | 17 特にない又は現状維持で良い           |
| 8 土づくりを重視した農業に取り組みたい        | 18 その他 ( )                 |
| 9 市民農園、体験型市民農園などの市民的利用を図りたい |                            |
| 10 少量多品目の農業を進めたい            |                            |

問 19 認定農業者制度についてお伺いします。該当するものをお選びください(1つに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1 既に認定を受けている                  |
| 2 今後認定を受けたいと考えている             |
| 3 知っているが、認定を受けたくない            |
| 4 知っているが、農業所得が少ないため、認定を受けられない |
| 5 聞いたことがあるが、内容がわからない          |
| 6 知らない                        |
| 7 その他 ( )                     |

問 20 今後、あなたの家はどのくらいの農業収入を目標にしたいですか。(1つに○)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 50万円未満         | 5 500万円以上1,000万円未満   |
| 2 50万円以上100万円未満  | 6 1,000万円以上1,500万円未満 |
| 3 100万円以上300万円未満 | 7 1,500万円以上          |
| 4 300万円以上500万円未満 |                      |



## 6 相続時の農地について

問 21 相続が発生したときに、どのように対応しましたか。また、今後はどう対応しようと考えていますか。(それぞれ該当するもの全てに○)

### これまでの対応

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1 生産緑地を処分した       | 4 農地以外の宅地等（アパートや駐車場）を処分した |
| 2 宅地化農地を処分した      | 5 土地は処分せずに現金で対応した         |
| 3 市街化調整区域内農地を処分した | 6 その他（ ）                  |

### 今後の対応（予定）

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 1 生産緑地を処分して対応する               | 5 土地は処分せずに現金で対応する |
| 2 宅地化農地を処分して対応する              | 6 わからない           |
| 3 市街化調整区域内農地を処分して対応する         | 7 その他（ ）          |
| 4 農地以外の宅地等（アパートや駐車場）を処分して対応する |                   |

## 7 有機、減農薬栽培等について

問 22 あなたは有機栽培や減農薬栽培等に関心がありますか。(2つまでに○)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 既に有機栽培を行っている     | 4 関心はあるがまだ行っていない |
| 2 既に減農薬栽培等を行っている   | 5 関心がない          |
| 3 以前はやっていたが今はやめている | 6 その他（ ）         |

(1、2に○を付けた方は問 22-1 へ、それ以外の方は問 23 へ)

問 22-1 有機栽培や減農薬栽培等でどのような努力をしていますか。(2つまでに○)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1 堆肥等を使用して、土づくりに努力している | 3 化学肥料の使用を少なくしている |
| 2 農薬使用を少なくしている         | 4 農薬・化学肥料を使用していない |
|                        | 5 その他 ( )         |

問 23 有機栽培や減農薬栽培等の問題点を挙げてください。(2つまでに○)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1 有機物が手に入らない・入りにくい | 4 虫食いなどで売れないなど心配である |
| 2 手間や費用がかかる        | 5 周辺と一緒に行わないと難しい    |
| 3 収穫量が少なくなる        | 6 その他 ( )           |

## 8 農商工連携について

※農商工連携：農業者が農畜産物を生産するだけでなく、商工業者の方々とお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組み、新たな付加価値を生み出すこと

問 24 農商工連携への取組について、現状と今後のお考えを伺います。(それぞれ2つまでに○)

	ア 現状	イ 今後の方向
1 特に考えていない		
2 農畜産物の生産物を提供		
3 農畜産物の販売		
4 農畜産物の加工		
5 加工品の販売		
6 新商品の開発		
7 その他 ( )		

## 9 地域住民とのふれあいについて

問 25 地域住民とのふれあいについて望むことは何ですか。(2つまでに○)

- 1 農産物の販売を通じてふれあいを持ちたい
- 2 農産物の調理方法の講習等を通じてふれあいを持ちたい
- 3 農作業への協力、農業体験を通じてふれあいを持ちたい
- 4 農業まつり等のイベントを通じてふれあいを持ちたい
- 5 地域の行事などを通じてふれあいを持ちたい
- 6 子どもたちの農業体験など学校を通じてふれあいを持ちたい
- 7 市民農園・体験型市民農園を通じてふれあいを持ちたい
- 8 まちづくりについての懇談会を通じてふれあいを持ちたい
- 9 野菜や花の栽培指導等を通じてふれあいを持ちたい
- 10 その他 ( )
- 11 関心がない

## 10 農福連携について

近年、福祉分野において、農業・園芸活動を通じて得られる心身のリハビリテーション効果や、共同作業による社会参加促進効果等が改めて評価されています。

農業は、障害の程度に応じた作業が可能であること、一般就労に向けた体力・精神面での訓練が可能であることから、障害者の就労訓練・雇用の場として、農作業を取り入れる福祉施設が増加しています。

農村地域の過疎化や農業従事者の高齢化が進行する中、農業分野においても、障害者の雇用の促進、就労の支援を図ることは重要な課題です。

問 26 あなたは、農福連携で取り組みたいことは何ですか。(3つまでに○)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1 障害者（施設）へ農作業を委託したい | 4 障害者（施設）に農地管理を担ってほしい |
| 2 障害者施設へ食品加工を委託したい  | 5 その他 ( )             |
| 3 障害者施設へ販売を委託したい    | 6 期待することはない           |

(1～5に○を付けた方は問 26-1 へ、それ以外の方は問 27 へ)

問 26-1 (問 26 で 1～5 に○をつけた方に伺います) 農福連携を進めるにあたって何が必要だと思いませんか。(3 つまでに○)

- 1 農家と福祉をマッチングする調整機能
- 2 農作業の指導をサポートする人の配置
- 3 賃金の支払に対する計算や手続
- 4 トイレ、休憩所等の設備の整備
- 5 可能作業内容等についての情報提供
- 6 その他 ( )

## 1 1 今後の農業施策について

問 27 今後の農業施策で重視してほしいものに○をつけてください。(5 つまでに○)

- |                           |                                     |
|---------------------------|-------------------------------------|
| 1 認定農業者の育成、支援             | 16 市民の農作業参加の受入れの支援                  |
| 2 有機栽培・減農薬栽培の推進           | 17 武蔵村山市農業のPR・イベントの充実               |
| 3 鳥獣害防止対策の推進              | 18 市民との交流機会の充実                      |
| 4 産地化・ブランド化の推進            | 19 農地や地域環境美化の促進                     |
| 5 共同直売所の増設                | 20 多摩開墾内の農道などの基盤整備                  |
| 6 定期直売所(朝市・夕市等)の設置        | 21 女性農業者の支援(研修会への参加等)               |
| 7 農業用施設・農業用機械の設備投資支援の充実   | 22 相続税などの農地課税対策                     |
| 8 スーパーなどに地場産のコーナーを設置      | 23 学校給食への出荷支援                       |
| 9 農業後継者の確保と育成対策           | 24 環境に配慮した農業用資器材等の補助の充実             |
| 10 新規就農者の技術取得の支援          | 25 ごみの投棄防止                          |
| 11 市民農園の拡充(農地を区画貸しする)     | 26 農産物を加工販売するための作業施設への補助            |
| 12 体験型市民農園の拡充(農業者による指導つき) | 27 Uターン農地(転用したが、畑に戻した農地)への生産緑地の追加指定 |
| 13 農業情報の発信(直売マップ等)        | 28 その他 ( )                          |
| 14 観光農園、畝売り、株売り等の拡大       |                                     |
| 15 生産者組織等の育成、連携の強化        |                                     |

\* 質問は以上です。御協力ありがとうございました。

\* この調査票は、同封の返送用封筒に入れて、お手数ですが、

**平成28年10月25日(火)** までの投函(切手不要)に御協力をお願いします。

武蔵村山市第三次農業振興計画策定にかかる  
市民及び農業者アンケート調査報告書

平成29年3月

発行 武蔵村山市

編集 協働推進部 産業観光課

〒208-8501 東京都武蔵村山市本町1-1-1

TEL 042-565-1111 (代表)

